

パッケージエアコン

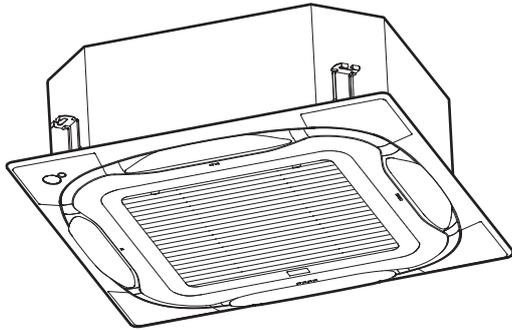
スカイエア



二次元バーコードは製造用コードです。お客様用のバーコードではありません。

《セパレート形》

天井埋込カセット形
S-ラウンドフロータイプ



室内ユニット

新冷媒R32/R410A対応シリーズ

FHCP40EM	FHCP80EM
FHCP45EM	FHCP112EM
FHCP50EM	FHCP140EM
FHCP56EM	FHCP160EM
FHCP63EM	FHCP63EN
FHCP71EM	FHCP80EN
FHCP40FA	FHCP80FA
FHCP45FA	FHCP112FA
FHCP50FA	FHCP140FA
FHCP56FA	FHCP160FA
FHCP63FA	FHCP63FB
FHCP71FA	FHCP80FB
FHCP40FC	FHCP80FC
FHCP45FC	FHCP112FC
FHCP50FC	FHCP140FC
FHCP56FC	FHCP160FC
FHCP63FC	FHCP63FD
FHCP71FC	FHCP80FD

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、**ご使用前に、必ずお読みください。**
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコンの取扱説明書をあわせてご覧ください。
保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に

安全について

必ず守ってください	1
ご使用前に必ずお読みください	2
各部の名前と働き	2

運転について

運転の特性	3
複数台同時運転の場合	6
上手な使いかた	6

お手入れについて

お手入れのしかた

日常のお手入れ	7
シーズン初め・終わりのお手入れ	10

知っておいてください

調子がおかしいときは	11
別売品について	15
製品の種類と運転音	15
安全にお使いいただくために	16
アフターサービスと保証について	17
「ご購入製品の登録」のご案内	18
お客様ご相談窓口	裏表紙

ご使用前に

運転について

お手入れについて

知っておいてください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。	注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。
-----------	--	-----------	---

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
--	--------------	--	--------------------	--	------------------	--	------------------

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に完了したことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない

ベンジン・シンナーで本体をふかない
火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。



禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



●吸込口・吹出口や風向羽根のすきまに指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。



禁止

注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

●エアフィルターを確実に固定する

吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)

別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
 - 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか？
防雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

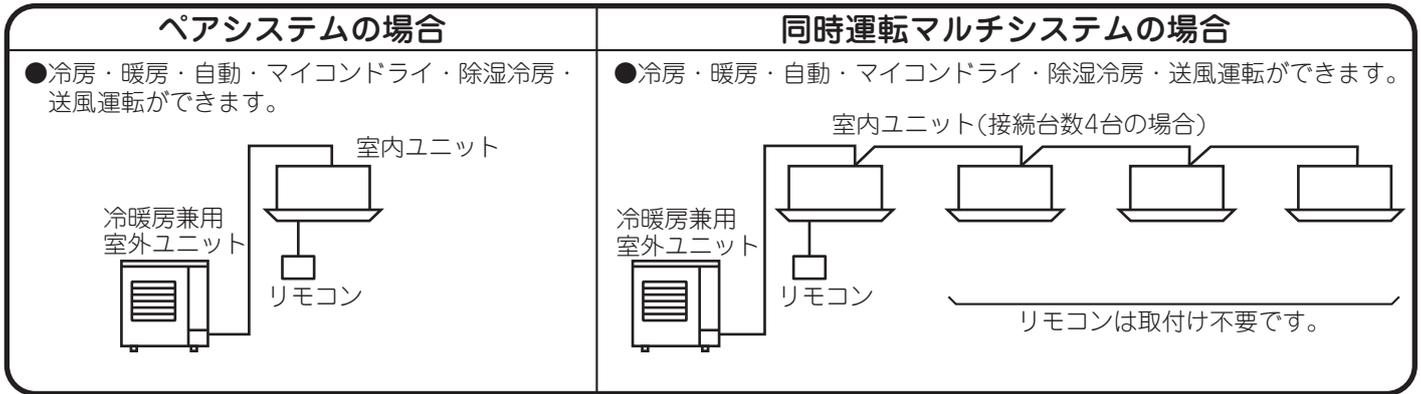
- 次のような場所を選んでいませんか？
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。
- 使用中に異常音がある場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- 室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか？
- 電源配線が破損した場合は、交換には資格が必要です。
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

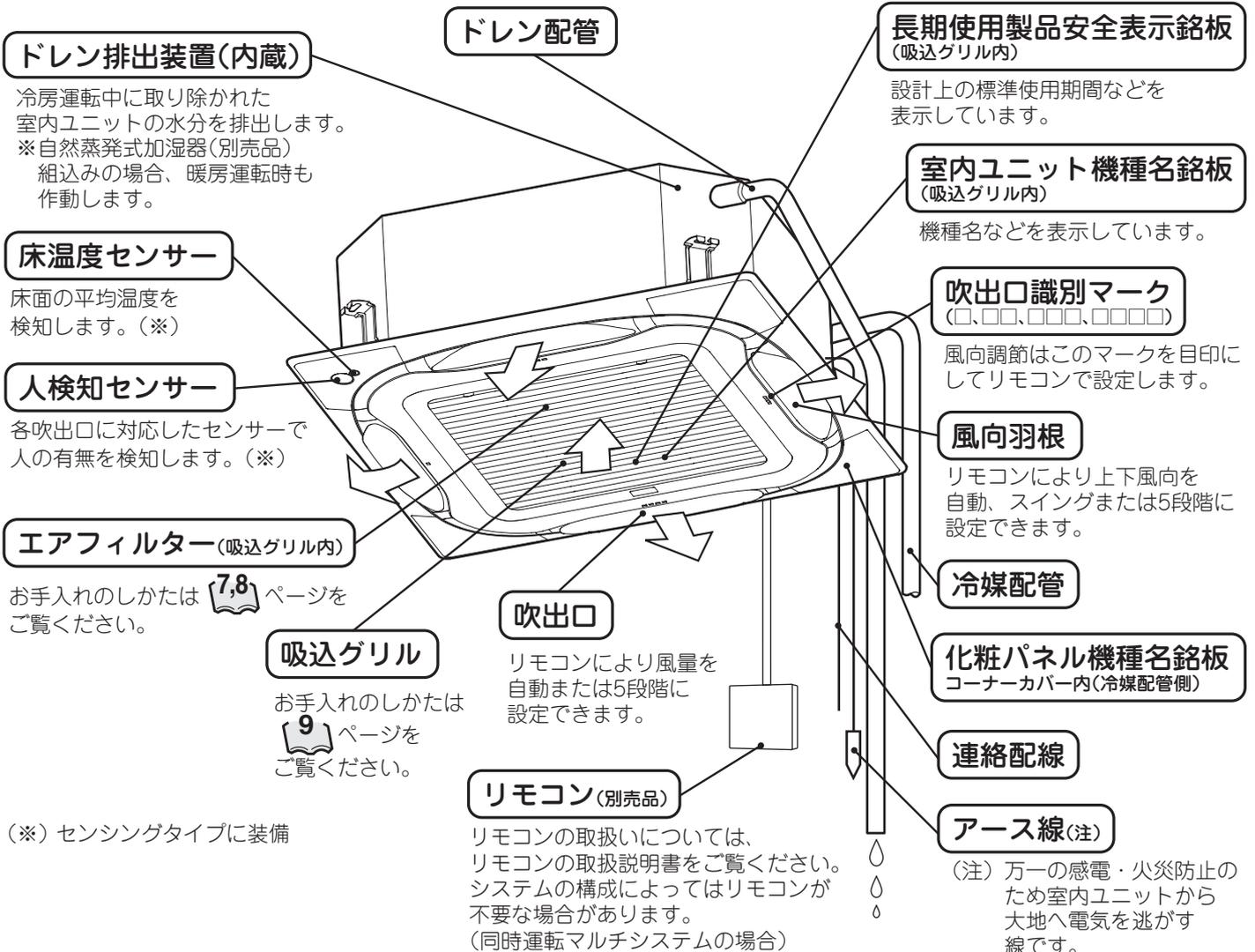
同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。



- お願い**
- 運転操作についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットの取扱説明書をご覧ください。
 - 同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げ販売店にご確認ください。

各部の名前と働き



(※) センシングタイプに装備

冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

- 室内温度が低い場合について**
- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 外気温が高い場合について**
- 外気温が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。
- 自動冷房運転について**
- 運転モードが「自動」で冷房と暖房の運転モードが切り換わる時、設定温度も自動で変更します。
- ニオイ抑制設定対象機です**
- においが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量・風向を制限することができます。設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

- 運転開始について**
- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

- 運転開始時および除霜運転終了後**
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、時間がかかります。室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
 - そのときリモコンには「除霜/ホットスタート」が表示されます。

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切り換わりします。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。ワイヤレスリモコンの場合は、温風が止まり、受光ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 約6~8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、吹出口から白い霧が出ます。( ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがするときがあります。( ページ参照)

外気温と暖房能力について

- 外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
- 室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレーター(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風向は水平になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

- 自動暖房運転について**
- 運転モードが「自動」で暖房と冷房の運転モードが切り換わる時、設定温度も自動で変更します。

マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性

- ドライまたは除湿冷房のどちらかがリモコンに表示されます。除湿冷房は対応機種のみリモコンで表示されます。
- マイコンドライ運転は室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。そのとき風量・温度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。室内温度が下がった場合、室内ユニットの風が止まる場合があります。
- 除湿冷房運転は、設定した温度と除湿レベルに応じて最適な除湿を行います。風量を自動で設定するため、リモコンには風量の表示はされません。
- 除湿冷房運転時は、除湿を優先するため設定温度よりも室温が下がる場合があります。
- 再熱除湿方式ではありません。
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転または除湿冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着くことがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。温度が上がるのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

エコ全自動運転の特性(センサー付パネル取付け時)

人検知センサーと床温度センサーにより人の有無と床温度を検知し、風量・風向を自動でコントロールすることで快適性と省エネ性を両立した運転を行います。

エコ全自動運転をする場合は、リモコンでメニューよりサーキュレーション気流(本ページ下参照)の設定を「無効」にしてから、風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。

(サーキュレーション気流の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

- 風量はリモコンの設定温度と室内温度の差に応じて自動で5段階にきめ細かくコントロールします。
- 床温度センサーにより人付近温度を精度よく検知し、ムダな運転を防止し快適な運転を行います。(冷房時の足元の冷やしすぎの防止、暖房時の快適な足元暖房を行います。)

センサー部について

- 人検知センサー：各吹出口に対応したセンサーで人の有無を検知します。
- 人検知センサーは熱の移動を検知しているため、連続的に高温の物体が移動する場合、「人が在室」と検知する場合があります。(例：動物の移動、赤外線ヒーターの首振り運転など)
- 背を向けていたり、肌の露出が少ない場合、「人がいない」と検知する場合があります。
- 床温度センサー：床面の平均温度を検知します。
- 局所的な温度が室内温度と極端に異なる場合、室内温度の判定に影響が出る場合があります。(例：床暖房設置箇所、高温発熱機器設置箇所など)

ご注意

ご注意

風向調節の内容と働き

風向調節は各吹出口ごとに個別に設定ができます。

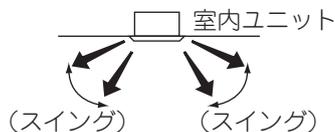
- 吹出口識別マーク( ページ参照)を確認してからリモコンで設定を行ってください。(詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。)
- 停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。

風向調節には次の4とおりがあります。

(停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。)

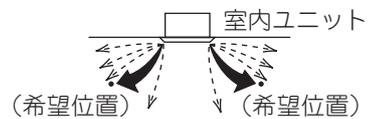
風向スイング

風向を自動で上下させます。



風向固定

5段階に風向を固定することができます。



風向自動

以下のように風向を自動でコントロールします。

- エコパネル(標準タイプ)使用時
室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
●暖房時、吸込温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。
- エコパネル(センシングタイプ)使用時
人検知センサーと床温度センサーおよび室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
●人に直接風を当てないようにコントロールします。
●暖房時、床面温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。

サーキュレーション気流

運転開始時に水平吹きと下吹き(暖房時)、スイング(冷暖時)を交互に繰り返します。温度や時間で機器が自動判定し、通常の風量・風向自動運転に切り換わります。

サーキュレーション気流にするには、リモコンで風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。

リモコンでメニューよりサーキュレーション気流の設定を「有効」にしてください。

(本機能は初期状態で設定が「有効」になります。)
(サーキュレーション気流の設定方法については、)
リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

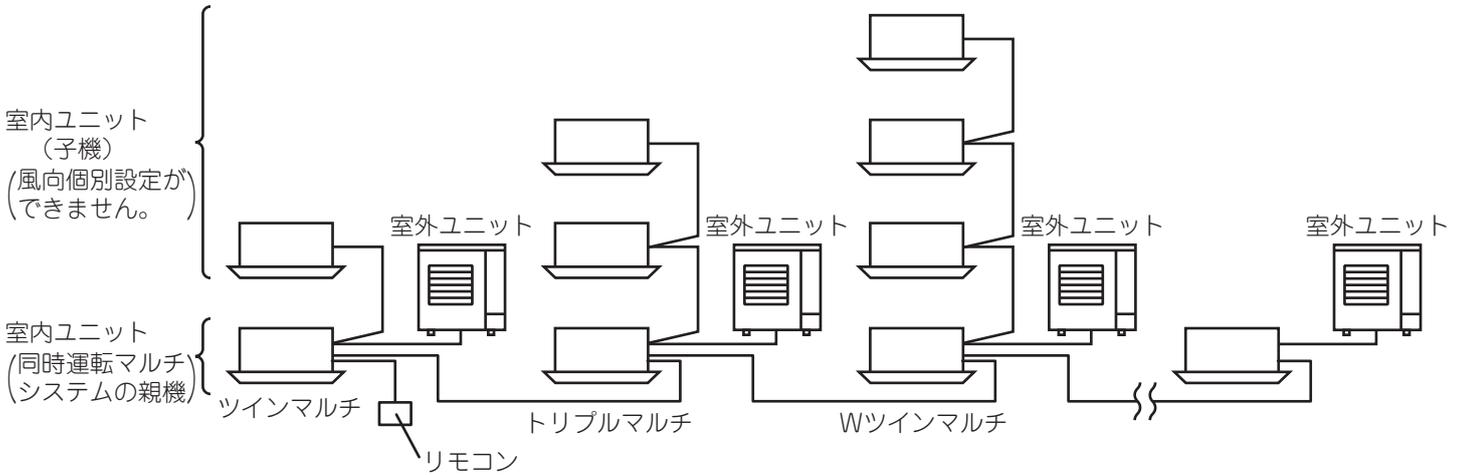
風向羽根の動きについて

- エコ全自動運転、風向自動運転・サーキュレーション気流の場合は風向は表示されません。
- 下記運転状態のときは風向を自動でコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	上下風向
暖房 自動暖房	<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度より室内温度が高いとき (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。) ●暖房運転開始時、除霜運転時(室外ユニットに霜が着いたとき) (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。)
冷房 自動冷房 マイコンドライ 除湿冷房	<ul style="list-style-type: none"> ●水平吹出しの状態連続運転したとき (風向羽根に結露しないように一定の間、風向を自動でコントロールします。)

- 同時運転マルチシステム(ツインマルチ、トリプルマルチ、Wツインマルチ)をグループ制御する場合、子機の風向個別設定ができません。

グループ制御の例



内部クリーン運転の特性

- 冷房運転・マイコンドライ運転・除湿冷房運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部(熱交換器)の洗浄と乾燥を行います。
- 本機能動作中はリモコンの運転ランプは消えますが、基本画面に「内部クリーン中」が表示されます。運転ボタンを押すと運転ランプが緑色に点灯し、内部クリーン運転は解除されます。
- 本機能はリモコンのメニューから「有効」・「無効」の設定が可能です。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機能動作中は風が当たる場合があります。
- 本機能動作中は室温が上昇または低下する場合があります。
- 本機能は、付着したホコリを完全に取り除く機能ではありません。
- 数時間(最大10時間)後、自動で内部クリーン運転を停止します。(運転状況によって時間は異なります。)
- 本機能動作後の冷房運転開始時に、室内から大きな音が鳴る場合があります。

お手入れのしかた

警告

- 可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- エアフィルターを確実に固定する
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



- お願い**
- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
 - 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ ※本内容はエコパネル・標準パネル・オイルガードフィルター専用パネルの場合の説明になります。上記以外のパネルの場合は、該当パネルの取扱説明書をご覧ください。

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」または、「フィルターお手入れ」が表示されたら、清掃してください。(※1)

- 一定時間運転すると表示されます。

- お願い**
- 表示されるまでの時間を変更することができます。汚れの多いところで使用される場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

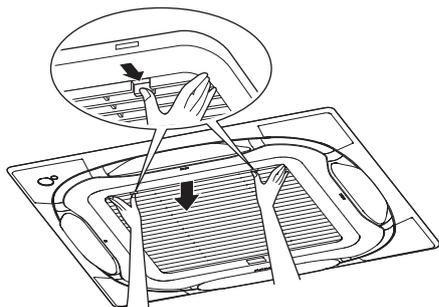
汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れが取れなくなりましたら
エアフィルターを交換してください。
(交換用ロングライフフィルターは別売品です。)

15 ページ参照

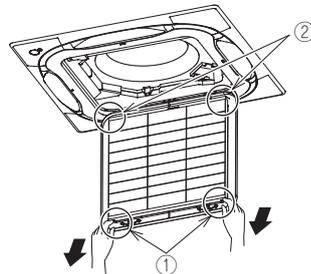
1. 吸込グリルを開けます。

ツマミ部2ヵ所を押しながら
ゆっくりおろしてください。

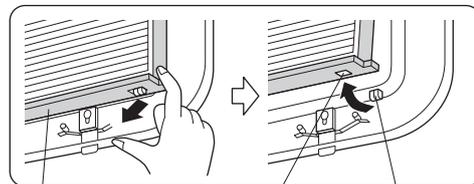


2. エアフィルターを取り出します。

次の順番で作業をしてください。

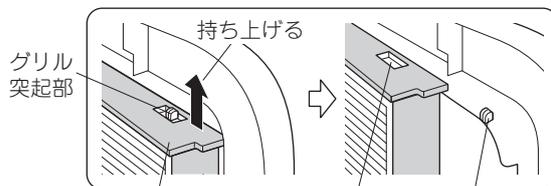


- ①エアフィルターの端部を斜め下に引いて
グリル突起部からエアフィルターの引掛穴部
を外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

- ②エアフィルターを持ち上げてグリル上部の
突起部からエアフィルターの引掛穴部を
外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

(次ページに続きます。)

エアフィルターの清掃のしかた②

3. 清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



水切り後、日陰で
乾かしてください。

お願い

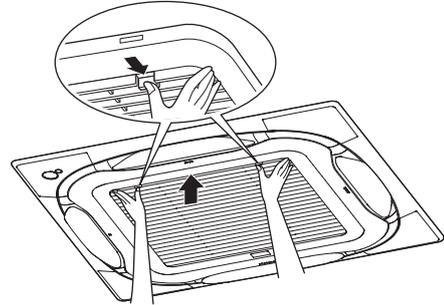
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

4. エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

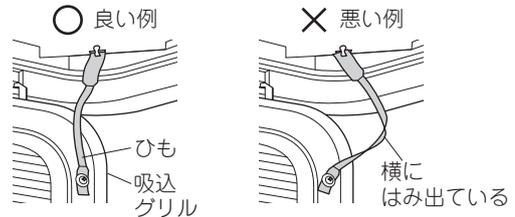
5. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、
最後に2カ所のツマミ部を押しながら、
化粧パネルに確実に固定してください。



お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、
ひもをはさみ込むおそれがあります。
閉める前にひもが吸込グリルの横から
はみ出していないことを確認してください。



6. リモコンの

「フィルターのお手入れ時期です」または、
「フィルターお手入れ」の表示を消します。

- リモコンのメインメニューより
フィルターサインリセットを行ってください。
(運転中と停止中のどちらの状態でも表示を
消すことができます。)
詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。(※1)

(※1) ワイヤレスリモコンの場合は、
ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書
をご覧ください。

吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤に
ひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、
乾いた布でからぶきしてください。

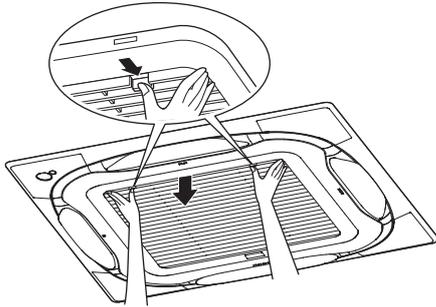
お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・
市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- パネルセンサー部の表面に傷をつけないでください。
センサーが正しく検知しなくなることがあります。
(センシングタイプをご使用の場合)

吸込グリルの清掃のしかた

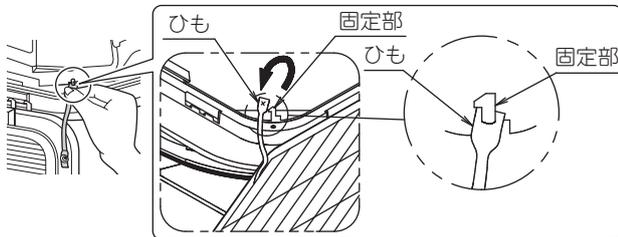
1. 吸込グリルを開けます。

つまみ部2カ所を押しながらゆっくりおろしてください。



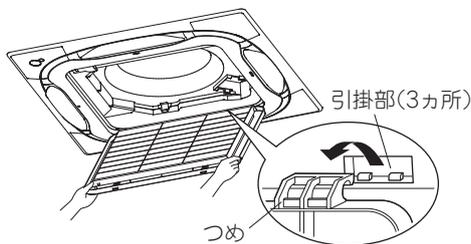
2. 吸込グリルのひもを外します。

化粧パネルの固定部に引っ掛けているひもを取り外してください。(2カ所)



3. 吸込グリルを取り外します。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、持ち上げ、引掛部から外してください。(3カ所)



4. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターの清掃のしかた①の2(7ページ)を参照してください。

5. 清掃します。

水が中性洗剤で柔らかいブラシを使って洗い、水切りしたあと乾いた布で水をふきとってください。



汚れがひどい場合

- 換気扇・レンジなどの洗剤を直接吹き付け、10分くらいそのままにします。その後、水でよく洗い流してください。

お願い

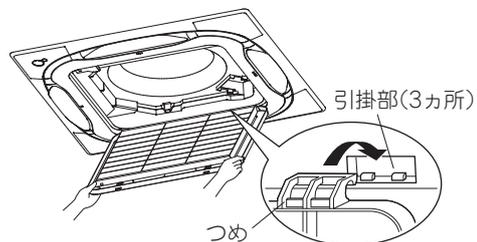
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

6. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの清掃のしかた②の4(8ページ)を参照してください。

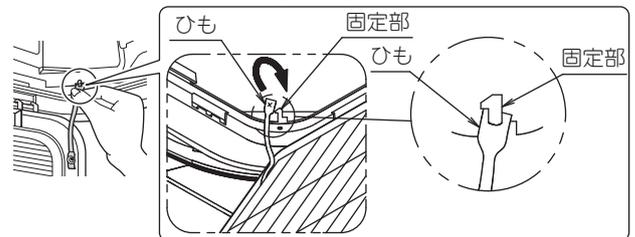
7. 吸込グリルを取り付けます。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、引掛部に引っ掛けてください。(3カ所)



8. 吸込グリルのひもを取り付けます。

吸込グリルのひもをパネル固定部に引っ掛けて取り付けてください。(2カ所)

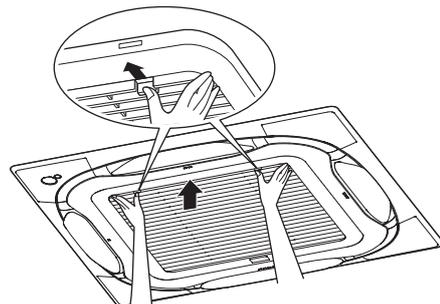


お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。

9. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、最後に2カ所のつまみ部を押しながら、化粧パネルに確実に固定してください。



シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは  ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするごとに行います。
暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット~数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源を遮断してください。
- 電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは  ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。

お願い

- 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。
内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れについて

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。

電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。

上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONすることに行います。

暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

	症状	原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で開始します。
	温度調節を行って、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	操作ボタンを押すとリモコンに「集中管理中このリモコンからは操作できません」または「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。	そのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ6時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 (本ページ上参照)	約10分間停止後に室内ファンは運転します。 (6時間以上前に電源ブレーカーを)入れてください。
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	〈冷房運転時〉 設定温度を下げてください。 〈暖房運転時〉 設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	室内ユニット以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると運転を自動で再開します。
運転し続ける	冷房・除湿冷房またはマイコンドライ運転を停止しても運転し続ける	内部クリーン運転をしているためです。内部クリーン運転は途中で停止することもできます。(お好みに合わないときは、リモコンで内部クリーン運転の設定を「無効」にしてください。)詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。	リモコンの基本画面に「内部クリーン中」と表示されていれば正常です。内部クリーン運転の機能の有無については、カタログをご覧ください。内部クリーン運転については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
風量が設定どおりにならない	風量調節を行っても風量が変わらない	〈冷房運転時〉溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」または微風運転になることがあります。	しばらくすると、風量を変えることができます。 (マイコンドライ運転または除湿冷房運転は風量設定できません。)
		〈暖房運転時〉室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風量が変わるまでに時間がかかります。また、除霜運転中の場合、直接風が当たらないよう室内ユニットのファンは停止します。	設定温度を上げてください。 しばらくすると風量が変わります。 ( ページ参照)

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因	確認内容	
風向が設定どおりにならない またはリモコンの表示と異なる	リモコンにスイングが表示されているが風向羽根がスイングしない	〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくするとスイングします。 ( 4 ページ参照)
	リモコンの風向表示と風向羽根の動きが異なる	〈冷房・マイコンドライまたは除湿冷房運転時〉 水平吹出しに設定された場合は風向羽根が結露しないように一定の時間表示と異なる風向にするためです。 〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくすると設定の風向になります。 ( 4 ページ参照)
風向羽根が閉じない	運転停止しても風向羽根が閉じない	室内ユニットのファンが止まってから風向羽根が閉じるためです。	しばらくすると風向羽根が閉じます。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※1)	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が始動している音です。	1分くらいで音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	—
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。(※2)	—
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	—
ホコリが出る	長時間運転停止したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	ホコリがひどい場合は内部の洗浄が必要です。(※1)
においが出る	運転中	部屋のにおい・たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	においが気になる場合、「ニオイ抑制設定」ができます。設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。
よく冷えない	マイコンドライ運転または除湿冷房運転中	室内温度をできるだけ下げずに湿度を下げる運転をするためです。	冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転または除湿冷房運転をしてください。 ( 3 ページ参照)

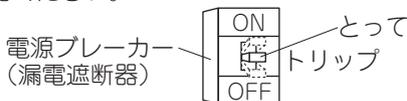
●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性( 3 ページ)をご覧ください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。室内ユニット内部の洗浄は、お客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

(※2) ●冷房運転中に取り除かれた室内の水分を排出します。

●加湿器(別売品)が組み込まれている場合は暖房運転時も排出します。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するが すぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 (7,8 ページ参照)
	運転時、風向羽根が開いていますか？	お買い上げの販売店にご連絡ください。
よく冷えない、 よく暖まらない	運転時、風向羽根が開いていますか？	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。 電気のムダ使いにもなり、運転音増大や機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 (7,8 ページ参照)
	デマンドモード・節電設定になっていませんか？	デマンドモード・節電設定を解除してください。
	設定温度は適正ですか？	室温が設定温度になるとサーモオフし送風運転を行います。この際、風量を弱める場合があります。効きが悪いと感じる場合は設定温度の変更をおすすめします。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	適正な風量・吹出風向に設定してください。
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかりと閉めてください。
	換気扇を運転されていませんか？	—
	〔冷房時〕直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	〔冷房時〕在室人員が多すぎませんか？	—
〔冷房時〕室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？		
〔暖房時〕リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されていませんか？	除霜中はファンが停止します。 約6～8分(最長10分)で元の運転に戻ります。	

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入切タイマー運転または不在時停止機能を有効にしていますか？ (不在時停止機能についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください)	有効/無効設定で「無効」にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続していませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。
高温みまもりモードを設定していませんか？	有効/無効設定で「無効」にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)	

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。このとき、症状と機種名(保証書またはリモコンでの確認(詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください)または吸込グリル内の室内ユニット機種名銘板・冷媒配管側コーナーカバー内の化粧パネル機種名銘板( ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。



警告

- 異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品をご指定ください。ただし同時組込みできないものがあります。
詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。



警告

- 別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター …… 汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品

- 自然蒸発式加湿器 …… 室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- 空気清浄ユニット …… 高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
- ストリーマ除菌ユニット …… ストリーマ放電によりウィルス・菌を強力に除去します。
- ストリーマ脱臭ユニット …… ストリーマ放電により悪臭成分を分解し、いやな臭いを取り除きます。
- 超ロングライフフィルター …… メンテナンス期間を標準のフィルターより延長します。
- 高性能フィルター …… 捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

製品の種類と運転音

項目		機種					
		FHCP40EM FHCP40FA FHCP40FC	FHCP45EM FHCP45FA FHCP45FC	FHCP50EM FHCP50FA FHCP50FC	FHCP56EM FHCP56FA FHCP56FC	FHCP63EM FHCP63FA FHCP63FC FHCP63EN FHCP63FB FHCP63FD	FHCP71EM FHCP71FA FHCP71FC
種	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
類	定格冷房標準能力(kW)	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3
	定格暖房標準能力(kW)	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	7.1
運転音 (dB)	音響パワーレベル (急/強/弱)	48/47/45	48/47/45	48/47/45	49/48/46	50/49/46	51/49/46

項目		機種				
		FHCP80EN FHCP80FB FHCP80FD	FHCP80EM FHCP80FA FHCP80FC	FHCP112EM FHCP112FA FHCP112FC	FHCP140EM FHCP140FA FHCP140FC	FHCP160EM FHCP160FA FHCP160FC
種	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出形				
類	定格冷房標準能力(kW)	7.1	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格暖房標準能力(kW)	8.0	8.0	11.2	14.0	16.0
運転音 (dB)	音響パワーレベル (急/強/弱)	52/50/46	58/51/46	61/56/50	62/58/52	62/58/54

- (注) ●音響パワーレベルはJIS B 8616:2015に準拠した値です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。
●能力はJIS B 8616:2015に定める試験条件のもとの値です。

- 本機は業務用エアコンです。
「点検周期」および「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。( ページ表1参照)
- 家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
(銘板位置は  ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

	<p>※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。</p>
---	--

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 JIS C 9921-3による

	項 目	規 定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間/日 暖房：7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所での修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

本機に使用される冷媒種、およびGWP(地球温暖化係数)は下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

本機が接続されているシステムの冷媒種は、室外ユニットに表示されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく(リモコンの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
空気清浄ユニット		8年	ドレンパン(※)		8年
プリント基板類		25,000時間	リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
熱交換器		5年	ファン		室外:10年、室内:13年
電子膨張弁		20,000時間			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
- ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
ドレンパンに付属の抗菌剤(銀イオン)に含まれる成分が析出し排水経路に付着することがあります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	クランクケースヒーター	1年	8年
高性能フィルター		1年	自然蒸発式加湿器(※)		3年
ヒューズ		10年	ドレンパン抗菌剤(銀イオン)		8年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
- 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。
- ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊・書面管理が義務付けられています。
- この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡します。記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。
- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

「ご購入製品の登録」のご案内

製品を安心・便利にご使用いただくために
当会員制サイト「CLUB DAIKIN」へのご登録をお願いします。
詳しくはこちら → <https://club.ac.daikin.co.jp/>
※登録には製品の機種名銘板に記載の機種名、製造番号が必要です。



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日	年	月	日
-------	-----	-------	---	---	---

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

WEBから

- よくあるご質問、取扱説明書をご覧いただけます。
- 簡単・便利に修理依頼、リモコン・フィルターなどのご購入ができます。

ダイキンコンタクトセンター **検索**

<https://www.daikincc.com>

WEB受付の流れ

修理依頼内容を入力 → ご訪問日の確認・登録 → 受付完了メールが届く → ご訪問

QRコードからもアクセスできます。

24時間365日、安心つながる。

お客様総合窓口 **コンタクトセンター**

お電話から **フリーダイヤル** **0120-88-1081** FAXから **フリーダイヤル** **0120-07-0881**

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。



1907

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

工事責任者様へ

据付工事後に下記項目の確認を行い、チェック欄に印を記入してください。
記入後、引き渡し時にお客様に渡して頂くようお願いします

据付工事完了報告

区分	確認内容	チェック欄
据付け	室外ユニットは吹出口正面から強風が吹きつけないよう設置し、基礎にボルトで確実に固定しました	
据付け	室内・室外ユニットを、吹出口・吸込口の前に障害物がなく、通風が十分に確保できる場所に設置しました	
配線	電気配線は途中で継ぎ足さないように工事し、誤配線やゆるみ、固定忘れがないことを確認しました	
配線	アース工事を実施しました	
配線	接続するユニットに応じた、適切な遮断容量の漏電遮断器(高調波対応品)を施設しました	
配管	閉鎖弁は液側・ガス側共に全開にしました	
配管	配管ろう付けを行った場合、リン銅ろうを使用し、窒素置換を行ってから実施しました	
配管	気密試験を実施し、配管工事箇所から漏れがないことを確認しました	
配管・配線	ユニット内への小動物の侵入や水の浸入を防止するため、冷媒配管や電気配線の貫通部を養生しました	
配管・配線	複数のユニットを併設置した場合、個別に動作させて誤配線や誤配管がないことを確認しました	
断熱	冷媒配管やドレン配管が露出しないよう、確実に断熱しました	
冷媒充てん	真空引きを実施したあと、冷媒配管長さおよびサイズに応じた冷媒量を封入しました 充てん量・接続配管長さおよびサイズなどを、室外ユニットの注意銘板に記入しました	
ドレン	ドレンは配管の接続箇所で漏れがなく、スムーズに排水されていることを確認しました	
その他	保守点検・修理作業が行えるよう、サービススペースの確保を実施しました	
その他	その他、据付説明書を確認したうえで、確実に工事・設定・確認を実施しました	

工事責任者

ダイキン工業株式会社

本社 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号 530-0001

3P420398-4K M19A045E (2309) [ES]



二次元バーコードは製造用コードです。お客様用のバーコードではありません。



二次元バーコードは製造用コードです。お客様用のバーコードではありません。

パッケージエアコン

新冷媒(R32)シリーズ

スカイエア

空冷ヒートポンプエアコン
《セパレート形》

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室外ユニット専用ですので、室内ユニット付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。

室外ユニット

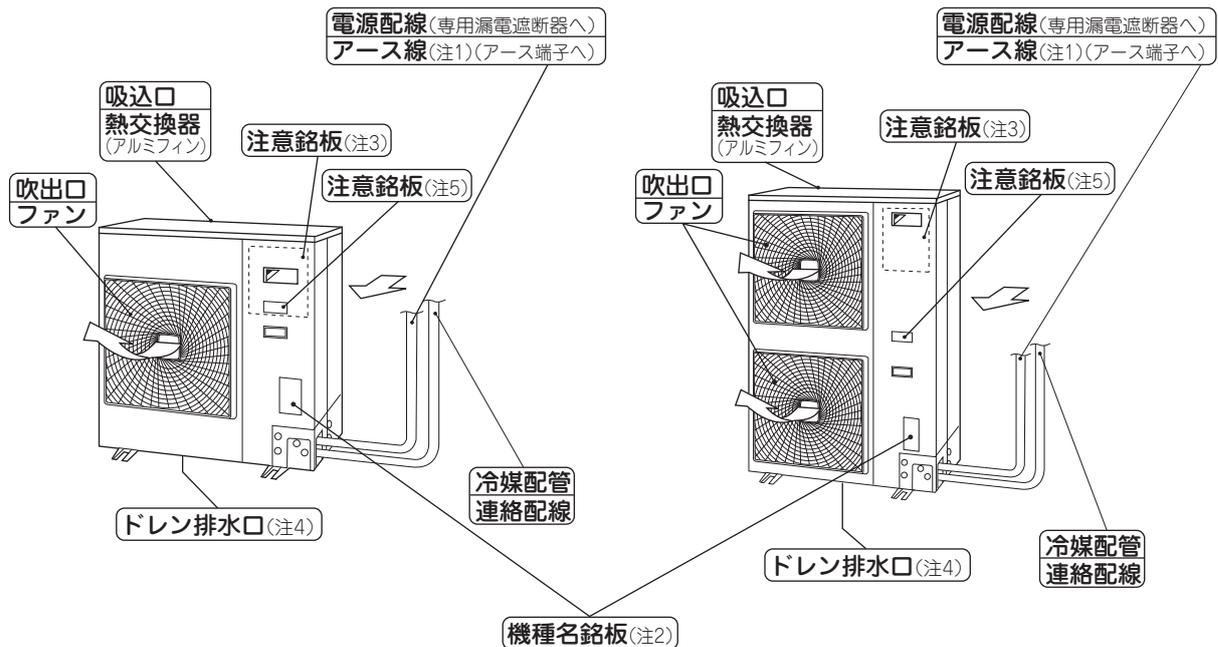
FIVE STAR ZEAS 冷暖房兼用形

RSRP80BYV(E)(H)
RSRP80BYT(E)(H)
RSRP112BY(E)(H)
RSRP140BY(E)(H)
RSRP160BY(E)(H)

Eco ZEAS 冷暖房兼用形

RZRP112BY(E)(H)
RZRP140BY(E)(H)
RZRP160BY(E)(H)

各部の名前と働き



(注1) アース線は、万一の感電・火災防止のため室外ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

(注2) 工場出荷時の冷媒量と使用している冷媒のGWP(地球温暖化係数)が記載されています。

(注3) 据付状態により追加充てんまたは再充てんされた冷媒量が記載されています。

(注4) 暖房運転時、室外ユニットから出た水を排出します。(底面後方)

(注5) 指定冷媒以外の封入・混入に関する注意事項が記載されています。

ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。
注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ずアース工事をしてください。
--	--------------	---	------------------	---	-----------------

警告 使用上の注意事項

- 吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。  禁止
- 分解や改造・修理をしない
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。  禁止
- 移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。  禁止
- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない引火・ひび割れの原因になります。  禁止

- 電源ブレーカーでエアコンの運転や停止をしない
火災や水漏れの原因になります。また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。  禁止
- 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。  禁止
- 別売品の取付けは、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(4ページ参照)  禁止

- 異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。 
- 洪水・台風などでエアコンが水没したときは、すぐに電源ブレーカーを遮断し、お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。 
- 室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかること故障や発煙・発火の原因になります。 

注意 使用上の注意事項

- 室外ユニットの吹出口を取り外さない
高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。  禁止
- 室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。  禁止
- 動植物に直接風を当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。  禁止
- 室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない
けがの原因になることがあります。  禁止
- 室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない
運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。  禁止

- 吹出口の近くにスプレー缶などを置かない
室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。  禁止
- 吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。  禁止
- 本体やリモコンで遊ばせない
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。  禁止
- 室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。  禁止
- 焦げ臭い場合や、お手入れ、点検時以外は電源ブレーカーを遮断しない(床置形の室内ユニットを接続する場合)
冷媒の漏洩を検知できなくなります。  禁止

- 高圧洗浄機などを用いた室外ユニットの洗浄を行わない
アルミフィンの変形・能力低下の原因になることがあります。また、電気部品や電動機にかかること故障や発煙・発火の原因になることがあります。  禁止
- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。 
- 長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する(床置形の室内ユニットを接続する場合を除く)
ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。 

警告 据付上の注意事項

- 据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(4ページ参照)  禁止
- 調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。  禁止

- 冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない
冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがの原因になります。指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。  禁止
- アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。  アース線を接続せよ

- 指定の漏電遮断器を取り付ける
取り付けないと感電や火災の原因になります。 
- 電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。 

注意 据付上の注意事項

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない
万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまと、発火の原因になることがあります。  禁止

- 長期使用などで傷んだ据付台を使用しない
傷んだ状態で放置すると室内・室外ユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。  禁止

- ドレン配管は、確実に排水できるように施工する
不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。 

据付けについて

(必ずお読みください)

据付場所について

- まわりに障害物のない、風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 調理油や鉱物油など油成分が浮遊しているところ
 - 調理室など油煙の多いところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など腐食性ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶など振動の影響を受けるところ
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
 - 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
 - カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊するところ
 - シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱うところ
 - 落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ
 - 小動物のすみかになるようなところ
- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室外ユニットや電源配線・連絡配線から1.5m以上離してください。
- 映像が乱れたり、雑音が入ったりすることがあります。
- 積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底フレーム下部が雪で閉塞するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。
 - 降雪・積雪・落雪で埋まらないよう、室外ユニットを架台の上に設置し、底フレームが予想される雪面より500mm以上高くなるようにする。
 - 防雪フード(別売品)・防雪屋根(別売品)・雪除けの屋根および囲い(現地調達品)などを取り付ける。
 - 雪が後部フィンなどにたまらないように、防雪フード(別売品)を取り付ける。
 - 雪が吹きだまる場所への設置は避ける。
- 除霜運転時に出るドレンが凍結するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。
 - 室外ユニットの底フレームの下面に氷が成長しないように、室外ユニットの底フレームが予想される雪面より十分な高さに据え付ける。(500mm以上空けることを推奨)
 - 底フレーム内でドレンが凍結しないよう、ドレンパンヒーター(別売品)を使用する。
 - 集中ドレンプラグ(別売品)を使用しない。
 - (ドレンプラグやドレン管を使用すると凍結するおそれがあります。)
 - ドレンが滴下して問題がある場合には、室外ユニットの下方に屋根を設けるなどの対策をする。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- エアコン専用の回路をご使用ですか？専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの原因になります。
- 電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

ドレン配管の排水について

- 室内ユニットのドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

運転音にもご配慮を

- 次のような場所を選んでいませんか？
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。
- 使用中に異常音がある場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

据付け時のご注意

- 冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を混入させないでください。指定冷媒は室外ユニット前板に表示されていますのでご確認ください。

据付け後のご注意

- 室外ユニットの吸込口・吹出口を閉鎖してしまうと、リモコンにエラーコード(E3・E4・L4・L8など)が表示される場合があります。このような場合には、吸込口・吹出口に物を置いたり、載せたりして、閉鎖していないかご確認ください。



警告

- 冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない
冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

調子がおかしいときは

症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する	電源を入れないでください。
運転ボタンの作動が不確実	電源を遮断してください。

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因
白い霧が出る	除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき 霜が溶け、湯気となるためです。
ドレンが出る	暖房運転中 除霜運転中 空気中に含まれる水分が室外ユニット熱交換器で結露するためです。 暖房運転中に室外ユニット熱交換器に着いた霜が溶けるためです。
室外ユニット内部が熱い	停止中 これは機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。
室外ユニットの圧縮機や室外ファンが止まらない	運転停止後 油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。
室外ファンが止まる	運転中 製品の運転を最適状態にするためにファンの回転数を制御しているためです。
音が出る	除霜開始・終了直後 冷媒の流れが止まる音、および流れが変わる音です。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。また、機種により装着できる別売品が異なります。詳細はお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

- 防雪フード 降雪地域でも雪の影響を受けにくくします。
- 防護ネット 頑丈な鉄製ネットで室外ユニットの吸込口と吹出口をガードし、人が直接触れないようにします。
- 側面(背面)保護金網 室外ユニットの熱交換器フィンからガードします。人が近づくおそれのある場所では、設置することを推奨します。
- 上吹出調整板 室外ユニットの吹出方向を真上に変え、人に直接吹出からの風が当たらないようにします。
- 風向調整板 風の吹出方向に障害物がある場合などに、風向を上方向または下方向に変更することができます。
- 集中ドレンプラグ エアコンの排水を1ヵ所に集合させることができます。
- 転倒防止金具 突風を受ける場所に据え付ける場合に室外ユニットをしっかりと基礎に固定することができます。
- エネカット ウォッシュアップによって冷房運転時の外気温の上昇による効率の低下を軽減させ省エネ効果を高めます。
- デマンドアダプター デマンド運転・低騒音運転の設定が行えます。
- ドレンパンヒーター 室外ユニットの底フレーム上に組み込み、室外ユニットに吹き込む雪を溶かす熱源として使用します。
- 防風板 台風やビル風などの強風が吹出側正面から連続的に吹きつける場所で、低回転時のファン逆回転を防止し、ファンを保護します。
- 内外配線2線化キット 室外-室内ユニット間の連絡配線を3線式から2線式に変更することができます。
- 防雪屋根 室外ユニットの天面の積雪を抑制し、吹出口のつららを防止します。
- 小動物侵入抑止キット 小動物が室外ユニットプリント基板に侵入することを抑制します。

省エネ・快適機能・冷房専用設定について

「高熱モード」・「夜間自動静音モード」・「冷房専用設定」などの機能があります。詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

安全にお使いいただくために

- 本機は業務用エアコンです。
室内ユニットの取扱説明書に記載の「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。
- 家庭用として設計上の標準使用期間(10年)を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間についての詳細は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

自動運転について

冷房時には「オートエコレッシュ機能」により、湿度を検知しながら快適湿度に近づけます。(一部の室内ユニット接続時に限ります。)
また、リモコンで自動運転に設定すると、省エネ運転のため室内ユニットの風量が自動で変化することがあります。

製品の種類と運転音

(音響パワーレベル：PWL)

種類	RSRP～(E)(H)				RZRP～(E)(H)			
	80BYV	80BYT	112BY	140BY	160BY	112BY	140BY	160BY
機能：冷暖房兼用形	凝縮器の冷却方式：空冷式				ユニット構成：分離形			送風方式：直接吹出形
PWL運転音 (dB)	冷房	67	69	72	72	72	75	76
	暖房	68	71	72	74	72	75	76

(注) ●音響パワーレベル(PWL)は、JIS B 8616：2015(パッケージエアコンディショナ)の附属書Dの騒音試験方法に基づいています。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

(音圧レベル：SPL)

種類	RSRP～(E)(H)				RZRP～(E)(H)			
	80BYV	80BYT	112BY	140BY	160BY	112BY	140BY	160BY
SPL運転音 (dB)	冷房	46	48	51	51	51	54	55
	暖房	47	51	52	54	52	55	56

(注) ●音圧レベル(SPL)は、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

<使用条件> ※右表は室外ユニットの吸込口空気温度を示します。
正しく使っていただくために、右表の条件で運転してください。
右表の条件外で運転すると、安全装置が働き運転しない場合があります。

	冷房	暖房
RSRP80～160BY・RZRP112～160BY	-15～50℃	-25～21℃

移設および廃棄などについて (必ずお読みください)

- 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、あらかじめお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
- エアコンを再設置する場合は⁽³⁾の「据付けについて」を必ず確認してください。
- この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
・この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
・この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

フロン排出抑制法

- (1)フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2)この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
右記の冷媒初期充てん量の数値は、工場出荷時の値であり、実際の冷媒量は据付状態や機種により異なります。
詳細の数値は室外ユニット前板裏面に表示されていますので確認してください。
- (3)冷媒が未回収の機器を引渡してはいけません。

第一種特定製品

(4)フロン類の種類・冷媒番号・地球温暖化係数(GWP)および冷媒初期充てん量

種類	冷媒番号	地球温暖化係数(GWP)	冷媒初期充てん量(kg)
HFC	R32	675	RSRP80形：3.20kg
			RSRP112～160形：3.35kg
			RZRP112形：3.15kg
			RZRP140・160形：2.65kg



アフターサービスと保証について

- 無料修理保証期間経過後の修理について**
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について**
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切後10年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 点検と保全周期の目安、消耗部品の交換周期目安について**
室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。
- 保守点検契約のおすすめ**
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。
また耐塩害・耐重塩害仕様の室外ユニットを使用した場合でも腐食に対して万全ではありません。機械の設置・メンテナンスについてはお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
- ご不明の場合は**
アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。



24時間365日、安心つながる。

フリーダイヤル
お電話から 0120-88-1081

非通知設定の方は、最初に186をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。

お客さま
総合窓口 **コンタクトセンター**

FAXから 0120-07-0881



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

ダイキン工業株式会社

大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号 530-0001

3P693044-2

M22A019

(2207) [FS]

4

●この取扱説明書には、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示213号(平成21年)による表示事項を記載しております。

〈**通年エネルギー消費効率(APF)**〉

FIVE STAR ZEASシリーズ

室外ユニット 形式	室内ユニット		通年エネルギー消費効率 (APF)
	形式	台数	
RSRP80BYT	FHCP80FC	1	6.4
	FHCP40FC	2	6.3
	FAP80FB	1	5.1
	FAP40FB	2	5.4
	FUP80FB	1	5.3
	FUP40FB	2	5.5
	FHP80FB	1	5.3
	FHP40FB	2	5.2
	FHGP80FB	1	5.0
	FHGP40FB	2	5.2
	FHKP80FB	1	5.0
	FHKP40FB	2	5.1
	FHBP80FB	1	5.2
	FHBP40FB	2	5.2
	FHMP80FB	1	5.0
	FHMP40FB	1	4.6
	FVP80FB	1	5.0
	FHTP80FB	1	4.4
	FHNP40FB	2	5.2
	FHUP80FA	1	5.0
FHUP40FA	2	5.1	
RSRP80BYV	FHCP80FC	1	6.3
	FHCP40FC	2	6.3
	FAP80FB	1	5.1
	FAP40FB	2	5.4
	FUP80FB	1	5.3
	FUP40FB	2	5.5
	FHP80FB	1	5.3
	FHP40FB	2	5.2
	FHGP80FB	1	5.0
	FHGP40FB	2	5.2
	FHKP80FB	1	5.0
	FHKP40FB	2	5.1
	FHBP80FB	1	5.2
	FHBP40FB	2	5.2
	FHMP80FB	1	5.0
	FHMP40FB	1	4.6
	FVP80FB	1	5.0
	FHTP80FB	1	4.4
	FHNP40FB	2	5.2
	FHUP80FA	1	5.0
FHUP40FA	2	5.1	
RSRP112BY	FHCP112FC	1	6.4
	FHCP56FC	2	6.4
	FAP112FB	1	5.2
	FAP56FB	2	5.4
	FUP112FB	1	5.5
	FUP63FB	2	5.6
	FHP112FB	1	5.6
	FHP56FB	2	5.5
	FHGP112FB	1	5.5
	FHGP56FB	2	5.5
	FHKP56FB	2	5.4
	FHBP112FB	1	5.6

室外ユニット 形式	室内ユニット		通年エネルギー消費効率 (APF)	
	形式	台数		
RSRP112BY	FHBP56FB	2	5.4	
	FHMP112FB	1	5.4	
	FHMP112FB	1	5.2	
	FHNP56FB	2	4.6	
	FVP112FB	1	5.4	
	FVP56FB	2	5.5	
	FHUP63FA	2	5.5	
	RSRP140BY	FHCP140FC	1	6.0
		FHCP71FC	2	6.1
		FAP71FB	2	5.1
FUP140FB		1	5.1	
FUP80FB		2	5.6	
FHP140FB		1	5.3	
FHP71FB		2	5.4	
FHGP140FB		1	5.1	
FHGP71FB		2	5.1	
FHKP71FB		2	5.1	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3	5.2	
RSRP160BY	FHCP160FC	1	5.8	
	FHCP80FC	2	5.9	
	FHCP50FC	3	6.0	
	FAP80FB	2	5.0	
	FAP50FB	3	5.0	
	FUP80FB	2	5.4	
	FUP50FB	3	5.5	
	FHP160FB	1	5.1	
	FHP80FB	2	5.2	
	FHP50FB	3		

JIS B 8616 : 2015(パッケージエアコンディショナ)の施行に伴う表示の変更について

JIS B 8616の改正に伴い、新しいAPF(APF2015 : 通年エネルギー消費効率)と運転音(音響パワーレベル : PWL)を表示します。
 従来のAPFは(6)ページに、運転音(音圧レベル : SPLおよび音響パワーレベル : PWL)は(4)ページに表記しております。
 ●APF2015とは
 現状のAPFに対して空調負荷や外気温度発生時間などをより実態に合った指標として算出方法が変更となったものです。
 ●音響パワーレベル(PWL)とは
 JIS B 8616 : 2015(パッケージエアコンディショナ)の附属書Dの騒音試験方法に基づき従来の音圧レベル(SPL)から測定方法を変更したものです。

FIVE STAR ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RSRP80BYT	FHCP80FC	1	7.1	8.0	1.59	1.58	6.9
	FHCP40FC	2	7.1	8.0	1.55	1.61	6.2
	FAP80FB	1	7.1	8.0	2.03	2.15	5.1
	FAP40FB	2	7.1	8.0	1.85	1.93	5.5
	FUP80FB	1	7.1	8.0	1.90	1.98	5.4
	FUP40FB	2	7.1	8.0	1.80	1.88	5.6
	FHP80FB	1	7.1	8.0	2.00	2.24	5.4
	FHP40FB	2	7.1	8.0	1.87	1.96	5.3
	FHGP80FB	1	7.1	8.0	1.87	2.24	5.0
	FHGP40FB	2	7.1	8.0	1.80	1.99	5.3
	FHKP80FB	1	7.1	8.0	2.05	2.28	5.0
	FHKP40FB	2	7.1	8.0	1.95	1.98	5.2
	FHBP80FB	1	7.1	8.0	1.92	2.04	5.0
	FHBP40FB	2	7.1	8.0	1.90	2.03	5.0
	FHMMP80FB	1	7.1	8.0	1.91	1.91	5.0
	FHMP80FB	1	7.1	8.0	2.05	2.25	4.6
	FVP80FB	1	7.1	8.0	2.02	2.30	5.0
	FHTP80FB	1	7.1	8.0	2.58	2.44	4.4
	FHNP40FB	2	7.1	8.0	2.01	1.91	5.2
	FHUP80FA	1	7.1	8.0	2.20	2.25	5.1
FHUP40FA	2	7.1	8.0	2.10	2.00	5.2	
RSRP80BYV	FHCP80FC	1	7.1	8.0	1.59	1.61	6.8
	FHCP40FC	2	7.1	8.0	1.55	1.61	6.2
	FAP80FB	1	7.1	8.0	2.03	2.15	5.1
	FAP40FB	2	7.1	8.0	1.85	1.93	5.5
	FUP80FB	1	7.1	8.0	1.90	1.98	5.4
	FUP40FB	2	7.1	8.0	1.80	1.88	5.6
	FHP80FB	1	7.1	8.0	1.95	2.20	5.4
	FHP40FB	2	7.1	8.0	1.87	1.96	5.3
	FHGP80FB	1	7.1	8.0	1.87	2.24	5.0
	FHGP40FB	2	7.1	8.0	1.80	1.99	5.3
	FHKP80FB	1	7.1	8.0	2.05	2.28	5.0
	FHKP40FB	2	7.1	8.0	1.95	1.98	5.2
	FHBP80FB	1	7.1	8.0	1.92	2.04	5.0
	FHBP40FB	2	7.1	8.0	1.90	2.03	5.0
	FHMMP80FB	1	7.1	8.0	1.91	1.91	5.0
	FHMP80FB	1	7.1	8.0	2.05	2.25	4.6
	FVP80FB	1	7.1	8.0	2.02	2.30	5.0
	FHTP80FB	1	7.1	8.0	2.58	2.44	4.4
	FHNP40FB	2	7.1	8.0	2.01	1.91	5.2
	FHUP80FA	1	7.1	8.0	2.20	2.25	5.1
FHUP40FA	2	7.1	8.0	2.10	2.00	5.2	
RSRP112BY	FHCP112FC	1	10.0	11.2	2.30	2.20	7.0
	FHCP56FC	2	10.0	11.2	2.30	2.45	6.2
	FAP112FB	1	10.0	11.2	2.75	3.45	5.3
	FAP56FB	2	10.0	11.2	2.80	2.97	5.3
	FUP112FB	1	10.0	11.2	2.65	2.60	5.6
	FUP56FB	2	10.0	11.2	2.50	2.55	5.7
	FHP112FB	1	10.0	11.2	2.60	2.60	5.7
	FHP56FB	2	10.0	11.2	2.79	2.78	5.5
	FHGP112FB	1	10.0	11.2	2.50	2.80	5.6
	FHGP56FB	2	10.0	11.2	2.60	2.87	5.5
	FHKP56FB	2	10.0	11.2	2.70	2.82	5.3
	FHBP112FB	1	10.0	11.2	2.34	2.58	5.3
	FHBP56FB	2	10.0	11.2	2.36	2.63	5.3
	FHMMP112FB	1	10.0	11.2	2.39	2.57	5.3
	FHMP112FB	1	10.0	11.2	2.70	2.70	5.2
	FHNP56FB	2	10.0	11.2	3.18	2.96	4.6
	FVP112FB	1	10.0	11.2	2.65	2.80	5.3
	FVP56FB	2	10.0	11.2	2.70	2.70	5.4
	FHUP63FA	2	10.0	11.2	2.70	2.82	5.3

Eco-ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RZRP112BY	FHCP112FC	1	10.0	11.2	2.47	2.35	6.1
	FHCP56FC	2	10.0	11.2	2.45	2.54	6.0
	FAP112FB	1	10.0	11.2	2.98	3.49	5.1
	FAP56FB	2	10.0	11.2	2.80	3.20	5.1
	FUP112FB	1	10.0	11.2	2.78	2.78	5.4
	FUP56FB	2	10.0	11.2	2.57	2.75	5.5
	FHP112FB	1	10.0	11.2	2.72	2.70	5.5
	FHP56FB	2	10.0	11.2	2.80	2.90	5.3
	FHGP112FB	1	10.0	11.2	2.55	2.98	5.4
	FHGP56FB	2	10.0	11.2	2.65	3.03	5.3
	FHKP56FB	2	10.0	11.2	2.70	3.16	5.1
	FHBP112FB	1	10.0	11.2	2.61	2.78	5.1
	FHBP56FB	2	10.0	11.2	2.64	2.89	5.1
	FHMMP112FB	1	10.0	11.2	2.66	2.75	5.1
	FHMP112FB	1	10.0	11.2	2.72	2.80	5.1
	FHNP56FB	2	10.0	11.2	3.18	3.06	4.4
	FVP112FB	1	10.0	11.2	2.70	3.05	5.1
	FVP56FB	2	10.0	11.2	2.75	2.84	5.2
	FHUP63FA	2	10.0	11.2	2.90	3.00	5.1
	RZRP140BY	FHCP140FC	1	12.5	14.0	3.49	3.36
FHCP71FC		2	12.5	14.0	3.38	3.28	5.8
FAP71FB		2	12.5	14.0	3.99	3.75	5.0
FAP140FB		1	12.5	14.0	4.45	3.90	5.0
FUP80FB		2	12.5	14.0	3.50	3.33	5.5
FUP140FB		1	12.5	14.0	4.22	3.78	5.0
FHP71FB		2	12.5	14.0	3.72	3.61	5.3
FHGP140FB		1	12.5	14.0	4.14	3.95	4.8
FHGP71FB		2	12.5	14.0	3.90	3.95	5.0
FHKP71FB		2	12.5	14.0	3.90	4.10	4.9
FHBP140FB		1	12.5	14.0	3.90	3.75	4.8
FHBP71FB		2	12.5	14.0	3.80	3.56	4.8
FHMMP140FB		1	12.5	14.0	3.91	3.80	4.8
FHMP140FB		1	12.5	14.0	4.45	3.90	4.8
FHNP71FB		2	12.5	14.0	5.40	4.40	4.1
FHTP140FB		1	12.5	14.0	5.40	4.70	4.3
FVP140FB		1	12.5	14.0	4.45	4.40	4.8
FVP71FB		2	12.5	14.0	3.99	4.00	4.9
FHUP80FA		2	12.5	14.0	4.10	3.80	4.9
RZRP160BY		FHCP160FC	1	14.0	16.0	4.44	4.08
	FHCP80FC	2	14.0	16.0	4.18	4.05	5.5
	FAP80FB	2	14.0	16.0	4.05	3.93	5.9
	FAP160FB	1	14.0	16.0	4.92	4.78	4.7
	FUP80FB	2	14.0	16.0	4.60	4.76	4.9
	FUP160FB	1	14.0	16.0	4.25	4.21	5.3
	FHP80FB	2	14.0	16.0	4.03	4.02	5.4
	FHP160FB	1	14.0	16.0	5.38	4.65	4.7
	FHP80FB	2	14.0	16.0	4.77	4.45	5.1
	FHP50FB	3	14.0	16.0	4.46	4.30	5.1
	FHGP160FB	1	14.0	16.0	5.20	4.86	4.7
	FHGP80FB	2	14.0	16.0	4.58	4.93	4.8
	FHGP50FB	3	14.0	16.0	4.60	4.45	5.1
	FHKP80FB	2	14.0	16.0	4.95	4.95	4.7
	FHKP50FB	3	14.0	16.0	4.65	4.77	4.8
	FHBP160FB	1	14.0	16.0	5.03	4.70	4.7
	FHBP80FB	2	14.0	16.0	4.79	4.47	4.7
	FHBP50FB	3	14.0	16.0	4.77	4.45	4.7
	FHMMP160FB	1	14.0	16.0	5.10	4.65	4.7
	FHMP160FB	1	14.0	16.0	5.15	4.79	4.7
FHTP80FB	2	14.0	16.0	6.49	5.49	4.1	
FHNP50FB	3	14.0	16.0	5.43	4.45	4.6	
FVP160FB	1	14.0	16.0	5.49	5.15	4.7	
FVP80FB	2	14.0	16.0	4.92	5.10	4.7	
FVP50FB	3	14.0	16.0	4.49	4.30	4.9	
FHUP80FA	2	14.0	16.0	4.95	4.75	4.7	
FHUP50FA	3	14.0	16.0	4.84	4.35	4.8	

ワイヤードリモコン かんたんマニュアル

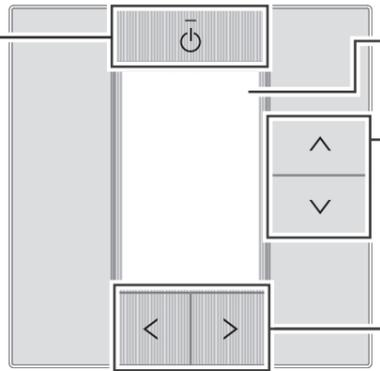
取扱説明書 簡易版

リモコン各部の名称と働き

●**運転 / 停止ボタン**
1度押すと運転し、再度押すと停止します。



運転中：緑色に点灯
停止中：消灯
エラー発生時：緑色で点滅



●**液晶表示部**

●**上下ボタン**
ボタンを押すごとに表示中の選択肢が切り換わります。

●**左右ボタン**
ボタンを押すごとに画面が切り換わります。

BRC1G4 (K)

ご使用になる前にお読みください

- このマニュアルは、BRC1G4のリモコンを使用した室内ユニットの基本的な操作について説明しています。いつでも見られるところに保管し、必要なときにご覧ください。
- 詳しい内容や換気機器、調湿機器の操作については、弊社ウェブサイトのBRC1G4の取扱説明書をご覧ください。また、リモコン操作以外の説明については、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの詳しい情報は、弊社ウェブサイトの取扱説明書をご覧ください。

BRC1G4

検索

<http://d-search.daikin.co.jp/open/manual?mdl=BRC1G4&set=K>



ダイキン工業株式会社

大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号 530-0001

リモコン使用時のご注意

ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。
	注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		絶対に水にぬらさないでください。
--	--------------	--	------------------	--	------------------

		警告	禁止	●分解や改造・修理をしない 感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。
		禁止	●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない 有機溶剤(アルコール消毒液、ベンジン、シンナーなど)で本体をふかない ひび割れ・感電・引火の原因になります。	
		禁止	●移動・再設置は、自分でしない 据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。	
		注意	●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。	
		禁止	●本体やリモコンで遊ばせない 誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。	
		水ぬれ禁止	●ぬれた手で操作しない 感電の原因になることがあります。	

お願い事項

- リモコンは、直射日光のあたる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- リモコン配線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。
- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。
- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
- 運転停止後、すぐに電源を遮断しないでください。残留運転が終わるまで必ず10分以上お待ちください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 静電気により、液晶表示部に黒い線が現れることがありますが、しばらく経つと自然に消えます。消えない場合は「サービス連絡先」または「コンタクトセンター」にご連絡ください。

基本運転のしかた (エアコン接続の場合)

温度設定

下記は一例です。お使いの室内ユニットによって設定できる項目が異なります。約10秒間ボタンの操作がないと、基本画面に戻ります。

基本画面

インフォメーション画面

下記の情報を表示します。

- 上段
- サービス連絡先
 - ご使用中のユニット機種名
- 下段
- エラーコード
 - 現在の設定状況
 - 交換・お手入れ情報
 - リモコン機種名
 - 取扱説明書のQRコード など

※お使いの室内ユニットによっては、表示されないことがあります。

下段の表示項目は で切り換わります。

温度を上げる/下げる

上下ボタン を押す

設定範囲

暖房	冷房
30℃	35℃
↑	↓
15℃	20℃

- ・設定温度範囲制限が有効の場合、設定できる範囲が制限されます。
- ・設定温度自動復帰等により、自動で設定が変更されることがあります。

運転切換 (モード)

運転切換

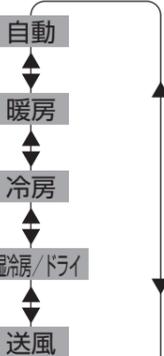
自動 暖房 冷房 ドライ 送風

右ボタン を押す

左ボタン を押す

運転モードを切り換える

上下ボタン を押す



風量調節

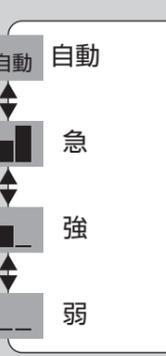
風量調節

自動

上下ボタン を押す

風量を切り換える

上下ボタン を押す



風向設定

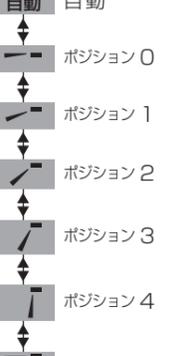
風向設定

スイング

上下ボタン を押す

風向を切り換える

上下ボタン を押す



メニュー画面

メニュー

1/2

リモコン/ファン風流
快速冷暖ON/OFF
省エネ・節電チェック
節電設定
設定温度自動復帰
設定温度範囲制限
切替モード
入タイマー
スタンバイタイマー
サービス連絡先/機種名

左右ボタン を押す

戻る

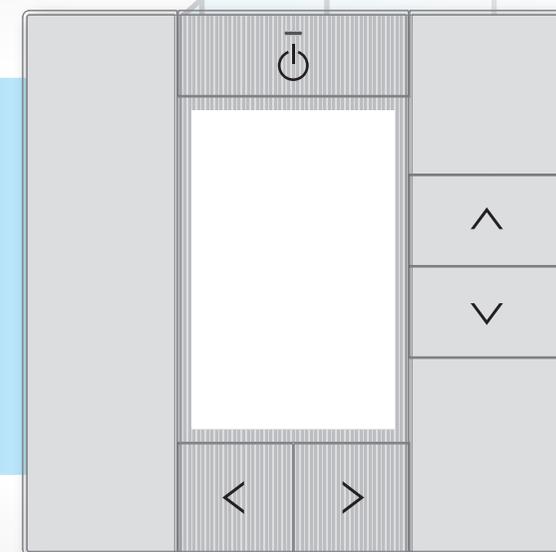
入切タイマーなどの詳細な設定ができます。メニューの種類や設定方法については、弊社ウェブサイトの取扱説明書をご覧ください。

それぞれのメニューは で移動し、反転表示しているときに で選択すると、各設定画面を表示します。

ワイヤードリモコン

(コントロールパネル)
BRC1G4(K)

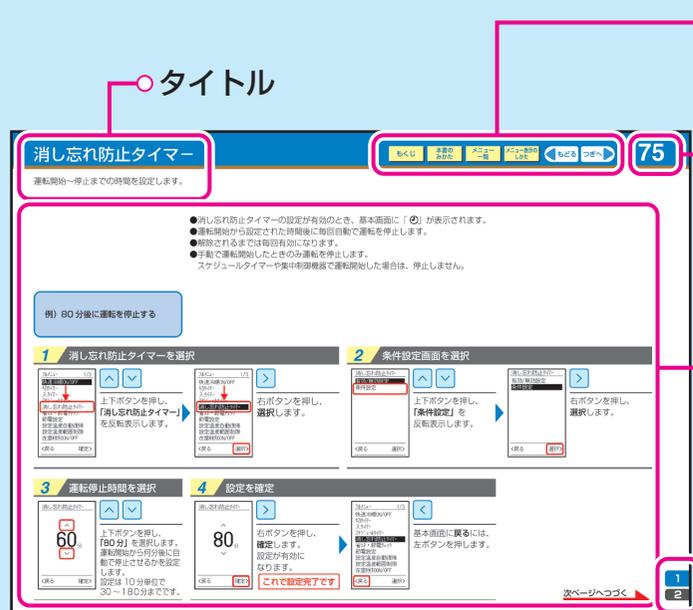
※以降、コントロールパネルについてもリモコンと表記します。



上手に使って
上手に省エネ

- このたびはワイヤードリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、リモコンの詳しい内容や注意事項を記載しております。かんたんマニュアル(本体と同梱)にて、不明な点は本書をお読みください。また、お使いになる方が代わる場合は、この取扱説明書のある弊社ウェブサイト(かんたんマニュアルにURL記載)をお伝えください。

本書では、メニュー機能の操作手順を以下のとおり説明します。



タイトル

ページリンク

PDF で見える場合、クリックすると各項目の説明ページに移動します。

もくじ

もくじに移動します。

本書のみかた

本書のみかたに移動します。

メニュー一覧

メニュー一覧に移動します。

メニュー表示のしかた

メニュー表示のしかたに移動します。

もどる

前の画面にもどります。

つぎへ

次の画面に移動します。

ページ番号

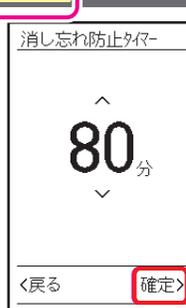
操作手順の説明

機能ごとに操作説明をしています。

手順番号

4

設定を確認



操作するボタン

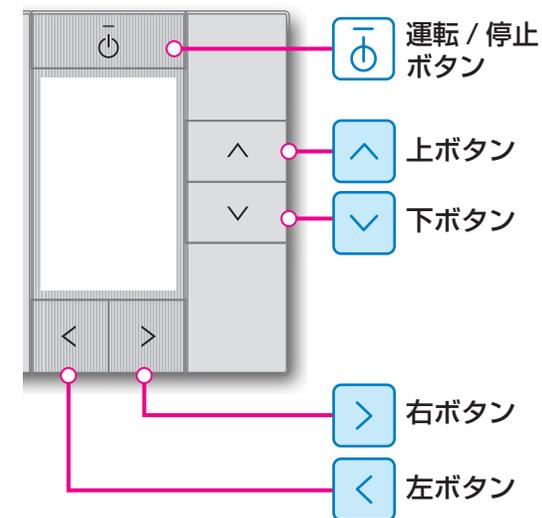
右ボタンを押し、
確認します。
設定が有効になります。

これで設定完了です

操作の説明

この操作で設定が完了したことを示します。

操作ボタンは以下の絵表示を使って説明します。

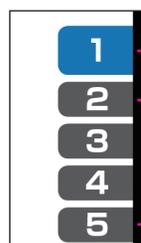


ボタン絵表示がこんなときは

色が反転
長押ししてください。

ページナビゲーション

各項目の説明が複数ページにわたる場合、総ページ数と現在閲覧中のページを表します。



1 閲覧中のページです。

2 3 4 5 続きの説明ページになります。

運転操作をしたい

冷房・暖房・自動・
除湿冷房(またはドライ)・
送風 を 選 びたい

↳ 運転切換(モード) **22**

省エネ運転がしたい

消費電力を
一定に 抑えるようにしたい

- ・ マニュアル節電
- ・ スケジュール節電
- ・ スマート節電

↳ 節電設定 **81**

一定時間が経過したら
設定温度を自動 で戻したい

↳ 設定温度自動復帰 **90**

設定できる
温度範囲を制限 したい

↳ 設定温度範囲制限 **92**

タイマー機能を使いたい

指定時間後に
エアコンを 運転
または 停止 したい

↳ 入・切タイマー **60, 62**

曜日ごとに1週間分の
スケジュールの
タイマー設定 をしたい

↳ スケジュールタイマー **65**

エアコンを運転するたびに
一定時間で
運転を停止 したい

↳ 消し忘れ防止タイマー **75**

快適な設定にしたい

今すぐ
冷やしたい/暖めたい

↳ 快速冷暖ON/OFF **45**

自分だけ風が当たらないように吹出口ごとに
風向きを変更 したい

↳ 風向個別設定 **47**

お客様の混み具合に
合わせて温度管理 をしたい

↳ スケジュールタイマー **65**

その他の便利な機能

基本画面の表示の

文字を大きくしたい

- 詳細モード
- ホテル向けモード
- かんたんモード

↳ ユーザモード切替 **139**

困りごとを解決したい

便利な機能を使用したいけど

メニューに表示されていない

メニュー表示設定 → **131**

冷房または暖房に変更したいけど

運転モードを変更できない

冷暖選択権の設定 → **31**

設定温度を変えたいけど変えられない

ある範囲以上変わらない

設定温度範囲制限 → **92**

風量を変更したいけれど

風量表示が消えている

風量調節 → **25**

除湿冷房運転 → **28**

マイコンドライ運転 → **29**

快速冷暖ON/OFF → **45**

エアコンが勝手に止まってしまう

いつも決まった時間運転したあとに止まる

消し忘れ防止タイマー → **75**

その他の場合

スケジュールタイマー → **65**

設定温度が勝手に変わってしまう

高温みもり → **54**

スケジュールタイマー → **65**

設定温度自動復帰 → **90**

誤操作を防止したい

キーロック → **111**

■ ご使用の前に

本書のみかた 2
 目的で探す 3
 もくじ 5
 安全上のご注意 7
 リモコン各部の名前と働き 11
 液晶表示部 12
 画面を切り換える 13
 基本画面 14
 各画面の表示内容 15
 表示アイコン一覧 16
 メッセージが表示されたとき 17

■ 基本操作

基本操作について 20
 温度設定 21
 運転切換(モード) 22
 風量調節 25
 風向設定 26
 除湿冷房運転(スカイエア ※対象機種のみ) 28
 マイコンドライ運転 29
 換気運転(エアコンと連動接続) 30
 冷暖選択権(ビル用マルチのみ) 31

■ メニュー操作

メニュー操作について 38
 メニュー一覧 39
 メニューの有効/無効設定 42

快適機能

サーキュレーション気流 44
 快速冷暖ON/OFF(スカイエア ※対象機種のみ) 45
 除湿冷房設定(スカイエア ※対象機種のみ) 46
 風向個別設定 47
 風向範囲切換(床置用) 50
 自動風あて・風よけ 51
 自動ドラフト低減 52
 高暖房モード 53
 高温みまもりモード 54
 静音モード 57

タイマー機能

切タイマー 60
 入タイマー 62
 入・切タイマー使用例 64
 スケジュールタイマー機能 65
 スケジュールタイマー使用例 66
 スケジュールタイマー 68
 消し忘れ防止タイマー 75

省エネ・節電機能

省エネ・節電チェック(スカイエア ※対象機種のみ) 78
 節電設定(スカイエア ※対象機種のみ) 81
 エコモード設定 88
 設定温度自動復帰 90
 設定温度範囲制限 92
 在室検知ON/OFF 94
 不在時省エネ運転モード 97
 待機電力低減(スカイエア ※対象機種のみ) 98
 !待機電力設定確認(スカイエア ※対象機種のみ) 99
 ディスプレイ自動OFF 100

制御機能

ローテーション運転 102
 ニオイ抑制設定 104
 内部クリーン運転 106
 内部クリーンモード設定 107
 夜間みまもり設定 108
 キーロック 111
 パスワード付きキーロック 112

換気・調湿(エアコンと連動接続)

換気量 114
 フレッシュアップ 115
 換気モード 116
 加湿換気 117
 調湿モード 118
 加湿/給気モード切換 119
 加湿/給気設定 120

初期設定

時計設定 123
 サービス連絡先/機種名 126
 設定状況一覧 127
 言語切換 128
 1℃/0.5℃表示切換 129
 ピクト表示設定 130
 メニュー表示設定 131
 お好み表示 132
 CO₂お知らせ設定 134
 熱中症お知らせ設定 137
 ユーザモード切換 139
 コントラスト調整 143
 運転ランプ輝度調整 144
 バックライト輝度調整 145

■ 換気単独接続の場合

全熱交換器ユニット単独接続

基本画面 147
 画面を切り換える 148
 換気量 149
 換気モード 150
 加湿換気 151
 ユーザモード切替 152

調湿外気処理ユニット単独接続

基本画面 153
 画面を切り換える 154
 換気量 155
 調湿モード 156
 ユーザモード切替 157

無給水加湿ユニット単独接続

基本画面 158
 画面を切り換える 159
 運転モード 160
 加湿/給気設定 161
 ユーザモード切替 163

外気処理タイプ全熱交換器ユニット単独接続

基本画面 164
 画面を切り換える 165
 ユーザモード切替 166

■ こんな表示がでたときは

！脱臭フィルターサインリセット 168
 ！フィルター交換サインリセット 169
 ！フィルターサインリセット 170
 ！ダストボックスサインリセット 171

■ 知っておいてください

2リモコン制御について 173
 お手入れについて 174
 エラーコードの表示 175
 故障かな?と思ったら 176
 アフターサービス 179
 お客様ご相談窓口 180

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。	 注意 誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。
--	---

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

 絶対にしないでください。	 必ず指示どおりに行ってください。	 絶対に水にぬらさないでください。
 必ずアース工事をしてください。	 絶対にぬれた手で触れないでください。	

リモコンについて

警告



●分解や改造・修理をしない

感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
有機溶剤(アルコール消毒液、ベンジン、シンナーなど)で本体を
ふかない

ひび割れ・感電・引火の原因になります。



●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを
遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意



●本体やリモコンで遊ばせない

誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。



●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。

■室内・室外ユニットについて

警告

-  ●長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない
 禁止 体調悪化・健康障害の原因になります。
-  ●吸込口・吹出口や風向羽根のすきまに指や棒などを入れない
 禁止 ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
-  ●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
 禁止 ひび割れ・感電・引火の原因になります。
-  ●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
 禁止 火災や故障の原因になります。
-  ●冷媒が漏れたら火気厳禁
 禁止 エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

 ●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
 禁止 針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

 ●電源ブレーカーでエアコンの運転や停止をしない
 禁止 火災や水漏れの原因になります。また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

 ●別売品の取付けは、自分でしない
 禁止 別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。ご自分で取付をされ不備があると、水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。

 ●アース工事を行う
 アース線を接続せよ アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

 ●指定の漏電遮断器を取り付ける
 取り付けないと感電や火災の原因になります。

 ●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

 ●洪水・台風などでエアコンが水没したときは、すぐに電源ブレーカーを遮断し、お買い上げの販売店に相談する
 運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

 ●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
 専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

 ●冷媒漏れ対策は、販売店に相談する
 万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。

 ●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店またはダイキンお客様相談窓口へ依頼する
 誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモーターにかかるると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

■ 室内・室外ユニットについて

注意



禁止

● 特殊用途には使用しない

精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特殊用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。



禁止

● 室外ユニットの吹出口を取り外さない

高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。



禁止

● 長期使用などで傷んだ据付台を使用しない

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。



禁止

● 室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



禁止

● 吸入口や吹出口をふさがない

能力低下や故障の原因になることがあります。



禁止

● 室内・室外ユニットの吸入口・吹出口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



禁止

● 室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない

運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。



禁止

● エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



禁止

● 室内ユニットの真下や近くでほかの暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。



禁止

● 動植物に直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



禁止

● 吹出口の近くにスプレー缶などを置かない

室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止

● フィルター交換のときは電動機部に触れない

電動機部が熱くなっており、やけどの原因になることがあります。



禁止

● 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



禁止

● 室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない

落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。



水ぬれ
禁止

● 床置形室内ユニットの上に花びん・植木鉢など、水の入った容器を置かない

内部に水が浸入して感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ
禁止

● エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



● ととき換気を行う

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。



● 長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する

ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



● 高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

■ 室内・室外ユニットについて

注意

-  ● ドレン配管は、確実に排水するように施工する
不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。
-  ● お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

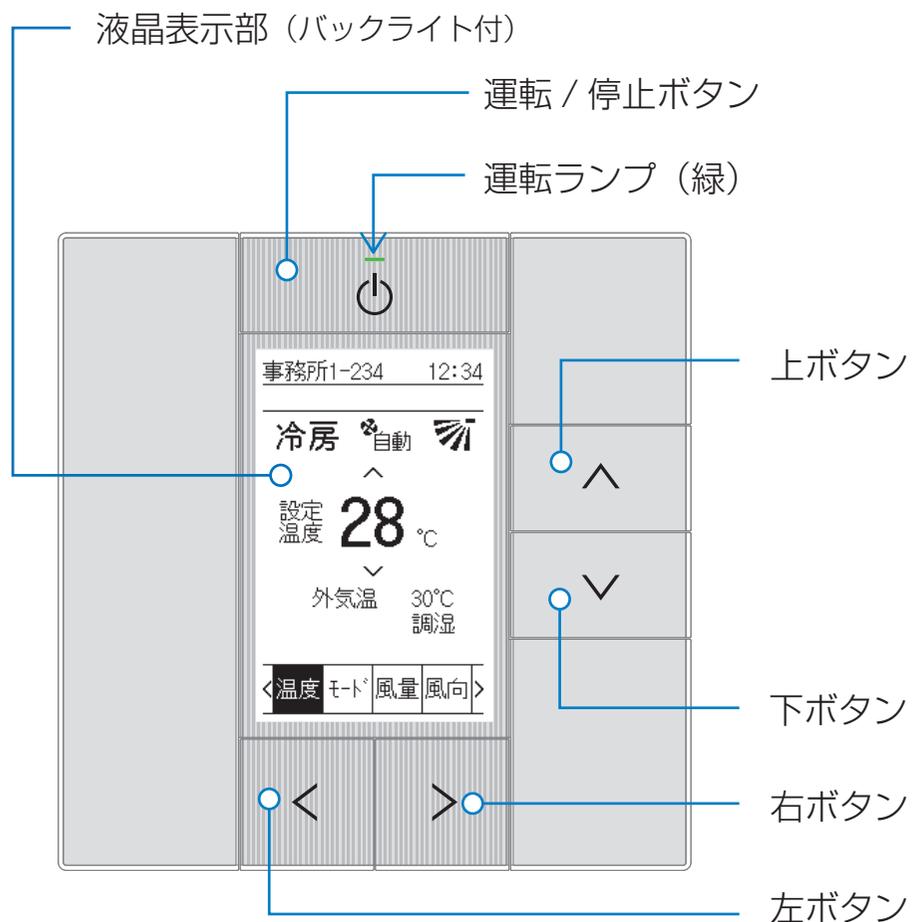
■ 全熱交換器ユニット・調湿外気処理ユニット・外気処理ユニットについて

警告

-  ● 本体および室内側の給排気グリル付近の温度が0℃以下になるところには据え付けない
水配管・加湿エレメント・電磁弁などの水が凍結し、故障・水漏れの原因になります。
-  ● 分解や改造・修理をしない
感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
-  ● 移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
-  ● 可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気する
換気が不十分な場合に運転/停止すると、電気接点の火花により、爆発する原因になります。
-  ● お手入れ・点検のときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
内部には充電部やファンが高速回転しており、電源ブレーカーを遮断しないと感電やけがの原因になります。

注意

-  ● 高温な場所や直接炎などが当たる場所に設置しない
発熱・発火の原因になることがあります。
-  ● 浴室など湿気の多いところに設置しない
感電・漏電の原因になることがあります。
-  ● 吸込グリルや吹出グリルをふさがない
部屋全体に風が行きわたらず換気不足で酸欠となり、体調悪化・健康障害の原因になることがあります。
-  ● パネル・パネルの落下防止ひも・熱交換エレメントは確実に取り付ける
パネルや熱交換エレメントの落下の原因になることがあります。
-  ● エアフィルターを抜いたままで運転しない
熱交換エレメントにごみやホコリが詰り、性能が低下し故障の原因になることがあります。
-  ● 清掃時は手袋を着用する
着用しないで清掃すると、けがの原因になることがあります。



運転/停止ボタン

- 1度押すと運転し、再度押すと停止します。

運転ランプ (緑)

- 運転中：緑色に点灯
- 停止中：消灯
- エラー発生時：緑色で点滅

液晶表示部 (バックライト付)

- 操作ボタンのどれかを押すとバックライトが約 30 秒間点灯します。
- ボタン操作は、バックライト点灯中に行ってください。
(ただし、運転/停止ボタンを除きます。)
- 1台の室内ユニットに2台のリモコンが接続されている場合、先にボタン操作したリモコンのみバックライトが点灯します。
(ボタン操作については、バックライトが消灯しているリモコンでも有効です。)

左・右・上・下ボタン

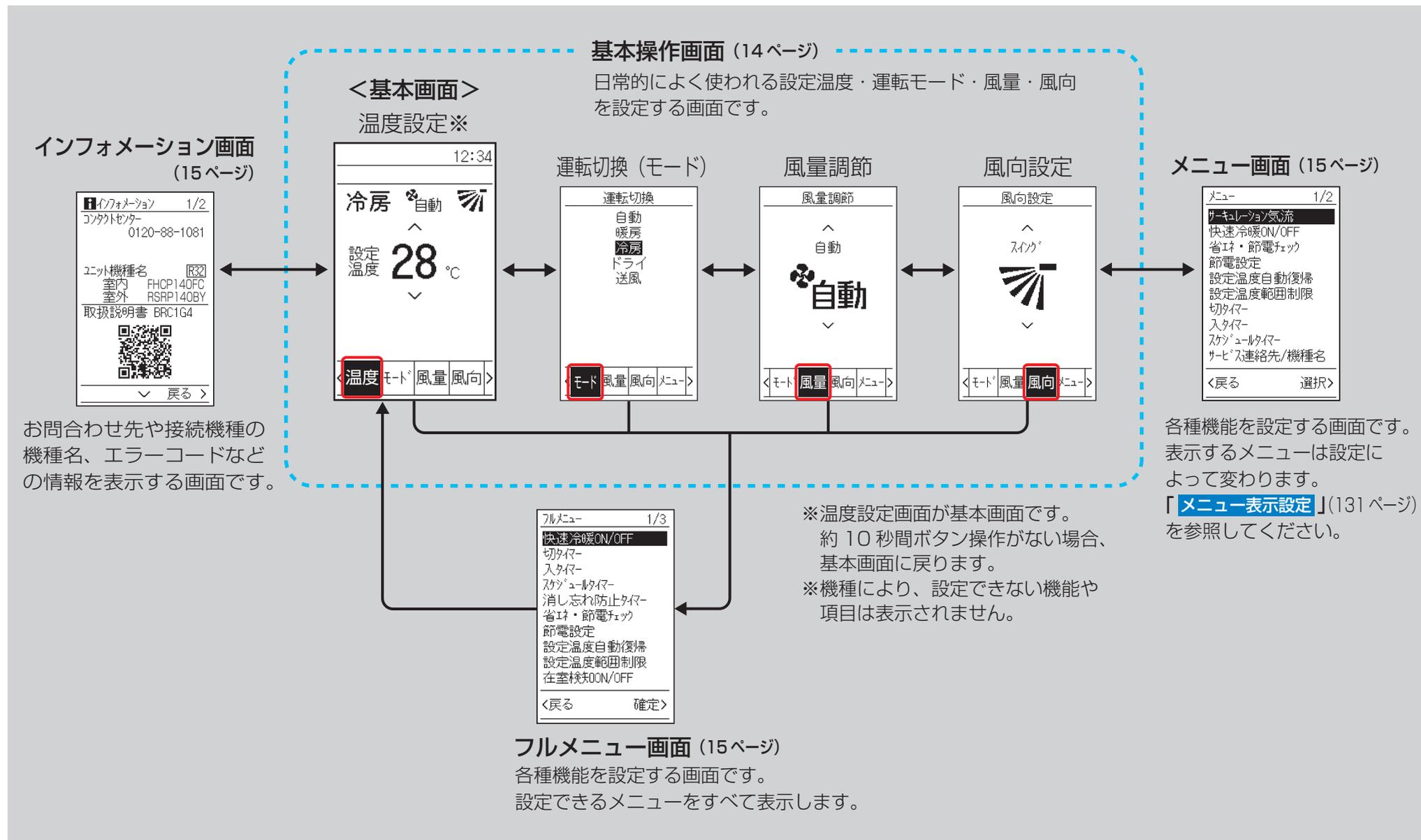
- 反転表示を左右上下方向に移動するとき、または選択・設定の確定を行うときに使用します。

- リモコンは直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- リモコンコードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。
- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

■画面の種類と構成

液晶表示部にはいろいろな画面が表示されます。

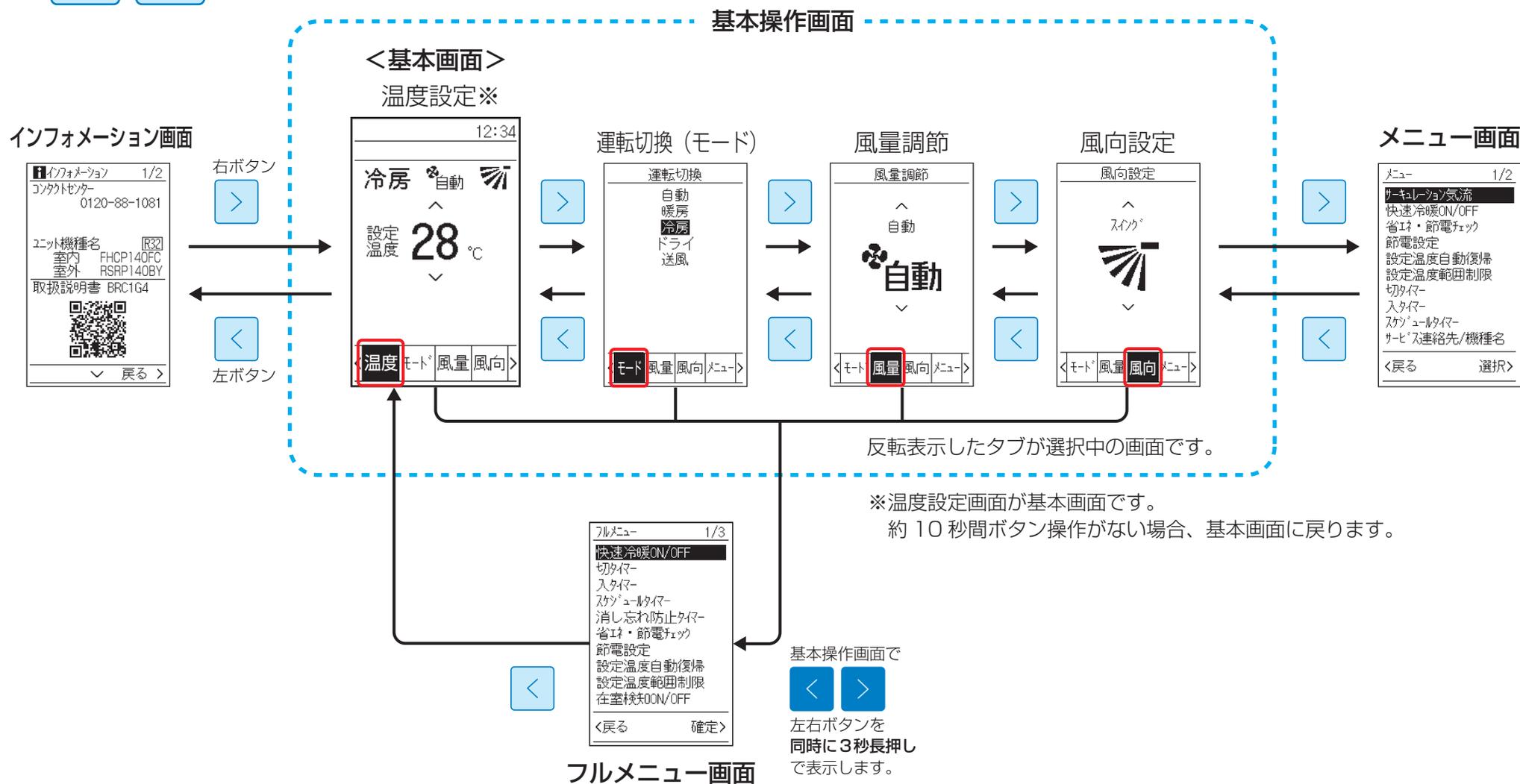
各画面の詳細については、下記の参照ページでご確認ください。



画面の切り換えは、左右ボタンを使います。

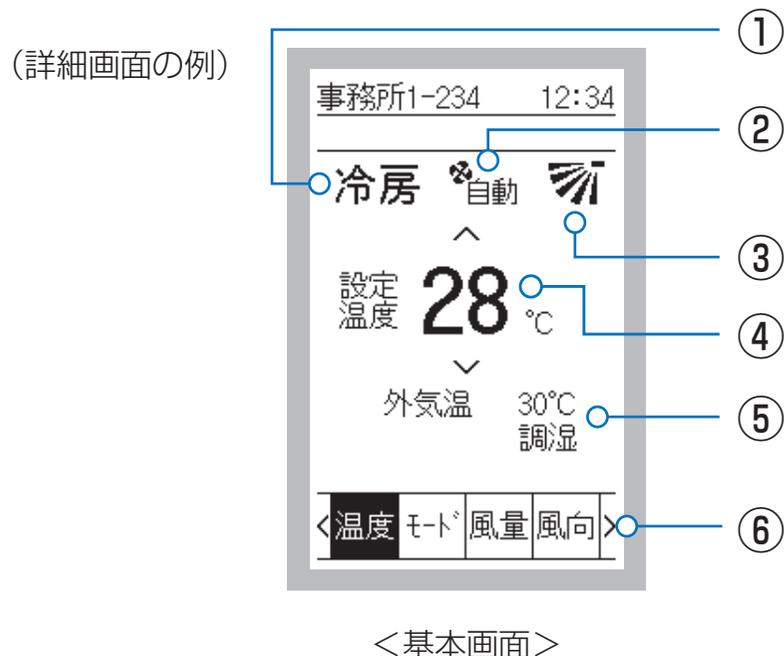


左右ボタンを押して画面を切り換えます。



基本操作画面は、「温度」・「モード」・「風量」・「風向」を設定する4種類の画面があります。

このうち「温度」画面は、下記のとおり「基本画面」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。



- 基本画面のユーザ別表示設定には、「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」の4種類があります。工場出荷時は標準表示になっています。
- 詳細画面への切り換えはメニューの「ユーザモード切替」で変更します。
- 連動する機器の運転モードにより、画面表示内容は異なります。
(上記の画面は、連動する調湿ユニットが調湿運転しているときの表示です。)

基本画面の表示説明

① 運転モード

- 運転状態（「冷房」・「暖房」・「換気」・「送風」・「除湿冷房（またはドライ）」・「自動」）を表示します。

② 風量

- 設定した風量を表示します。
- 風量調節がない機種の場合は表示しません。
- 本内容は空調機の風量であり、換気・調湿機の風量ではありません。
換気・調湿機の風量は、メニューより確認ください。

③ 風向

- 設定した風向 / 風向スイングを表示します。
- 風向設定がない機種の場合は表示しません。
- 運転中のみ表示します。

④ 設定温度

- 設定温度を表示します。
- 設定温度の表示を「1°C」・「0.5°C」に切り換えることができます。
※かんたんモードは「0.5°C」に表示を切り換えることができません。

⑤ お好み表示(換気モード・調湿モード・加湿/給気モード・清浄表示)

- 標準表示画面は1項目、詳細表示画面は2項目が表示可能です。全熱交換器ユニットと連動している場合は、換気モードが表示され、調湿外気処理ユニットと連動している場合は、調湿モードが表示されます。無給水加湿ユニットと連動している場合は加湿 / 給気モードが表示されます。空気清浄ユニット（除菌・脱臭を含む）が接続されているときは「清浄」を表示します。

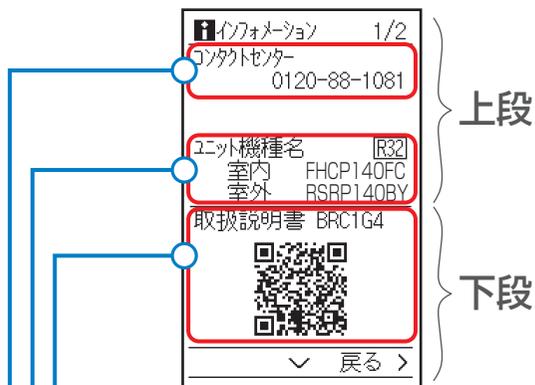
⑥ 操作タブ

- 左右ボタンを押して各タブに移動します。反転表示したタブが選択中の画面です。

温度	温度設定 (基本画面)	風量	風量調節画面
モード	運転切替 (モード) 画面	風向	風向設定画面

■インフォメーション画面

お問い合わせ先やエラーコードなどの情報を表示します。



- エラーコード
- 現在の設定状況
- 交換・お手入れ情報
- リモコン機種名
- 本取扱説明書をダウンロードできる弊社ウェブサイトへリンクするQRコードなど
- ご使用中のユニット機種名
- サービス連絡先

※お使いの室内ユニットによっては、表示されないことがあります。

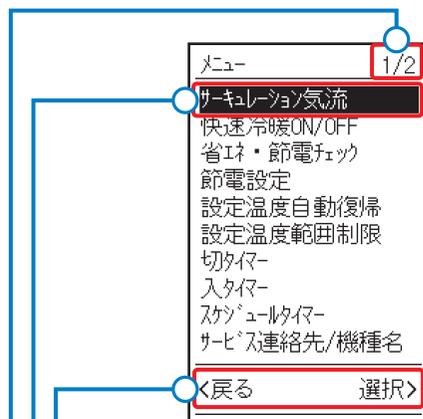
上下ボタンを押すと下段の画面が切り換わります。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。

■メニュー画面

お使いのユニットや機種により設定できる項目が異なります。

メニューの種類は「[メニュー一覧](#)」(39 ページ)を参照してください。



操作ボタンガイド

ボタンの操作が有効なときに表示します。

反転表示

現在選択している項目です。

ボタンで移動します。

現在の画面 / 画面総数

表示項目が 11 件以上ある場合に「1/2」や「1/3」と表示されます。

1 行目が反転表示しているときに ボタンで前の画面に変わります。

10 行目が反転表示しているときに ボタンで次の画面に変わります。

■フルメニュー画面

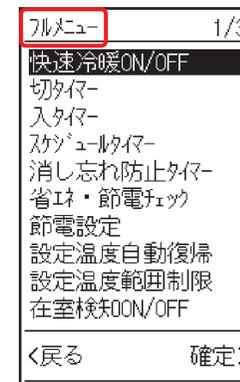
お使いのユニットで設定可能なメニューをすべて表示します。

メニュー画面の表示設定は、「標準」と「詳細」を選ぶことができます。

「[メニュー表示設定](#)」(131 ページ)「標準」表示設定にしている場合に、表示中のメニュー以外の項目を設定したいときは、フルメニュー画面を表示して設定操作してください。



基本操作画面を表示した状態で、左右ボタンを同時に3秒長押しします。



フルメニュー画面が表示されます。

■アイコンが表示されたとき

エアコンの設定状況がアイコンで表示されます。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

タイマー(設定中)



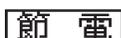
入切タイマー・スケジュールタイマー・消し忘れ防止タイマーのいずれかが設定されています。

時計未設定



時計設定が必要です。48時間を超える停電の場合、表示されることがあります。

節電運転 設定中



節電機能(節電モード・最大出力・節電スケジュール)で能力を制限した「節電運転」が設定されています。

節電運転 動作中



設定した「節電運転」が動作中です。

高温みまもりモード



運転停止中に室温が高くなりすぎた場合、自動で冷房運転を開始します。
30分間の運転後、自動で運転を停止します。

静音モード



静音性を優先して運転しています。

静音モード 無効



時計設定が必要です。
(静音モードが有効でない状態です。)

ローテーション運転



エアコンの運転時間が偏らないように、1システムずつ順番に停止します。(グループ制御のみ)

バックアップ運転中



室外ユニットの圧縮機が1台故障して残りの圧縮機だけで運転しています。
アウタータワーの場合は「暖機運転」を行っています。

R32冷媒使用



R32冷媒を使用したシステムです。
R410A冷媒に比べ、環境対応性に優れます。

エコモード 設定中



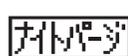
消費エネルギーを抑えた「エコモード」が設定されています。

エコモード 運転中



設定した「エコモード」で運転中です。

ナイトパーズ運転



「ナイトパーズ運転」を行っています。
(全熱交換器ユニット・調湿ユニットを連動させている場合)注1)

24時間換気



「24時間換気運転」を行っています。
(全熱交換器ユニット・調湿ユニットを連動させている場合)注1)

冷暖選択権無



この表示のあるリモコンでは冷暖房の運転モードを切り換えできません。

注1)機能をもっているユニットであっても表示されない場合があります。

■ピクト表示設定がON時

ピクト表示設定をONにすると、タブや運転モードがアイコンで表示されます。
また、英語モードでは一部のモード表示がアイコン化されます。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

操作タブ			
	温度設定		運転切換(モード)
	風量調節		風向設定

運転モード					
	自動(暖房)		自動(冷房)		暖房
	冷房		除湿冷房		ドライ
	送風		換気		清浄
	換気清浄				

全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニット、無給水加湿ユニット接続時の英語モードで表示されるアイコン

換気モード							
	全熱換気		普通換気		自動換気		
調湿モード							
	調湿		換気		除湿		加湿

液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。

※お使いのユニットによって表示される項目が異なります。

ロック中:<長押し	キーロック中です。左ボタン3秒長押しで解除されます。
ロック中	パスワード付きキーロック中です。 左右ボタンを3秒長押しでキーロックを解除するためのパスワード入力画面が表示されます。 万が一、パスワードを忘れてしまった場合は、「サービス連絡先」または「コンタクトセンター」にご連絡ください。
本機能はありません	接続中のユニットはこの機能に対応していません。 または、現在の運転モードにより機能が制限されています。
エラー:<を押す	エラーを検知したときに表示します。
警報:<を押す	◀ ボタンを押してインフォメーション画面に表示している「エラーコード」・「機種名」を確認し、「サービス連絡先」または「コンタクトセンター」にご連絡ください。
エラー発生中	ユーザモードが「ホテル向け」・「かんたん」の場合に、エラーを検知したときに表示します。
警報発生中	◀ ボタンを3秒長押しして、インフォメーション画面に表示している「エラーコード」・「機種名」を確認し、「サービス連絡先」または「コンタクトセンター」にご連絡ください。
快速冷暖	快速冷暖モードがONに設定されています。
除霜/ホットスタート	除霜運転またはホットスタートを行っています。
換気運転中	運転停止中であっても換気運転を行っているとき(24時間換気やナイトパーシジョン運転などの機器制御運転中)に表示します。
換気待機中	冷房(暖房)運転開始直後に、エネルギーロスを軽減するために換気運転を一時的に停止しているときに表示します。
内部クリーニング中	内部クリーニング運転を行っています。
条件設定が 人検知ライト・ブザー以外 に設定されています	夜間みまもり設定で「人検知ライト・ブザー」を設定せずに、時間帯設定を選択した場合に表示されます。
フィルタ自動清掃中	フィルターを自動で清掃しています。
脱臭フィルタ交換	脱臭フィルターの交換時期です。
ホコリ回収	ダストボックスのホコリが満タンです。ホコリ回収が必要です。
フィルタ交換	フィルターの交換時期です。
フィルタ/エレメントお手入れ	フィルターとエレメントのお手入れ時期です。
フィルタお手入れ	フィルターのお手入れ時期です。
エレメントお手入れ	エレメントのお手入れ時期です。
時計設定が必要です	(停電などにより)時計設定がリセットされました。再度、時計設定を行ってください。

液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。

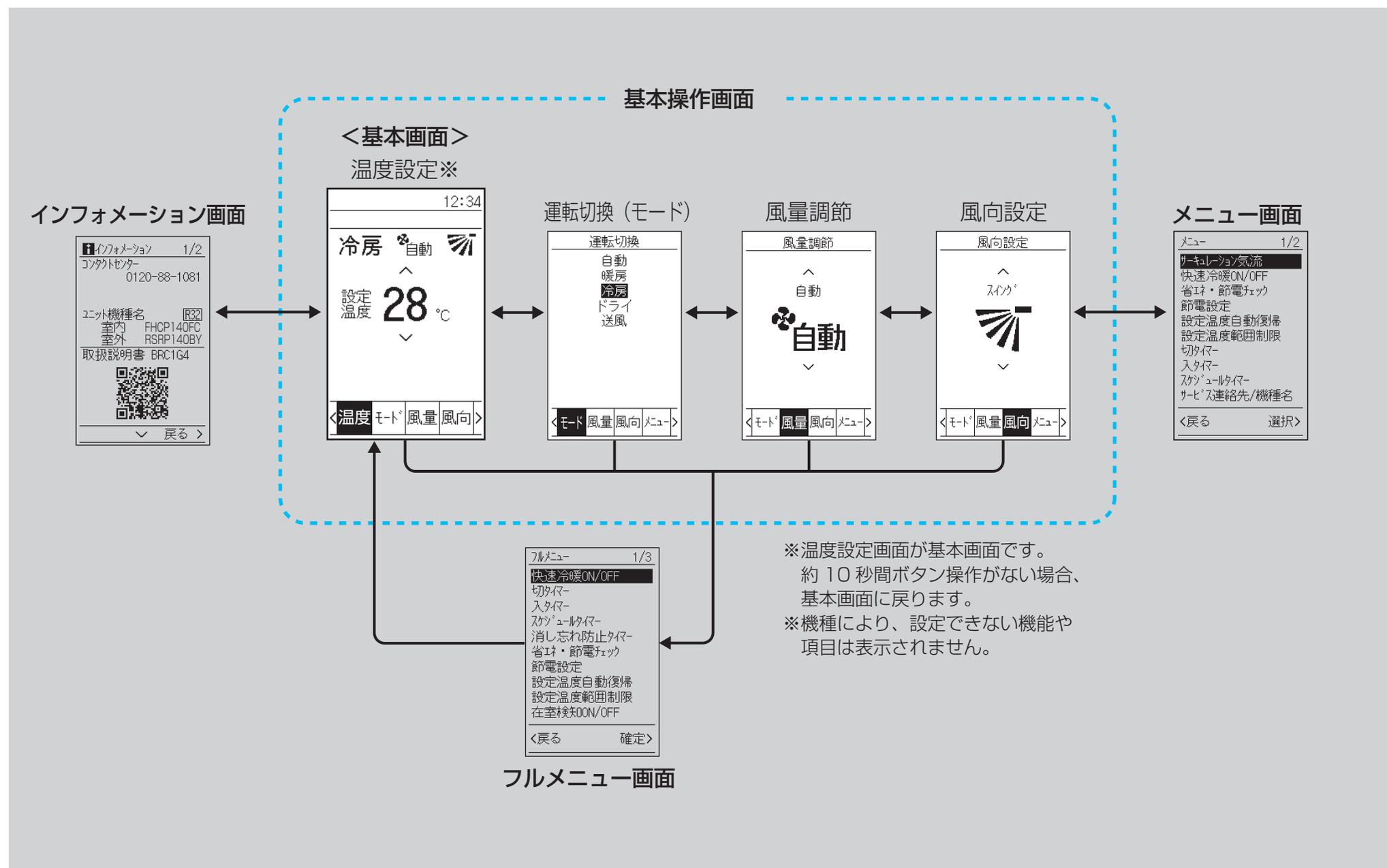
※お使いのユニットによって表示される項目が異なります。

待機電力未設定	待機電力低減機能を使用するためには、室外ユニットの設定が必要です。現在は室外ユニットが設定されていない状態です。
冷暖選択権無	この表示のあるリモコンでは冷暖房の運転モードを切り換えできません。
冷房専用設定中	室外ユニットが冷房専用設定されており、暖房モードが選択できない場合に表示されます。
除湿レベル弱/中/強	運転モードで除湿冷房が選択されている場合に除湿冷房設定で設定した除湿レベルが表示されます。除湿レベルについては、「 運転切換(モード) 」(23 ページ)を参照してください。
集中管理中 このリモコンからは操作できません	集中制御機器(別売品)で管理されているため、この表示のあるリモコンからできない操作をしようとしたときに表示します。
時計設定を行って ください	時計設定が未設定です。選択したメニューはリモコンの時計を設定する必要があります。時計設定メニューで、現在の時刻を設定してください。「 時計設定 」(123 ページ参照) (時計設定が必要なメニュー：スケジュールタイマー、節電スケジュール、フィルター自動清掃設定、静音モード、夜間みまもり設定)
接続確認中 しばらくお待ちください	始動直後に表示されます。しばらくすると基本画面を表示します。
冷暖選択権を取得するには 上ボタンを押してください	上ボタンを押すと、このリモコンに冷暖選択権が設定され、ご希望の運転切換操作が可能となります。『冷暖選択権無』の表示は消えます。
フィルタ-清掃時期です 2回に1回は全熱交換器の エレメントも清掃してください	フィルターの清掃時期になりました。フィルターを清掃してください。また2回に1回は全熱交換器のエレメントも清掃してください。
フィルタ-自動清掃禁止に 設定されています フィルタ-自動清掃試運転 を行うことが できません	設定によりフィルター自動清掃が禁止されています。フィルター自動清掃禁止を解除するには、お買い上げの販売店にご相談ください。
待機電力低減機能を 使用するためには 室外ユニットの設定が 必要です 設定する場合は 販売店にご連絡 ください	待機電力低減機能が使えるシステムですが、室外ユニットの設定がされていないお知らせです。待機電力低減機能を使用する場合は、「 前画面に戻る 」を選んだうえで、お買い上げの販売店にご依頼ください。待機電力低減機能を使用しない場合は、「 設定しない 」を選んでください。
グルーピングに問題あり	リモコングループ内に連動できない組み合わせがあります(ex:無給水加湿ユニットとDESICA)グループを分け、電源を入れなおしてください。
換気推奨	CO ₂ お知らせ設定を有効にしており、室内のCO ₂ 濃度が高まった場合に表示されます。
熱中症に注意	熱中症お知らせ設定を有効にしており、温湿度が高まった場合に表示されます。

基本操作

基本操作について	20
温度設定	21
運転切換(モード)	22
風量調節	25
風向設定	26
除湿冷房運転(スカイエア ※対象機種のみ)	28
マイコンドライ運転	29
換気運転(エアコンと連動接続)	30
冷暖選択権(ビル用マルチのみ)	31

基本操作画面では、設定温度・運転モード・風量・風向の設定ができます。



■設定温度を変更する

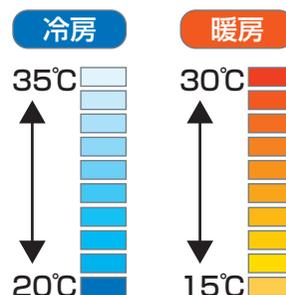
準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

1 設定温度を変更



- 上ボタンを押すごとに1℃ずつ上がり、下ボタンを押すごとに1℃ずつ下がります。
 - 1℃/0.5℃表示切替で、設定温度の表示を「1℃」・「0.5℃」に切り換えることができます。(129ページ)を参照してください。
- ※かんたんモードは「0.5℃」に表示を切り換えることができません。



- 設定可能範囲は
冷房20～35℃、暖房15～30℃です。
(外気処理エアコンの場合は
冷房13～25℃、暖房18～30℃)
※機種によっては上記以外の場合もあります。
※設定温度範囲制限が設定されている場合は、
その範囲内でのみ設定可能です。
※設定温度自動復帰が設定されている場合は、
一定時間後に元の設定温度に戻ります。
- 送風運転の場合は設定できません。

使用条件

スカイエア

運転モード	タイプ	使用条件(室内ユニット吸込空気)	
		温度	湿度
冷房/ 除湿冷房	冷暖房兼用	21～32℃	80%以下
	冷房専用		
暖房	冷暖房兼用	15～27℃	—
自動	冷暖房兼用	冷房	80%以下
		暖房	—

ビル用マルチ

運転モード	タイプ	使用条件(室内ユニット吸込空気)	
		温度	湿度
冷房	冷暖房兼用	21～35℃ ^{注)2}	80%以下
冷房専用			
暖房	冷暖房兼用	15～27℃	—
自動	冷暖房兼用	冷房	80%以下
		暖房	—

注)1. 室外ユニットの使用条件は接続する室外ユニットにより異なります。室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

2. 水熱源ユニットに接続した場合の室内使用温度条件は、21～32℃です。

3. ビル用マルチ外気処理エアコンの使用条件は、当該機種の取扱説明書をご覧ください。

4. アウタータワーは温度設定ができません。使用条件は、アウタータワーの取扱説明書をご覧ください。

上記以外の使用条件で長時間運転すると、安全装置が働き運転しないことや室内ユニットから露が落ちたり、または室内ユニット内部で凍結し、水漏れの原因になることがあります。

■運転モードを切り換える - 冷房・暖房・自動・除湿冷房(またはドライ)・送風

1 運転モードを変更



右ボタンを押し、
運転切換 (モード)
画面を表示します。



上下ボタンを押し、
「自動」・「暖房」・「冷房」・
「除湿冷房(またはドライ)」・
「送風」のうちご希望の
運転に切り換えます。

- 設定できない運転モードは表示されません。
- スカイエア冷房専用タイプの場合は「冷房」・「除湿冷房(またはドライ)」・「送風」のみ設定可能です。
- ビル用マルチの場合、冷暖同時運転システムのみ「自動」の設定が可能です。
- ビル用マルチの冷房専用システムの場合はすべてのリモコンに『冷暖選択権無』の表示が出ますが、「冷房」・「ドライ」・「送風」のみ設定可能です。
- 「除湿冷房」に対応している機種では「ドライ」は表示されません。
- 機種によって設定できる運転モードは異なります。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

お願い

- 運転の切り換えは『冷暖選択権無』の表示のないリモコンで行ってください。表示のあるリモコンでは冷房・暖房の切り換えができません。『冷暖選択権無』の表示が点滅している場合は、「■冷暖選択権とは」(31ページ)を参照してください。

■運転モードを切り換える - 冷房・暖房・自動・除湿冷房(またはドライ)・送風

運転の内容と働き

冷房 おすすめ設定温度は、26～28℃です。

除湿冷房 おすすめ設定温度は、26～28℃です。

「除湿レベル弱」…冷えすぎを抑えたい場合にお使いください。

「除湿レベル中」…おすすめの設定です。

「除湿レベル強」…湿度をとにかくとりたい場合にお使いください。

※除湿冷房運転時は、除湿を優先するため、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

※機種によっては本機能がないものがあります。

本機能の有無については、カタログをご覧ください。

暖房 おすすめ設定温度は、18～23℃です。

送風 室内の空気を循環させます。

自動 ●運転中、ある室内温度を境に冷房運転 ↔ 暖房運転が自動で切り換わります。

(冷暖自動) ●設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると設定温度も自動で変更します。

(室温を一定に保つ運転ではありません。)

「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。

「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。

●「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

(例)「自動冷房」で27℃にセットされた状態から、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。

そのとき、設定温度は22℃に変更され、送風運転になり、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。

暖房→冷房のときも同様になります。

室内温度	～ 25℃	～
設定温度	22℃	27℃
運転状態	暖房	送風
		冷房

●ビル用マルチ外気処理エアコンに関しては、当該機種の取扱説明書をご覧ください。

■運転モードを切り換える - 冷房・暖房・自動・除湿冷房(またはドライ)・送風

冷房運転の特性 (冷房・除湿冷房・自動冷房運転)

- 水平吹出しまたは下吹出しの状態連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、設定と異なる風向で運転します。(リモコンには設定した風向が表示されます。)
- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付き冷房能力が下がる場合があります。その場合、しばらくの間、自動で除霜運転を行います。除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。
※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

暖房運転の特性 (暖房・自動暖房運転)

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転 (室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため、除霜運転に自動で切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜 / ホットスタート」が表示されます。
- 約 6 ~ 8 分 (最長 15 分) で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがする場合があります。

ホットスタート

- 暖房運転開始時、除霜運転時など、冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。このときリモコンに「除霜 / ホットスタート」と表示します。
- 約 6 ~ 8 分 (最長 15 分) で、元の運転に戻ります。

弱風量運転

- 暖房運転時に冷たい空気が吹き出すのを防ぐために自動で弱風量になる場合があります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。このような場合はほかの暖房器具を併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。) エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ (室内循環用ファン) のご使用をおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、エアコンの風は微風運転になります。(リモコンには設定した風量・風向が表示されます。)

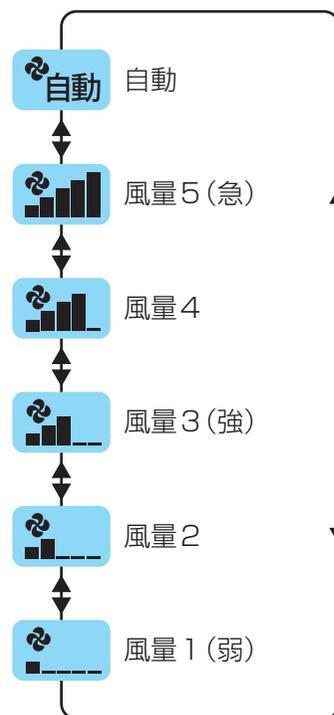
■風量を変更する

1 風量を変更



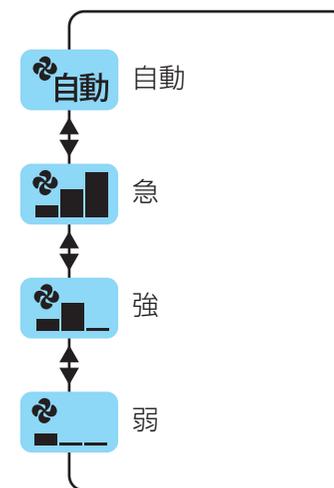
5段階時

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。



3段階時

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。

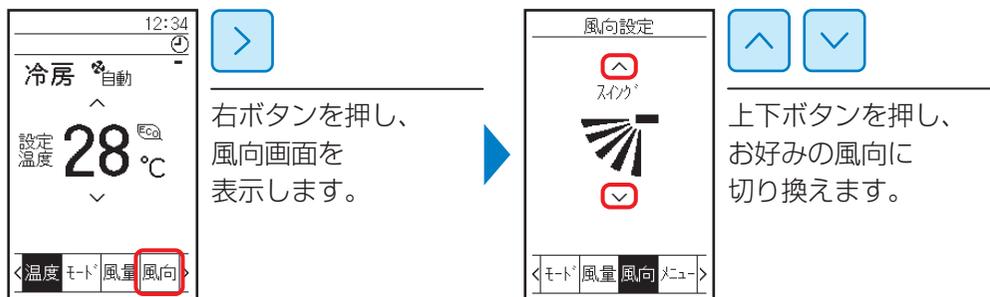


風量について

- 室内ユニットの種類により「弱」・「強」の2段階調節の場合もあります。
- 自動は設定温度と室温により風量を調節しています。
ただし、送風運転時は「風量3(強)」または「強」と同じ風量になります。
(室内ユニットの機種により本機能がない場合があります。)
- 下記の運転モードや機能を選択しているときは、風量切り換えができません。
「除湿冷房運転」(28ページ)
「マイコンドライ運転」(29ページ)
「快速冷暖 ON/OFF」(45ページ)
- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。
またファンが停止することがありますが、異常ではありません。
- 風量の切り換え完了まで数秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

■風向を変更する

1 風向を変更

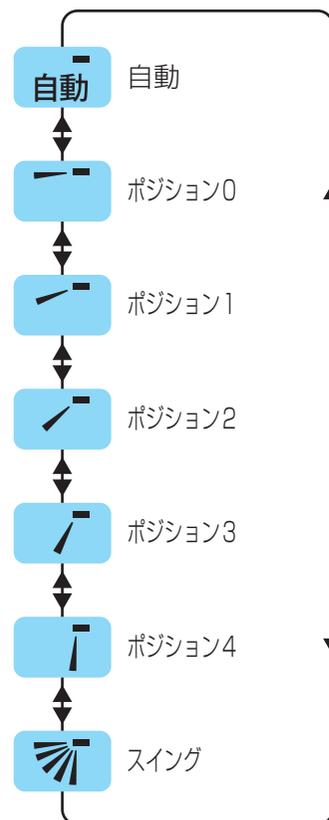


風量について

- 「スイング」は風向羽根をポジション0からポジション4の範囲で往復動作します。
- 「自動」は風向を室温や人の有無により変化させます。
ただし、送風運転時は「ポジション0」になります。
(室内ユニットの機種により本機能がない場合があります。)
- 風向を固定する場合は5段階(ポジション0～4)のうちご希望の位置を選択します。
- 風向個別設定については、「[■風向を個別に設定する](#)」(47ページ)を参照してください。

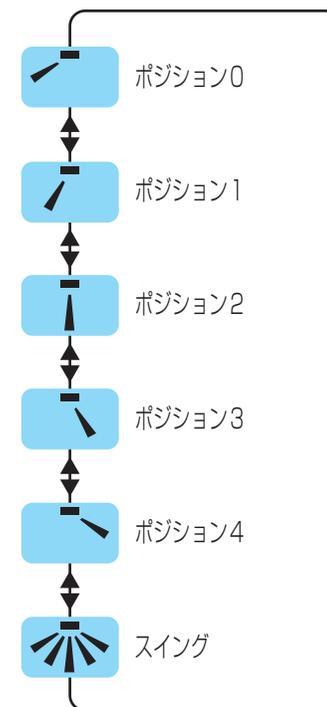
上下風向

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。



左右風向

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。

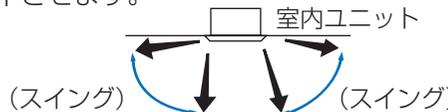
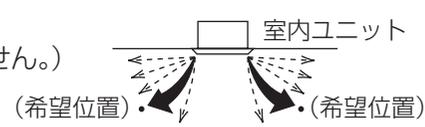


風向設定について

風向設定には基本的に次の4通りがあります。

機種によっては、リモコンの「風向個別設定」メニューで、吹出口ごとに風向を設定することができます。

風向個別設定については、「[■風向を個別に設定する](#)」(47 ページ)を参照してください。

風向設定	動作
スイング	機械が自動で風向羽根を上下させます。 
固定	ご希望の位置に風向を5段階に固定することができます。(風向羽根の角度ではありません。) 
自動	室温や人の有無により、風向を自動で変化します。本機能は機種によってはないものがあります。
個別	上記、3通りの風向を吹出口ごとに設定することができます。本機能は機種によってはないものがあります。

上下風向羽根の動きについて

下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運 転 状 態	<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度より室温が高いとき（暖房運転の場合） (風が直接体に当たらないように水平吹出しとなります。) ●暖房運転開始時、除霜運転時（暖房運転の場合） (冷風が直接体に当たらないように水平吹出しとなります。) ●下吹出しの状態連続運転したとき（※1） (風向羽根が結露しないように一定の間、自動設定された風向に吹き出します。) ●水平吹出しの状態連続運転したとき（※2） (風向羽根が結露しないように一定の間、自動設定された風向に吹き出します。) ●スマート学習節電機能が有効なとき (工場出荷時は冷房運転時「スイング」、暖房運転時「水平吹き」です。) ●自動風あて・風よけ機能が有効なとき (人を検知して、風向を自動で設定します。) ●自動ドラフト低減機能が有効なとき (人を検知して、風が直接体に当たらないように、吹出し風向を水平にします。) ●ニオイ抑制設定が有効なとき (においが出ることを抑えるために一定の間、水平吹出しになる場合があります。) ●エコモードが有効で室温が設定温度に近いとき（暖房運転の場合） (風が直接体に当たらないように、一定の間、水平吹出しになります。)
------------------	---

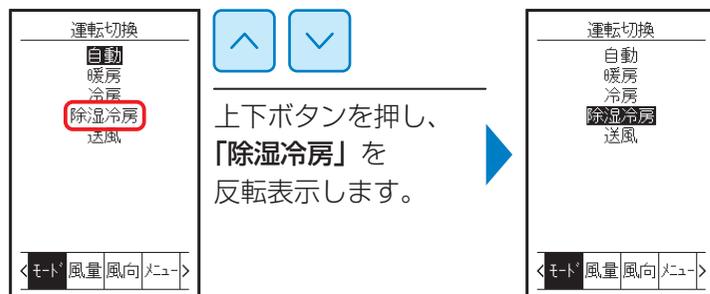
暖房運転は、「自動」運転の場合も含まれます。

(※1、2) 機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

設定された温度および除湿冷房レベルに応じて冷房および除湿を行うため、風量を自動でコントロールします。

(再熱除湿方式ではありません。)

1 除湿冷房モードに設定



2 運転を開始



※風量をエアコンが自動でコントロールするため、リモコンでの設定はできません。

準備

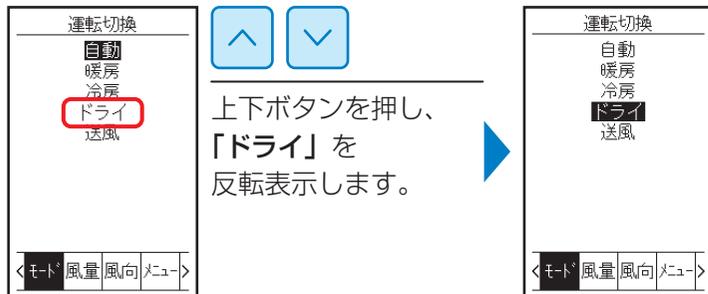
- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
- 機種によっては本機能がないものがあります。
本機能の有無については、カタログをご覧ください。
- グループ内の室外・室内ユニットがすべて本機能に対応している場合のみ運転モードに表示されます。
- 除湿冷房表示中はドライは表示されません。

除湿冷房運転について

- 除湿レベルの設定は「**除湿冷房設定**」(46ページ)を参照してください。
- 室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
- 水平吹き出または下吹き出しの状態連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、設定と異なる風向で運転します。
(リモコンには設定した風向が表示されます。)
- 室内温度が低い状態で除湿冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付く場合があります。その場合、しばらくの間、自動で除霜運転を行います。
※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 設定した温度と除湿レベルに応じて最適な除湿を行います。
風量を自動で設定調節するため、リモコンには風量の表示はされません。
- 除湿冷房運転時は、除湿を優先するため、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

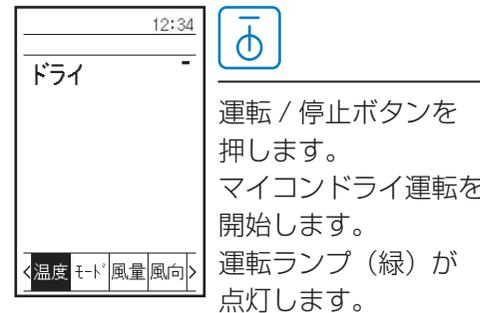
冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返し、温度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取ります。

1 ドライモードに設定



上下ボタンを押し、「ドライ」を反転表示します。

2 運転を開始



運転 / 停止ボタンを押します。
マイコンドライ運転を開始します。
運転ランプ（緑）が点灯します。

※温度と風量をマイコンが自動でコントロールするため、運転中はリモコンでの設定はできません。

※室温が 20℃ 以下のときはマイコンドライ運転はできません。

※湿度の設定はできません。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
- 冷暖選択権のないリモコンでは「ドライ」への切り換えができません場合があります。（詳しくは「冷暖選択権」(31ページ)を参照してください。)
- 機種によっては本機能がないものがあります。
- 本機能の有無については、カタログをご覧ください。

マイコンドライ運転について

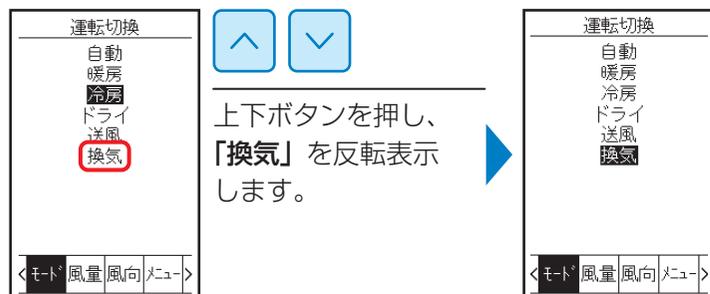
- 室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、マイコンドライ運転開始時の室内温度が設定温度になります。そのとき風量・温度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
- 水平吹出しまたは下吹出しの状態連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、設定と異なる風向で運転します。（リモコンには設定した風向が表示されます。）
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付く場合があります。その場合、しばらくの間、自動で除霜運転を行います。※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。
- ビル用マルチの場合、エコモード設定中は一定時間で冷房運転に切り換わります。（運転停止を抑制し、システム全体で省エネ運転を行うためです。）

お願い

- 冷えすぎる場合は、いったん運転を停止し、適温になってから再度マイコンドライ運転をしてください。※室温が 20℃ 以下の場合、マイコンドライ運転はできません。

(エアコンと全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットを連動させている場合)

1 換気を選択



準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。
始動を円滑にするためです。

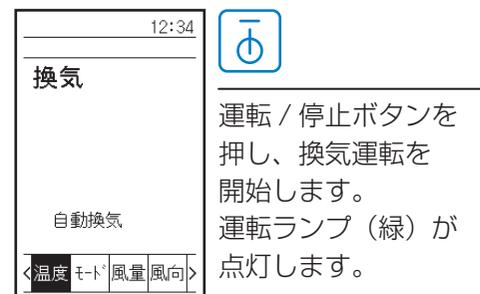
換気モードについて

換気モードの設定は、「**換気モード**」(116 ページ)を参照してください。

調湿モードについて

調湿モードの設定は、「**調湿モード**」(118 ページ)を参照してください。

2 運転を開始



- 全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットと連動している場合、これらのユニットのみ運転するときはエアコンの運転切換(モード)で「換気」を選択してください。全熱交換器ユニットは「換気モード」、調湿外気処理ユニットは「調湿モード」にて、各ユニットの詳細の動作を設定できます。

換気連動機能について

全熱交換器ユニット(CO₂センサー(別売品))とエアコンを連動させている場合全熱交換器ユニットの換気量アップと同時に、エアコンを能力制御します。

- 室内ユニット、全熱交換器ユニット、リモコンを同じ部屋に設置してください。全熱交換器ユニットは1台のみ使用してください。
- 機種によっては本機能がないものがあります。詳細は全熱交換器ユニットのカタログをご覧ください。
- 現地設定「換気連動設定」が必要です。また、全熱交換器ユニットの、CO₂によるファン制御の現地設定「テーブル設定(18(28)-6)」を、ノッチ制御に設定してください。詳細は全熱交換器ユニットのカタログをご覧ください。設定を変更する場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 全熱交換器ユニット「全熱換気」で換気量を「自動」に設定してください。詳細は全熱交換器ユニットのカタログをご覧ください。
- 設定温度が変化することがあります。
- 本機能は設定温度の制限範囲内で動作します。
- 集中制御機器(別売品)が接続されている場合は、お使いいただけません。

■冷暖選択権とは

1 台の室外ユニットまたは BS ユニットに、複数の室内ユニットが接続されている場合、特定の室内ユニットに運転モードの切換権限をもたせることで、ほかの室内ユニットの運転切換を制御することができます。

- 「冷暖選択権」を設定したリモコンだけが、運転モード「冷房」・「暖房」・「自動」を選択することができます。
(「自動」はビル用マルチの冷暖同時運転システムのみ選択可能です。)
- 「冷暖選択権」をもたないリモコンは、選択権をもつリモコンの運転モードに追従します。
- 「冷暖選択権」の設定、解除は、実際に選択権をもつリモコンと選択権を設定したいリモコン本体による設定が必要です。

冷暖選択権をもつリモコン / もたないリモコンでできる運転モード

選択権をもつリモコン または冷暖切換リモコンの運転モード	選択権をもたないリモコンが 選択できる運転モード
暖房・自動(※1)による暖房	暖房・送風
冷房・自動(※1)による冷房	冷房・ドライ・送風
ドライ(※1)	ドライ・冷房・送風
送風	送風

(※1) 接続する機種によっては、「自動」・「ドライ」の運転モードがないものがあります。

冷暖選択権の設定例

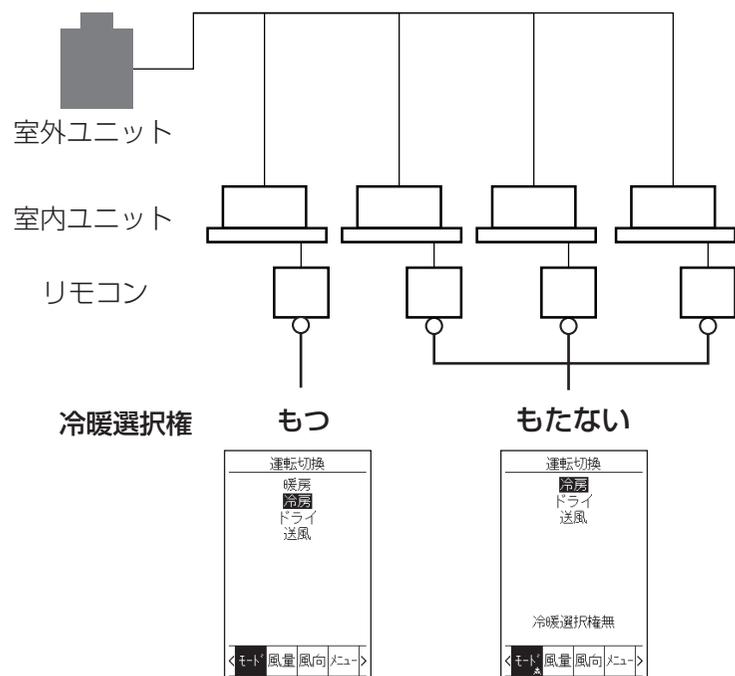
次のような場合には1台のリモコンに冷暖選択権を設定する必要があります。

ビル用マルチで同一の室外ユニットまたは冷暖同時システムで1台のBSユニットに複数の室内機が接続されている場合

冷暖切替運転システム

1台の室外ユニットに複数台の室内ユニットが接続されている場合

これらのリモコンのうちの1台に、冷房・暖房・送風の選択権を設定します。

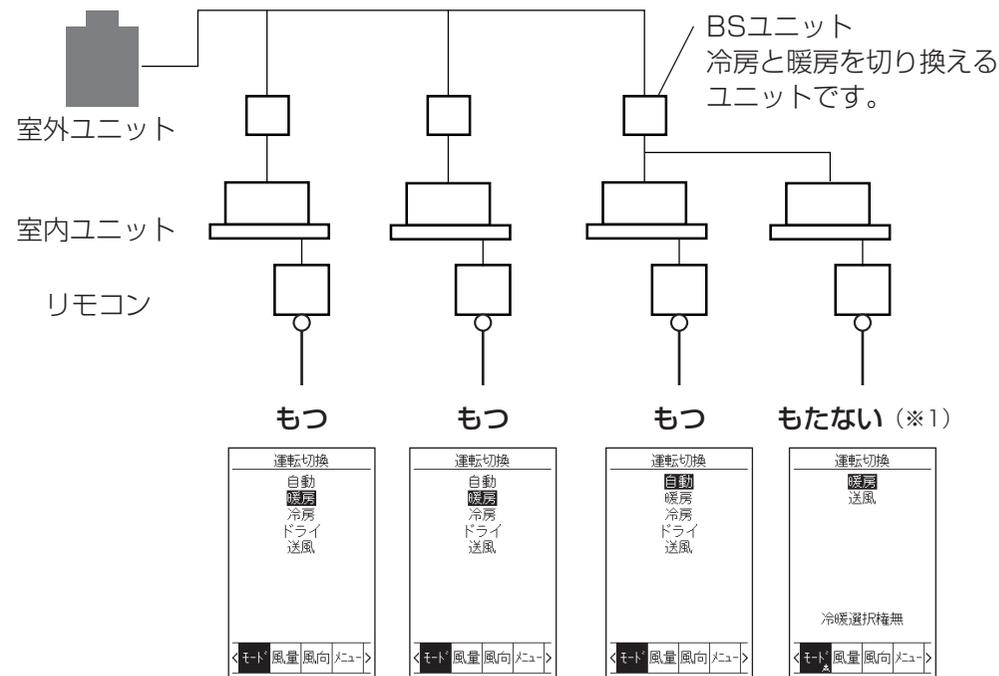


●冷暖選択権をもたないリモコンは、選択可能な運転モードが限定されます。

冷暖同時運転システム

1台のBSユニットに複数台の室内ユニットが接続されている場合

これらのリモコンのうちの1台に、冷房・暖房・自動・送風の選択権を設定します。



(※1)冷暖選択権をもつリモコンが「自動」を選択し、暖房運転(自動暖房)になったときの冷暖選択権をもたないリモコンの表示

■冷暖選択権の確認方法

冷暖選択権をもつリモコンともないリモコンは、基本画面または運転切換(モード)画面で判別することができます。

同一の室外ユニットまたはBSユニットにつながっている室内ユニットのリモコンのうち、冷暖選択権をもつリモコンは1台のみです。
冷暖選択権をもつリモコンだけが「冷房」・「暖房」・「自動」を選択できます。(「自動」は冷暖同時運転システムのみ可能です。)

表示のちがい

	冷暖選択権を もつ リモコン	冷暖選択権を もたない リモコン
基本画面		<p>ポイント 冷暖選択権をもたないリモコンだけに、「モード」の部分に下記のマークが付きます。</p>
運転切換 (モード) 画面		<p>ポイント 冷暖選択権をもたないリモコンだけに、「冷暖選択権無」を表示します。</p> <p>冷暖選択権をもたないリモコンは、選択できる運転モードが限定されるため、表示する運転モードも少なくなります。</p>

※冷暖選択権を変更する場合は、まず冷暖選択権をもつリモコンを特定し、選択権を解放する必要があります。

■冷暖選択権を解放する

冷暖選択権を変更する場合は、まず冷暖選択権をもつリモコンを特定し、選択権を解放する必要があります。

※冷暖選択権をもつリモコンとまたないリモコンのちがいは、「■冷暖選択権の確認方法」(33 ページ)を参照してください。

ご注意

- この手順は**冷暖選択権をもつリモコン**での操作です。
- 初めて電源を入れたときは、冷暖選択権は未設定(すべてのリモコンが冷暖選択権をもたない)の状態です。
- 1系統の中で、必ず1台のリモコンに冷暖選択権を設定してください。
すべてのリモコンに冷暖選択権が設定されていない場合、どのリモコンからも運転モードを変更することができません。

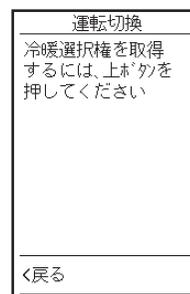
1 冷暖選択権の解放



右ボタンを押し、
運転切換(モード)
画面を表示します。



上ボタンを5秒以上
長押しします。



冷暖選択権が
解放されました。
同一系統内の
リモコンすべてが
この表示になります。

■冷暖選択権を設定する

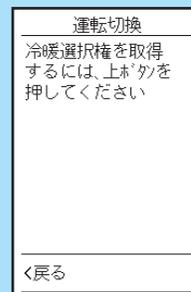
冷暖選択権が解放中のときに、設定することができます。

※冷暖選択権を解放する方法は、「■冷暖選択権を解放する」(34 ページ)を参照してください。

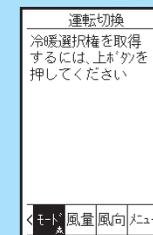
ご注意

- この手順は、冷暖選択権が解放中に、冷暖選択権を設定したいリモコンでの操作です。
- 初めて電源を入れたときは、冷暖選択権は未設定の状態です。
- 解放中のリモコン画面は、つぎのメッセージを表示しています。(右記画面参照)

「冷暖選択権を取得するには、上ボタンを押してください」

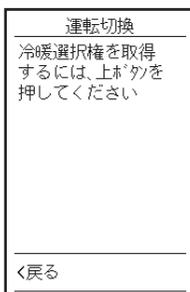


基本画面が表示されている場合

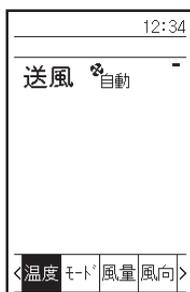


右ボタンを押して運転切換(モード)画面を表示してご確認ください。

1 冷暖選択権の設定



「冷暖選択権を取得するには、上ボタンを押してください」が表示中に上ボタンを押します。



冷暖選択権をもつ設定になりました。

このリモコンで運転モードを選択することができます。

同一系統内のほかのリモコンはすべて冷暖選択権をもたない設定になり、すべてのリモコンの運転モードはこのリモコンに追従します。

■冷暖選択権をもつリモコンによる運転切換

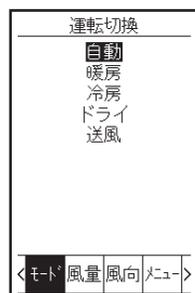
冷暖選択権をもつリモコンだけが、運転モードを選択することができます。

※冷暖選択権を設定する方法は、「■冷暖選択権を設定する」(35 ページ)を参照してください。

ご注意

- この手順は**冷暖選択権をもつリモコン**での操作です。
 - 同一系統内のほかのリモコンはすべて**冷暖選択権をもたない**設定のため、すべてのリモコンの運転モードはこのリモコンに追従します。
 - 「**換気**」への運転切換は冷暖選択権にかかわらず操作できます。
(全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットと連動している場合)
- ※冷暖切替リモコンについては、室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 運転モードを変更



上下ボタンを押し、
「自動」・「暖房」・
「冷房」・「ドライ」・
「送風」のうち
ご希望の運転に
切り換えます。

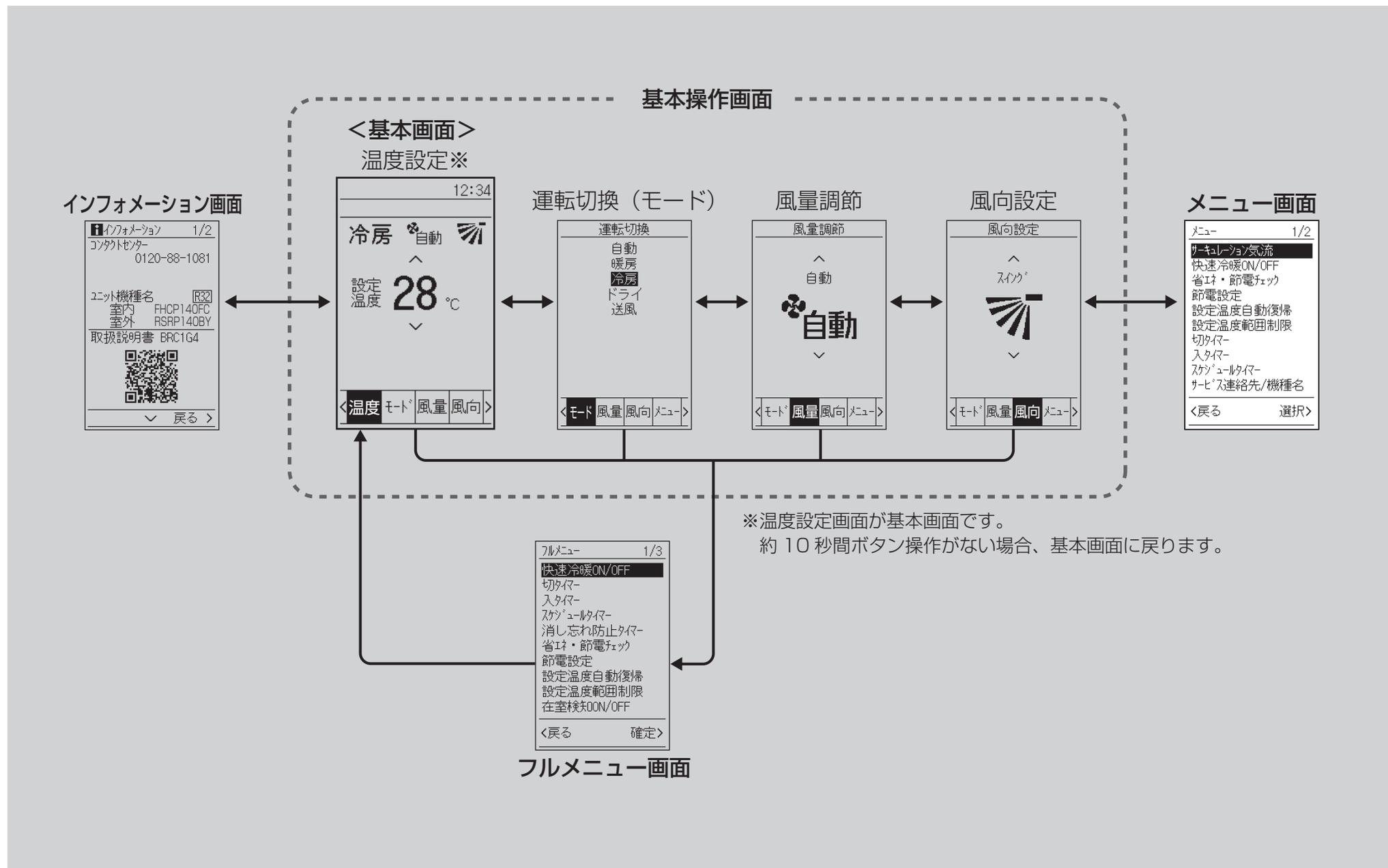
- 設定できない運転モードは表示されません。
- 冷房専用タイプの場合は「冷房」・「ドライ」・「送風」のみ設定可能です。
- 冷暖同時運転システムのみ「自動」の設定が可能です。
- 機種によって設定できる運転モードは異なります。

メニュー操作

メニュー操作について	38
メニュー一覧	39
メニューの有効/無効設定	42

メニュー画面では、いろいろな機能を設定することができます。

詳しくは、「[メニュー一覧](#)」(39~41ページ)を参照してください。



各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。

機種限定	接続される機種や組合せによっては、メニューが表示されない場合や設定できる内容が異なります。
換気・調湿	「ベンティエール」などの全熱交換器ユニットや「DESICA」などの調湿外気処理ユニットとの接続時のみとなります。
無給水	「うるるユニット」などの無給水加湿ユニットとの接続時のみとなります。
⑤	メニュー表示設定が「詳細」モードのときにのみ表示します。「標準」モードのときは表示されません。

メニュー名		ページ	機能説明
サーキュレーション気流	機種限定	44	風量・風向を自動で制御し、部屋全体に気流を送ります。
快速冷暖ON/OFF	機種限定	45	室内温度をすばやく快適な温度にします。
除湿冷房設定	機種限定	46	除湿冷房モード選択時の除湿冷房レベルを「除湿レベル弱」・「除湿レベル中」・「除湿レベル強」から選んで設定します。
風向個別設定	機種限定	⑤ 47	室内ユニットの吹出口の風向をそれぞれ個別に設定します。
風向範囲切換	機種限定	⑤ 50	風向範囲を設置場所に応じて標準・右吹き・左吹きに設定できます。
自動風あて・風よけ	機種限定	⑤ 51	風向自動設定時に、人を検知すると風向きを変えて人に当てたり、人をよけたりすることができます。
自動ドラフト低減	機種限定	⑤ 52	風向自動設定時に、人を検知すると風向を水平吹きにして風あたりによる不快感を低減させます。
高暖房モード	機種限定	53	検知室温を床温度重視に設定することで、足元付近をしっかり暖めます。
高温みまもりモード	機種限定	⑤ 54	室温が高温になりすぎないように、運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達すると自動で冷房運転を開始します。
静音モード	機種限定	⑤ 57	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。
切タイマー		60	運転時、運転開始から停止するまでの時間を1時間単位で設定できます。
入タイマー		62	停止時、運転開始するまでの時間を1時間単位で設定できます。
スケジュールタイマー	機種限定	65	曜日ごとに最大8件の動作時刻と動作内容を設定できます。
消し忘れ防止タイマー		⑤ 75	運転時間を10分単位で30～180分の範囲で設定できます。

メニュー名	ページ	機能説明
省エネ・節電チェック	機種限定 78	リモコン画面上で、運転データ(消費電力量・運転率)を、一定期間(日・週・年)で表示して節電効果を確認できます。
節電設定	機種限定 81	各種設定により消費電力を制限した運転を行います。
エコモード設定	機種限定 ① 88	冷房・暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。
設定温度自動復帰	機種限定 90	リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。
設定温度範囲制限	機種限定 92	設定温度範囲を制限します。
在室検知ON/OFF	機種限定 ① 94	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で運転を停止し、人を検知すると自動で運転を再開します。
不在時省エネ運転モード	機種限定 ① 97	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で空調目標温度を変化させて運転を行います。
待機電力低減	機種限定 ① 98	運転停止中にシステムの待機電力を低減することができます。
ディスプレイ自動OFF	① 100	運転停止中にリモコンの液晶表示を消すことができます。
ローテーション運転	機種限定 ① 102	エアコンの運転時間が偏らず、機器負担を軽減するために、一定時間ごとに順番に運転を行います。(グループ制御のみ)
ニオイ抑制設定	機種限定 ① 104	冷房時、室内温度が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。
内部クリーン運転	機種限定 ① 106	運転停止後に自動で室内ユニット内部を乾燥させる運転を行います。
内部クリーンモード設定	機種限定 ① 107	内部クリーンのモードを「送風モード」・「冷暖モード」から選んで設定します。
夜間みまもり設定	機種限定 ① 108	夜間や消灯時にライトを点灯させたりブザーを鳴らすことができます。
換気量	機種限定 換気・調湿 114	換気量を設定します。
フレッシュアップ	機種限定 換気・調湿 115	室内への臭気や湿気の流入を抑えたり、室内で発生した臭気や湿気が流出することを防ぐのに効果的な運転ができます。
換気モード	機種限定 換気・調湿 116	換気モードを「自動換気」・「全熱換気」・「普通換気」から選んで設定します。
加湿換気	機種限定 換気・調湿 117	加湿換気を「有効」または「停止」に設定します。

メニュー名	ページ	機能説明
調湿モード	118	調湿モードを「調湿」・「換気」・「除湿」・「加湿」から選んで設定します。
加湿/給気モード切換	119	運転モードを「加湿」・「給気」から選んで設定します。
加湿/給気設定	120	加湿の設定湿度を「高」・「標準」・「低」から選んで設定します。設定風量を「強」・「弱」から選んで設定します。
時計設定	123	日付と時刻を設定します。
サービス連絡先/機種名	126	サービス連絡先と接続する機種名を設定し、インフォメーション画面で表示します。
設定状況一覧	127	設定状況を一覧表示します。
言語切換	128	表示言語を「日本語」・「English」・「中文」から選択します。
1℃/0.5℃表示切換	129	設定温度の表示を「1℃」・「0.5℃」から選択します。
ピクト表示設定	130	基本操作画面をピクトグラムで表示します。
メニュー表示設定	131	メニュー画面の表示モードを「なし」・「標準」・「詳細」から選択します。
お好み表示	132	基本画面下部に表示する項目を選択します。
CO ₂ お知らせ設定	134	CO ₂ 濃度の上昇時にメッセージとバックライトの点灯でお知らせします。
熱中症お知らせ設定	137	温湿度センサー値に基づいて熱中症リスクをお知らせします。
ユーザモード切換	139	基本画面の表示モードを「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」から選択します。
コントラスト調整	143	液晶の濃度を調整します。
運転ランプ輝度調整	144	運転ランプの明るさを調整します。
バックライト輝度調整	145	バックライトの明るさを調整します。
フィルター自動清掃設定	—	詳細内容および操作方法は、フィルター自動清掃機能付き化粧パネル(別売品)に付属の取扱説明書をご覧ください。
オートグリル昇降操作	—	詳細内容および操作方法は、オートグリル(別売品)に付属の取扱説明書をご覧ください。

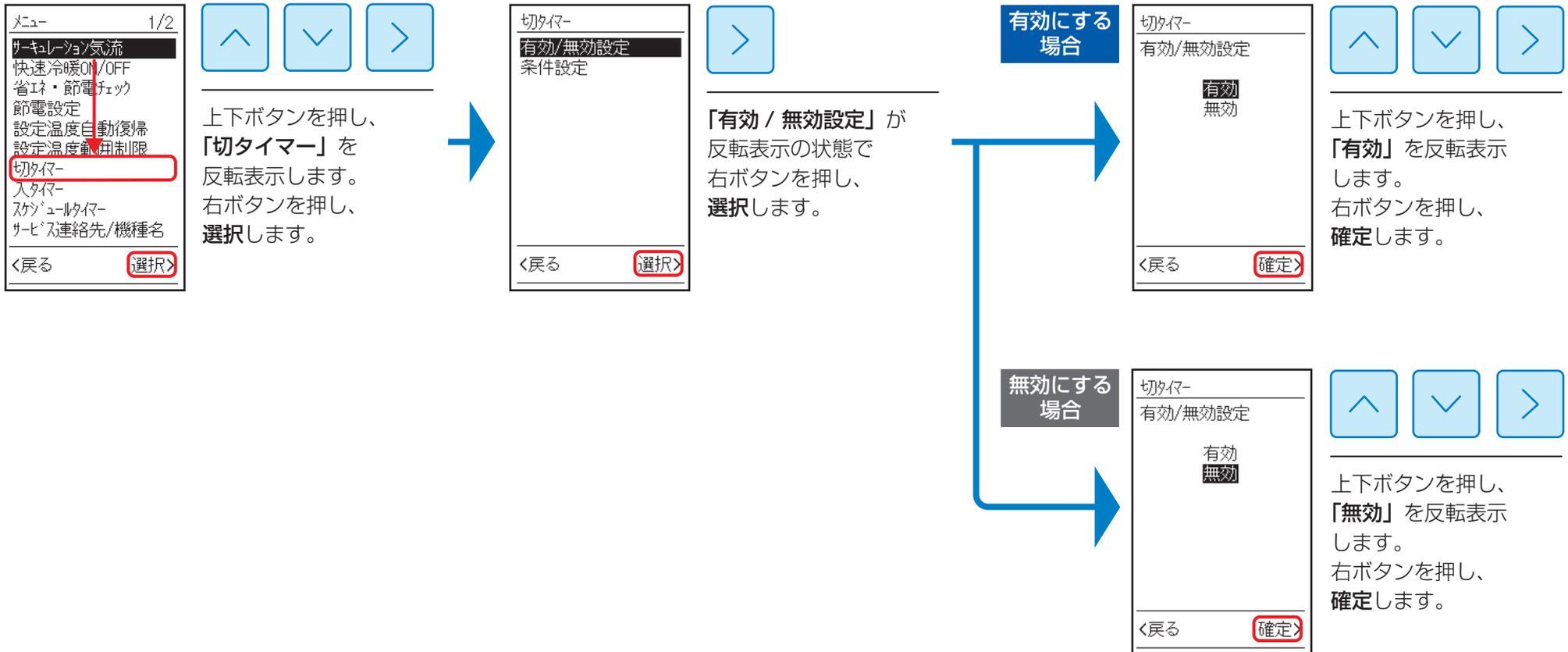
各種機能の設定を有効または無効にします。

下記の機能は設定後、つぎの手順で「有効」に設定する必要があります。
また、各機能の「有効」・「無効」が不明なときも、つぎの手順でご確認ください。

設定後、「有効」にならない機能	・スケジュールタイマー：シーズン設定	・節電設定：節電モード	・エコモード設定：エコレベル設定（冷房時設定）
	・スケジュールタイマー：スケジュール無効設定	・節電設定：最大出力	・エコモード設定：エコレベル設定（暖房時設定）
		・節電設定：節電スケジュール	

■設定のしかた

例) 切タイマーの場合



メニュー操作

快適機能

サーキュレーション気流	44
快速冷暖ON/OFF(スカイエア ※対象機種のみ)	45
除湿冷房設定(スカイエア ※対象機種のみ)	46
風向個別設定	47
風向範囲切換(床置用)	50
自動風あて・風よけ	51
自動ドラフト低減	52
高暖房モード	53
高温みまもりモード	54
静音モード	57

風量・風向を自動で制御し、部屋全体に気流を送ります。

- サーキュレーション気流は運転開始時に水平吹きと下吹き（暖房）、スイング（冷房）を交互に繰り返します。温度や時間で機器が自動判定し、通常の風量・風向自動運転に切り換わります。
- サーキュレーション気流有効を設定中にサーキュレーション気流の動作をやめたい場合は、基本操作画面の風量調節または風向設定画面で風量または風向を「自動」以外に変更してください。ふたたびサーキュレーション気流で動作させたい場合は、基本操作画面の風量調節または風向設定画面で風量・風向の両方を「自動」に変更するか、メニュー画面の「サーキュレーション気流」からふたたび「有効」を選択してください。
- サーキュレーション気流を解除するときは風量・風向を「自動」以外に設定するか、サーキュレーション気流を「無効」に設定してください。

例) サーキュレーション気流の設定を有効にする

1 サーキュレーション気流を選択

メニュー 1/2

- サーキュレーション気流
- 快速冷暖ON/OFF
- 切タイマー
- 入タイマー
- スケジュールタイマー
- 省エネ・節電チェック
- 節電設定
- 設定温度自動復帰
- 設定温度範囲制限
- サービス連絡先/機種名

上下ボタンを押し、「サーキュレーション気流」を反転表示します。

右ボタンを押し、選択します。

2 有効を選択

サーキュレーション気流 有効/無効設定

- 有効
- 無効

上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

有効を選択

メニュー 1/2

- サーキュレーション気流
- 快速冷暖ON/OFF
- 切タイマー
- 入タイマー
- スケジュールタイマー
- 省エネ・節電チェック
- 節電設定
- 設定温度自動復帰
- 設定温度範囲制限
- サービス連絡先/機種名

基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

- ※機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- ※本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログなどをご覧ください。
- ※本機能は工場出荷時で有効となります。
- ※グループ内の室内ユニットがすべて本機能に対応している場合のみ設定可能です。
- ※風向個別設定が有効である場合、サーキュレーション気流は使用できません。
- ※サーキュレーション気流機能のない機種や別売品との組み合わせによっては、サーキュレーション気流が表示されません。

室内ユニットの風量を自動でコントロールし、室外ユニットの能力を上げて、すばやく快適な室温にします。

「冷房」・「除湿冷房」・「暖房」または「自動」で運転中に設定できます。

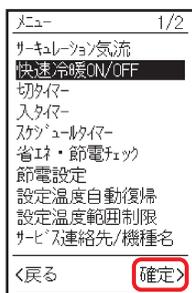
- 送風・マイコンドライ運転の場合は設定できません。
- 風量表示が消灯し、風量切り替えができなくなります。
- 快速冷暖運転は最大 30 分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- 運転切り替えを行ったときも、通常運転に戻ります。
ただし、除湿冷房から冷房に（または冷房から除湿冷房に）に変更した場合は、快速冷暖運転のままです。
- 暖房運転時、風量がアップし、通常より吹出温度が低くなる場合があります。
お好みに合わない場合は、解除してください。

例) 快速冷暖 ON/OFF を設定する

1 快速冷暖 ON/OFF を選択

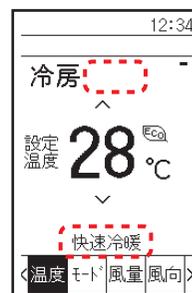


上下ボタンを押し、「快速冷暖 ON/OFF」を反転表示します。



右ボタンを押し、「確定」します。

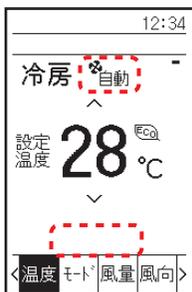
2 快速冷暖 ON の確認



基本画面に切り換わり、「快速冷暖」が表示されます。風量表示が消え、風量調節ができなくなります。

※基本画面に「快速冷暖」を表示中に設定すると「快速冷暖」が消え、快速冷暖が OFF になります。

3 設定を解除する場合



ON に設定されているときに手順 1 の操作を行うと設定が解除されます。

基本画面に風量が表示されます。

除湿冷房運転の除湿レベルを「除湿レベル弱」・「除湿レベル中」・「除湿レベル強」の中から設定できます。

除湿レベル弱 冷えすぎを抑えたい場合にお使いください。

除湿レベル中 おすすめの設定です。

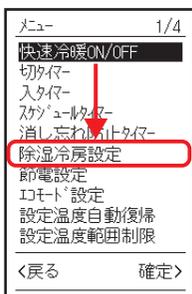
除湿レベル強 湿度をとにかくとりたい場合にお使いください。

※除湿冷房運転時は、除湿を優先するため、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

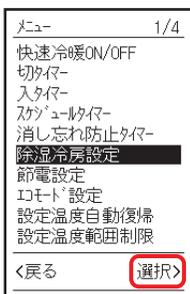
- 機種によっては本機能がないものがあります。
本機能の有無については、カタログをご覧ください。

例) 除湿レベルを強に設定する

1 除湿冷房設定を選択

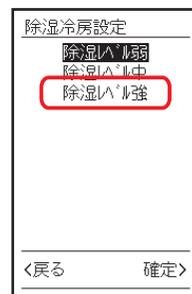


上下ボタンを押し、「除湿冷房設定」を反転表示します。



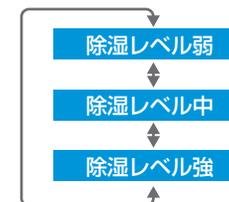
右ボタンを押し、選択します。

2 除湿レベルを選択



上下ボタンを押し、「除湿レベル強」を反転表示します。

●ボタンを押すごとに変わります。

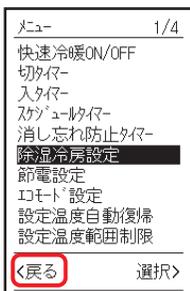


除湿レベルを選択



右ボタンを押し、確定します。設定が有効になります。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

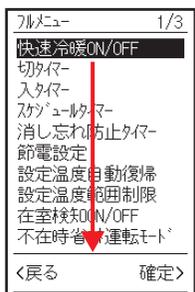
■風向を個別に設定する

室内ユニットの吹出口ごとに風向を設定します。

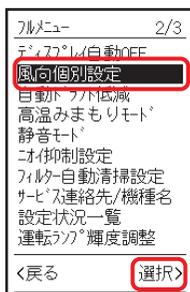
- 吹出口付近に表示している吹出口マークに合わせてそれぞれの風向を設定します。(□・□□・□□□・□□□□)
- 吹出口の数によって設定する数が変わります。
- スカイエアの場合は、同時運転マルチで最大4台まで設定可能です。(ユニットA・B・C・D)
ビル用マルチの場合は、1グループで最大16台まで設定可能です。(ユニット0～15)
- 吹出口マークは、接続する機種によって異なります。
 - ・吹出口マークが4つの機種：□・□□・□□□・□□□□
 - ・吹出口マークが2つの機種：□・□□
- 設定できる風向は機種によって異なります。
- 機種によっては本機能がいないものがあります。
- 本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログなどをご覧ください。

例) ユニット No.1 の吹出口
「□□□」の風向設定を
スイングにする

1 風向個別設定を選択

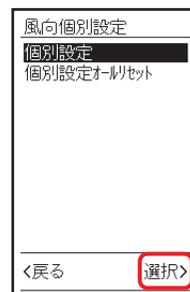


上下ボタンを押し、
「風向個別設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 個別設定を選択



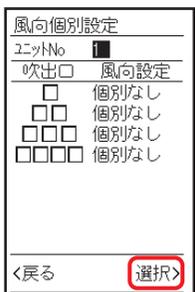
「個別設定」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。

3 ユニット No. を変更



上下ボタンを押し、
「1」を反転表示
します。

4 吹出口マーク設定に移行

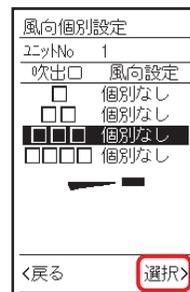


右ボタンを押し、
選択します。



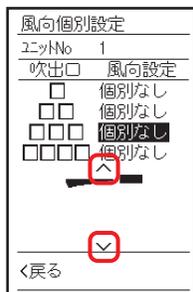
下ボタンを押し、
「□□□ 個別なし」を
反転表示します。

6 風向設定に移行



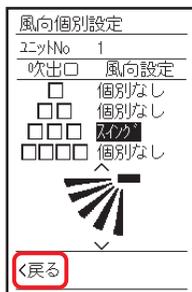
右ボタンを押し、
選択します。

7 風向を変更



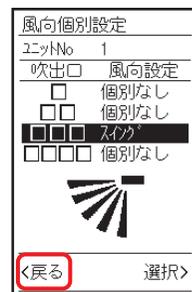
上下ボタンを押し、「スイング」を反転表示します。

8 設定を確定



設定を確定する、または、取り消すには、左ボタンを押します。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

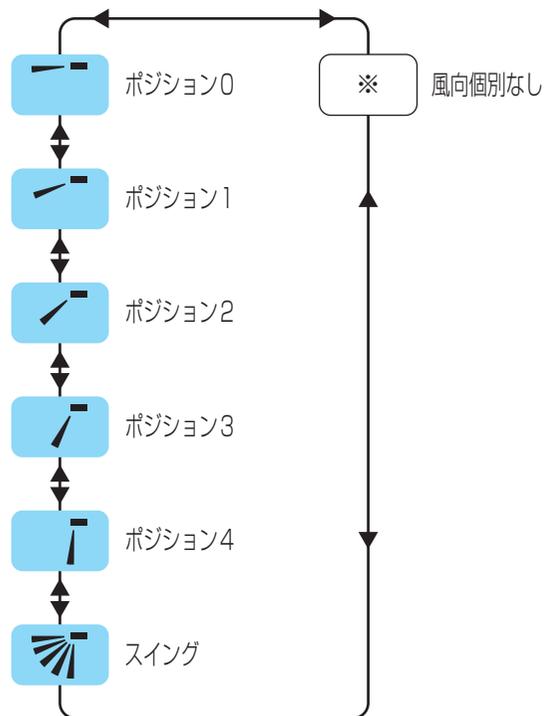
9 設定の確認



風向設定画面の下に「個別風向あり」が表示されます。

上下風向

※「**風向を変更する**」(26 ページ) で設定した風向を表示します。



■風向個別設定をオールリセットする

風向個別設定の内容をすべてリセットします。

※風向個別設定の画面表示のしかたは、「**■風向を個別に設定する**」（47 ページ）の手順 **1** を参照してください。

ご注意

- 「個別設定オールリセット」を行うと、設定されたすべての風向個別設定がリセットされますのでご注意ください。

例) 風向個別設定を
オールリセットする

1 個別設定オールリセットを選択

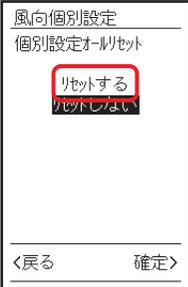


上下ボタンを押し、「個別設定オールリセット」を反転表示します。

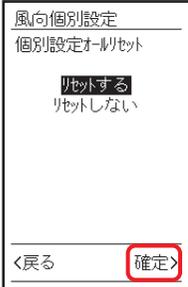


右ボタンを押し、**選択**します。

2 リセットするを選択



上下ボタンを押し、「リセットする」を反転表示します。

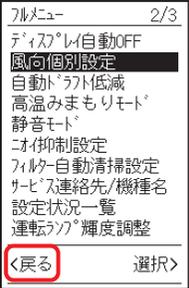


右ボタンを押し、**確定**します。

3 リセットを確定

これで設定完了です

リセットを確定



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

標準・右吹き・左吹きの3種類から風向範囲を切り換えることができます。

設置場所に合わせて風向範囲を切り換えます。

- 室内ユニットを壁面中央部に設置時は前方の左右へ送風

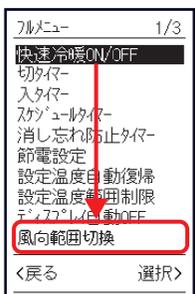


- 室内ユニットを部屋の隅に設置時は左方向または右方向へ送風

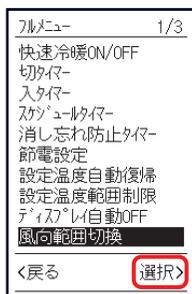


例) ユニット No.1 の風向を
右吹きに変更する

1 風向範囲切換を選択



上下ボタンを押し、
「風向範囲切換」を
反転表示します。

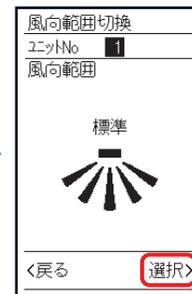


右ボタンを押し、
選択します。

2 ユニットを選択



上下ボタンを押し、
ユニット No「1」を
反転表示します。



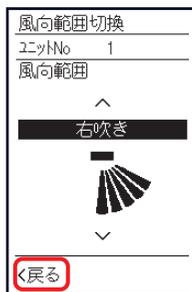
右ボタンを押し、
選択します。

3 右吹きを選択



上下ボタンを押し、
「右吹き」を
反転表示します。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

風向自動設定時に本機能を設定すると、
人を検知したときに風向きを変えて人に当てたり、人をよけたりすることができます。

- スマート学習節電時は
冷房時：風あて
暖房時：風よけ
で制御します。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- 対応機種のみメニューが表示されます。
- 「自動風あて・風よけ」・「自動ドラフト低減」機能のどちらか一方となります。

例) 冷房時に自動で風をよける

1 自動風あて・風よけを選択

上下ボタンを押し、「自動風あて・風よけ」を反転表示します。

右ボタンを押し、選択します。

2 設定項目を選択

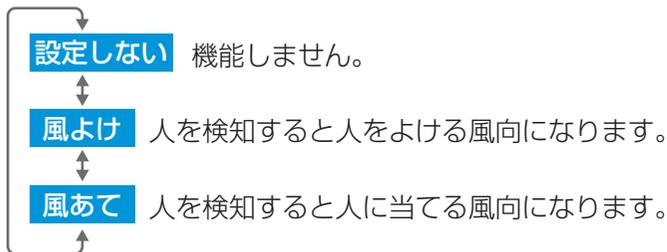
右ボタンを押し、選択します。
※暖房時設定の場合は、「暖房時設定」を選択してください。

3 設定を選択

上下ボタンを押し、「風よけ」を反転表示します。

設定を選択

- ボタンを押すごとに切り換わります。



4 設定を確定

右ボタンを押し、確定します。
設定が有効になります。

基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

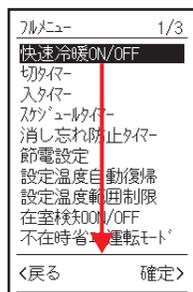
これで設定完了です

風向自動設定時に、人を検知すると風向を水平吹きにして風あたりによる不快感を低減します。

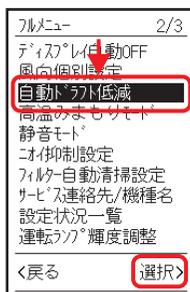
- 自動風あて・風よけ機能に対応したシステムに接続している場合は、本機能は使用できません。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- 本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログなどをご覧ください。

例) 自動ドラフト低減を設定する

1 自動ドラフト低減を選択



上下ボタンを押し、「自動ドラフト低減」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 有効を選択



上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

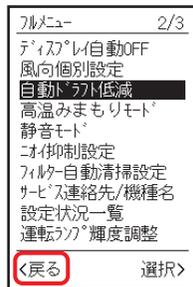
3 設定を確定



右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

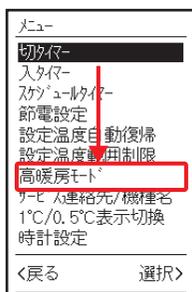
■高暖房モードを設定する

検知室温を床温度重視に設定することで、足元からしっかり暖めます。

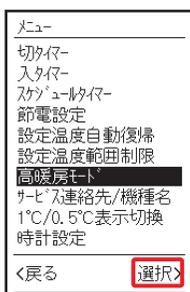
- 機種によっては本機能がないものがあります。
- 本機能の有無については、室内・室外ユニットに付属の取扱説明書・カタログをご覧ください。

例) 高暖房モードを有効にする

1 高暖房モードを選択



上下ボタンを押し、「高暖房モード」を反転表示します。



右ボタンを押し、「選択」を選択します。

2 有効を選択



上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

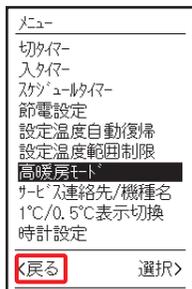
3 設定を確認



右ボタンを押し、「確定」を確認します。

これで設定完了です

設定を確認



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

■高温みまもりモードについて

運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。
※0.5℃設定時でも、設定温度は1℃単位となります。

- エアコン停止中に室温が設定した開始温度以上になると、自動で高温みまもりモードによる冷房運転を開始します。
このとき、設定した高温みまもりモードの目標温度を設定温度として運転し、約30分後に自動で運転停止します。
設定温度に達しない場合、30分以上運転することもあります。
(一度高温みまもりモードで運転すると、通常運転の設定温度も高温みまもりモードの目標温度になります。)
- 高温みまもりモードは運転モードが「冷房」・「除湿冷房」・「自動冷房」のときにしか動作しません。
上記以外が基本画面に表示されている場合は、運転切換(モード)から「冷房」か「自動冷房」に切り換えてください。
- 高温みまもりモードの設定が有効のとき、基本画面にが表示されます。
- 高温みまもりモードによる運転中は、基本画面のが点滅します。
- 高温みまもりモードによる運転中に運転/停止ボタンを押すと、高温みまもりモードを終了し、運転停止します。
もう一度運転/停止ボタンを押すと通常運転を開始します。
(集中制御機器から停止された場合も同様の動作となります。)
- 室温が開始温度を上まわっている場合は、運転/停止ボタンを押しても高温みまもりモードが終了せず、運転停止しません。
運転停止させるには、次のいずれかの操作を行ってください。
 - ・高温みまもりモードの開始温度を室温より上げる。
 - ・高温みまもりモードを無効化する。(高温みまもりモードは再有効化するまで動きません。)
 - ・運転モードを「送風」か「ドライ」に変更する。
- 高温みまもりモードによる運転中に設定温度または運転モードを変更すると、高温みまもりモードを終了し、通常運転で運転を継続します。
ただし、除湿冷房から冷房に(または冷房から除湿冷房に)に変更した場合は、高温みまもりモードのままです。
(集中制御機器から変更された場合も同様の動作となります。)
- お使いのユニットが本機能に対応しているか確認のうえ、ご使用ください。

■高温みまもりモードを設定する

運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。

●設定範囲は以下のとおりです。

開始温度：25℃～37℃

目標温度：20℃～35℃

※設定温度範囲制限を有効にした場合は、本設定の上限・下限値が変わることがあります。

※0.5℃設定時でも、開始温度、目標温度は1℃単位となります。

例) 開始温度：32℃
目標温度：28℃
に設定する

1 高温みまもりモードを選択

上下ボタンを押し、「高温みまもりモード」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 条件設定を選択

上下ボタンを押し、「条件設定」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

3 開始温度設定に移行

「開始温度 35℃」が反転表示の状態です。右ボタンを押し、**選択**します。

4 開始温度を変更

上下ボタンを押し、「32℃」を**選択**します。開始温度は、「25℃～37℃」から**選択**できます。

5 選択画面に戻る

前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押しします。

6 目標温度を選択



下ボタンを押し、「目標温度 30°C」を反転表示します。

7 目標温度設定に移行



右ボタンを押し、**選択**します。

8 目標温度を変更



上下ボタンを押し、「28°C」を選択します。目標温度は、「20°C～35°C」から選択できます。

9 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**のため、左ボタンを押しします。

10 設定確定画面に移行



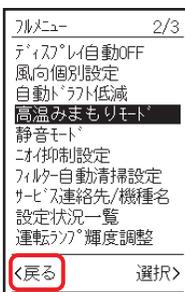
設定を確定する、または、取り消すには、左ボタンを押しします。

11 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下ボタンを押し、「いいえ」を反転表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です



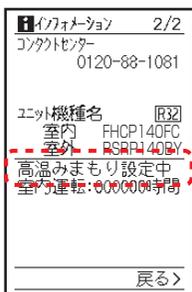
基本画面に**戻る**には、左ボタンを押しします。

12 設定の確認



基本画面に「↑」が表示されます。

設定の確認



インフォメーション画面の下段に「高温みまもり設定中」が表示されます。

13 有効/無効の確認・変更

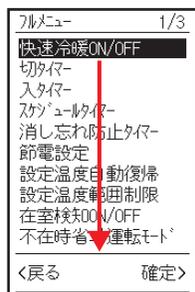
これで設定は有効になります。設定内容を残したまま無効にする場合や、有効・無効の状態がわからなくなった場合は「メニューの有効/無効設定」(42 ページ)を参照してください。

静音性を優先して運転する時間帯を設定します。

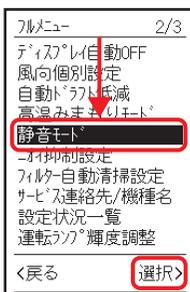
- 静音運転開始～終了時刻を 30 分単位で設定可能です。
時計設定が必要です。
「[時計設定](#)」(123 ページ) を参照してください。

例) 開始時間 20:30
終了時間 9:00
に設定する

1 静音モードを選択

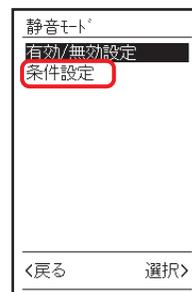


上下ボタンを押し、
「静音モード」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

3 開始時間設定に移行



「開始時間 22:00」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。



上下ボタンを押し、
「20:30」を
選択します。

5 選択画面に戻る



前の画面に戻るため、
左ボタンを押します。

6 終了時間を選択



下ボタンを押し、
「終了時間 8:00」を
反転表示します。

7 終了時間設定に移行



右ボタンを押し、
選択します。

8 終了時間を変更



上下ボタンを押し、
「9:00」を選択します。

9 選択画面に戻る



前の画面に戻るため、
左ボタンを押します。

10 設定の確定に移行



設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

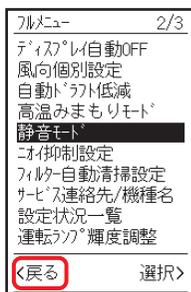
11 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です

12 有効/無効の確認・変更



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「**メニューの有効/無効設定**」(42 ページ)
を参照してください。

メニュー操作

タイマー機能

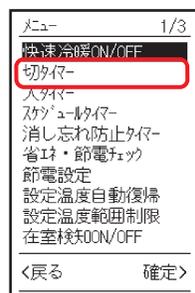
切タイマー	60
入タイマー	62
入・切タイマー使用例	64
スケジュールタイマー機能	65
スケジュールタイマー使用例	66
スケジュールタイマー	68
消し忘れ防止タイマー	75

運転時に停止させるまでの時間を1時間単位で設定します。

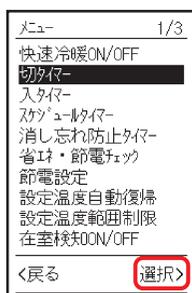
●切タイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕒」が表示されます。

例) 10 時間後に運転を
停止する

1 切タイマーを選択

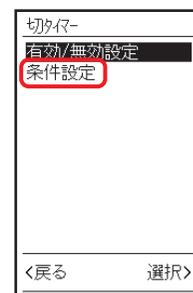


上下ボタンを押し、
「切タイマー」を
反転表示します。

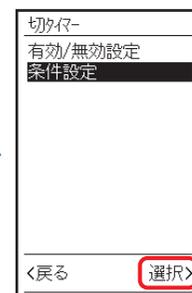


右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

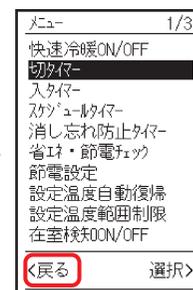
3 停止する時間を選択



上下ボタンを押し、
「10 時間」を
選択します。
設定時間は 1 時間
単位で 1 ~ 96 時間
までです。



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効に
なります。
これで設定完了です



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

5 設定の確認



基本画面の右上に
「🕒」が表示されます。

6 有効/無効の確認・変更

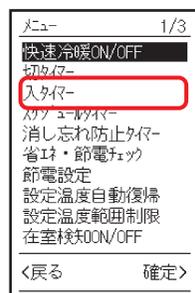
これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「[メニューの有効/無効設定](#)」(42 ページ)
を参照してください。

停止時に運転させるまでの時間を1時間単位で設定します。

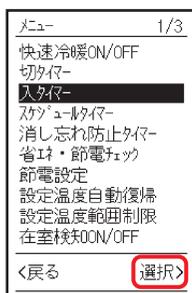
- 入タイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕒」が表示されます。

例) 10 時間後に運転を
開始する

1 入タイマーを選択

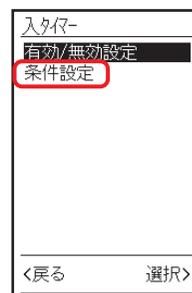


上下ボタンを押し、
「入タイマー」を
反転表示します。

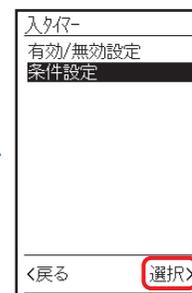


右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

3 運転する時間を選択



上下ボタンを押し、
「10 時間」を
選択します。
設定時間は 1 時間
単位で 1 ~ 96 時間
までです。



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効に
なります。
これで設定完了です



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

5 設定の確認



基本画面の右上に
「」が表示されます。

6 有効/無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「[メニューの有効/無効設定](#)」(42 ページ)
を参照してください。

■入・切タイマー組合わせ使用例

入・切タイマーはそれぞれ1回のみ設定できます。

例) 20:00 に
入タイマー「12 時間」・
切タイマー「22 時間」
で設定する



※

※入タイマー設定時間

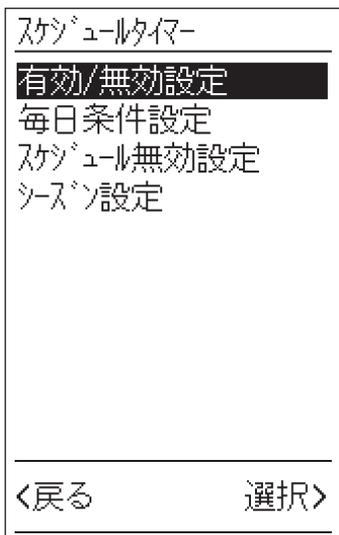
- 選択した時間後に運転を開始します。
(例) 時間を「12時間」に設定すると入タイマー設定の確定(有効)から12時間後に運転を開始します。

※切タイマー設定時間

- 選択した時間後に運転を停止します。
(例) 時間を「22時間」に設定すると切タイマー設定の確定(有効)から22時間後に運転を停止します。
(運転が停止状態でこの操作を実行した場合、タイマーはスタートしていますので、
運転ボタンを押してからの時間より短くなります。)

スケジュールタイマーには下記の設定項目があります。

スケジュールタイマー画面



有効 / 無効設定 (42 ページ)	<p>スケジュールタイマーは、下記「毎日条件設定」で運転動作と時刻を設定すると、その時点で有効な状態になります。</p> <p>スケジュールタイマーを設定したあとで、「今はスケジュールタイマーは使わないが、設定内容は残したい」場合は、無効を選んでください。</p> <p>スケジュールタイマーは動作しません。また、無効にしたあとでもう一度有効を選べると、同じ設定でスケジュールタイマーが動作します。</p>
毎日条件設定 (69 ページ)	<p>曜日ごとに最大8動作の時刻設定ができます。</p> <p>例えば、「平日は休憩時間を除く就業時間中だけ運転し、土日は運転させない」などの設定ができます。</p> <p>※0.5℃設定時でも、スケジュールタイマーの設定温度は1℃単位となります。</p>
スケジュール無効設定 (73 ページ)	<p>日常的にスケジュールタイマーを使用している場合で、特定の曜日だけ無効にしたいときに使用します。</p> <p>例えば、その週の火曜日が祝日で、終日運転停止にする場合、週の初めに火曜日を無効設定にしておきます。</p> <p>(ご注意：この場合、祝日の火曜日が過ぎたら、翌週の火曜日までに無効設定を解除してください。解除しないと翌週の火曜日でもスケジュールタイマーは無効のままになります。)</p>
シーズン設定 (68 ページ)	<p>「毎日条件設定」の1週間分のパターンを2種類設定することができます。</p> <p>夏季と冬季などで使い分けることができます。</p>

シーズン別に曜日パターンを設定して、日常の運転管理を自動で行うことができます。

■オフィス

営業日 月～金曜日 9:00～18:00

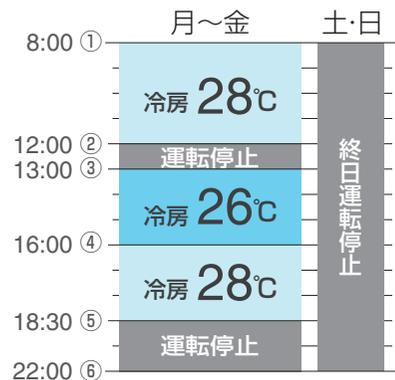
休業日 土・日曜日

シーズン1



- ① 始業時刻の1時間前に冷房運転を開始する。
- ② お昼の休憩時間は節電のため運転を停止する。
- ③ 暑くなる日中は、午前より設定温度を2℃下げて運転開始する。
- ④ 日が落ちる夕刻は、設定温度を2℃上げる。
- ⑤ 終業時刻の30分後に運転を停止する。
- ⑥ 残業などで手動運転した場合の消し忘れを防止するために、夜間に再度運転停止を設定する。

温度スケジュール



設定画面

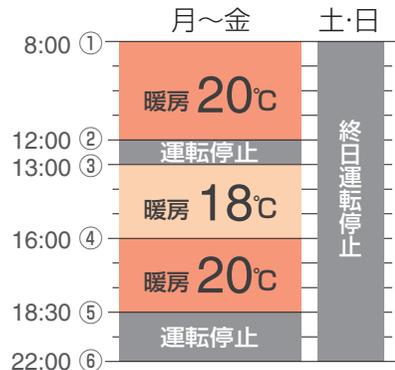
営業日 (月～金)	休業日 (土・日)
シーズン1 月曜日 8:00 冷房 28℃ 12:00 OFF 13:00 冷房 26℃ 16:00 冷房 28℃ 18:30 OFF 22:00 OFF --- ---	シーズン1 日曜日 --- --- --- --- --- --- ---
戻る 選択	戻る 選択

シーズン2



- ① 始業時刻の1時間前に暖房運転を開始する。
- ② お昼の休憩時間は節電のため運転を停止する。
- ③ 暖かい日中は設定温度を2℃下げて運転開始する。
- ④ 冷え込む夕刻は、設定温度を2℃上げる。
- ⑤ 終業時刻の30分後に運転を停止する。
- ⑥ 残業などで手動運転した場合の消し忘れを防止するために、夜間に再度運転停止を設定する。

温度スケジュール



設定画面

営業日 (月～金)	休業日 (土・日)
シーズン2 月曜日 8:00 暖房 20℃ 12:00 OFF 13:00 暖房 18℃ 16:00 暖房 20℃ 18:30 OFF 22:00 OFF --- ---	シーズン2 日曜日 --- --- --- --- --- --- ---
戻る 選択	戻る 選択

シーズン別に曜日パターンを設定して、日常の運転管理を自動で行うことができます。

■飲食店

営業日	月～水・金曜日	ランチ 11:00～14:00 ディナー17:00～22:00
	土・日曜日	ランチ 11:00～14:00 (夏季のみ) ディナー17:00～22:00

休業日 木曜日

シーズン1



- ①ランチ営業時間の2時間前（準備中）に冷房運転を開始する。
- ②混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
- ③営業時間外は運転を停止する。
- ④ディナー営業時間の1時間前に冷房運転を開始する。
- ⑤混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
- ⑥気温の下がる夜は設定温度を2℃上げる。
- ⑦営業時間の2時間後（後片付け）に運転を停止する。

温度スケジュール

	月火水	木	金土日
9:00 ①	冷房 27℃	終日運転停止	27℃
11:00 ②	冷房 25℃		25℃
14:00 ③	運転停止		運転停止
16:00 ④	冷房 27℃		27℃
18:00 ⑤	冷房 25℃		25℃
21:00 ⑥	冷房 27℃		27℃
23:59 ⑦	冷房 27℃		27℃

設定画面

営業日 (月～金～日)	休業日 (木)
シーズン1 月曜日 9:00 冷房 27℃ 11:00 冷房 25℃ 14:00 OFF 16:00 冷房 27℃ 18:00 冷房 25℃ 21:00 冷房 27℃ 23:59 OFF ---:--:--	シーズン1 木曜日 ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:--
<戻る 選択>	<戻る 選択>

シーズン2



- ①ランチ営業時間の2時間前（準備中）に暖房運転を開始する。
- ②混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
- ③営業時間外は運転を停止する。
- ④ディナー営業時間の1時間前に暖房運転を開始する。
- ⑤混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
- ⑥気温の下がる夜は設定温度を2℃上げる。
- ⑦営業時間の2時間後（後片付け）に運転を停止する。
- ⑧土日はディナー営業のみのため、午前中は運転を停止する。
- ⑨木曜日は終日運転を停止する。

温度スケジュール

	月火水	木	金	土日
9:00 ①	暖房 20℃	終日運転停止	20℃	20℃
11:00 ②	暖房 18℃		18℃	運転停止
14:00 ③	運転停止		運転停止	4
16:00 ④	暖房 20℃		20℃	20℃
19:00 ⑤	暖房 18℃		18℃	18℃
21:00 ⑥	暖房 20℃		20℃	20℃
23:59 ⑦	暖房 20℃		20℃	20℃

設定画面

営業日 (月～水・金)	営業日 (土・日)	休業日 (木)
シーズン2 月曜日 9:00 暖房 20℃ 11:00 暖房 18℃ 14:00 OFF 16:00 暖房 20℃ 19:00 暖房 18℃ 21:00 暖房 20℃ 23:59 OFF ---:--:--	シーズン2 日曜日 16:00 暖房 20℃ 19:00 暖房 18℃ 21:00 暖房 20℃ 23:59 OFF ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:--	シーズン2 木曜日 ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:-- ---:--:--
<戻る 選択>	<戻る 選択>	<戻る 選択>

■ シーズンを設定する

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

- スケジュールタイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕒」が表示されます。
- スケジュールタイマーは「シーズン1」・「シーズン2」の2種類を設定することができます。
- スケジュールタイマーの設定（次ページ）は、ここで選択されたシーズンの設定が対象になります。

例) シーズン1を設定する

1 スケジュールタイマーを選択

メニュー 1/3

快速冷暖ON/OFF

切タイマー

入タイマー

スケジュールタイマー

消し忘れ防止タイマー

省エネ・節電チェック

節電設定

設定温度自動復帰

設定温度範囲制限

在室検知ON/OFF

<戻る 確定>

↑ ↓

上下ボタンを押し、「スケジュールタイマー」を反転表示します。

メニュー 1/3

快速冷暖ON/OFF

切タイマー

入タイマー

スケジュールタイマー

消し忘れ防止タイマー

省エネ・節電チェック

節電設定

設定温度自動復帰

設定温度範囲制限

在室検知ON/OFF

<戻る **選択**>

>

右ボタンを押し、選択します。

2 シーズン設定に移行

スケジュールタイマー

有効/無効設定

毎日条件設定

スケジュール無効設定

シーズン設定

<戻る 選択>

↑ ↓

上下ボタンを押し、「シーズン設定」を反転表示します。

スケジュールタイマー

有効/無効設定

毎日条件設定

スケジュール無効設定

シーズン設定

<戻る **選択**>

>

右ボタンを押し、選択します。

3 シーズン1を選択

スケジュールタイマー

シーズン設定

シーズン1

シーズン2

<戻る 確定>

↑ ↓

上下ボタンを押し、「シーズン1」を反転表示します。

スケジュールタイマー

シーズン設定

シーズン1

シーズン2

<戻る **確定**>

>

右ボタンを押し、**確定**します。

メニュー 1/3

快速冷暖ON/OFF

切タイマー

入タイマー

スケジュールタイマー

消し忘れ防止タイマー

省エネ・節電チェック

節電設定

設定温度自動復帰

設定温度範囲制限

在室検知ON/OFF

<戻る 選択>

<

基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

これで設定完了です

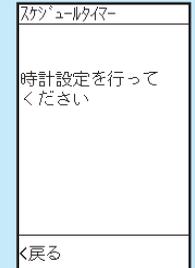
■ 毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

- 曜日ごとに8つの動作が設定可能です。
 - 祭日および臨時休業など、
便利なスケジュール無効設定が可能です。
- ※集中制御機器（別売品）が接続されている場合は、メニューが表示されないことがあります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

オフィスでの使用例の内容に
設定する
例) シーズン1の営業日
(66 ページ)

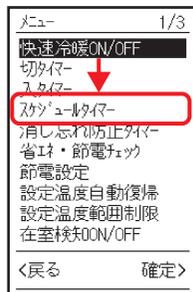
スケジュールタイマーを設定するには
時計設定が必要です。
時計設定をしていない場合は、
右記のような画面が表示されます。



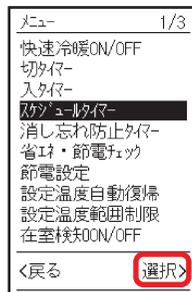
時計設定 → 「時計設定」

(123 ページ) を参照してください。

1 スケジュールタイマーを選択

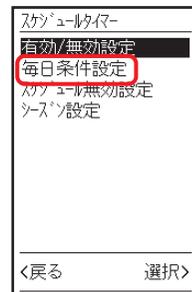


上下ボタンを押し、
「スケジュール
タイマー」を
反転表示します。

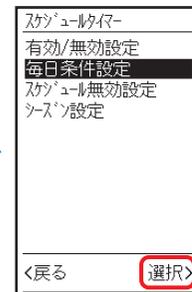


右ボタンを押し、
選択します。

2 毎日条件設定を選択



下ボタンを押し、
「毎日条件設定」を
反転表示します。

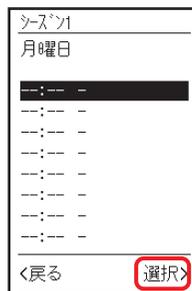


右ボタンを押し、
選択します。

3 月曜日設定に移行

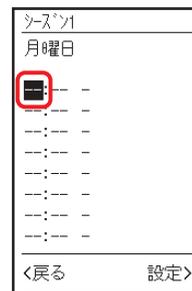


「月曜日」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。



1 段目が反転表示
した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。

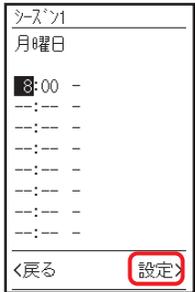
5 8時を選択



上下ボタンを押し、
「8」を選択します。

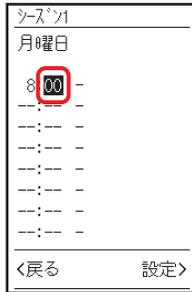
※1 時間ずつ進みます。

8時を選択



右ボタンを押し、
設定します。

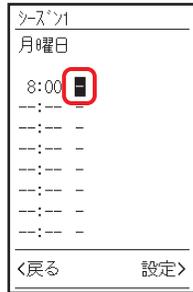
6 00分を設定



「00」が反転表示
された状態で
右ボタンを押し、
設定します。

※上下ボタンを押すと
1分ずつ進みます。

7 冷房を設定



上下ボタンを押し、
「冷房」を選択します。

選択できる動作

ON

設定時刻になると、基本画面に表示
されている設定で運転を開始します。
●運転モードや設定温度を確実に決めて
おきたい場合は、ON を選ばずに、
運転モードと設定温度を毎回設定する
ことをおすすめします。

冷房を設定

OFF

設定時刻になると運転を停止します。

送風

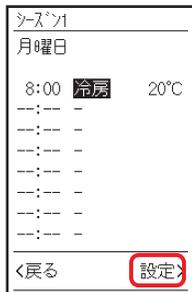
送風運転を開始します。

冷房 ▶ 温度

設定した温度で冷房運転を開始します。

暖房 ▶ 温度

設定した温度で暖房運転を開始します。



右ボタンを押し、
設定します。

8 28°Cを設定



上下ボタンを押し、
「28」を選択します。



右ボタンを押し、
設定します。

9 2段目の設定欄を選択



下ボタンを押し、
2段目を反転表示
します。



右ボタンを押し、
設定します。

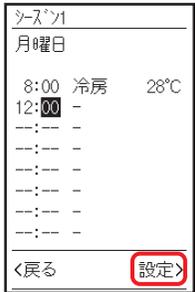
10 12:00に設定



手順 5,6 に沿って
「12:00」に設定
します。

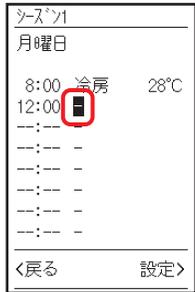
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

12:00に設定



右ボタンを押し、
設定します。

11 OFFを設定



上下ボタンを押し、
「OFF」を選択します。



右ボタンを押し、
設定します。

12 3段目の設定欄を選択



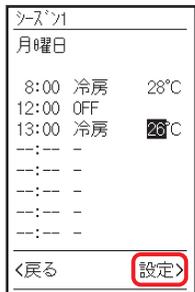
手順 9 に沿って
3段目を選択します。

13 13:00に設定



手順 5、6 に沿って
「13:00」に
設定します。

14 冷房26°Cを確定



手順 7、8 に沿って
「冷房 26°C」に
設定します。

15 4段目の設定欄を選択



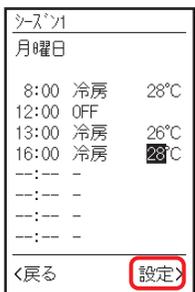
手順 9 に沿って
4段目を選択します。

16 16:00に設定



手順 5、6 に沿って
「16:00」に
設定します。

17 冷房28°Cを確定



手順 7、8 に沿って
「冷房 28°C」に
設定します。

18 5段目の設定欄を選択



手順 9 に沿って
5段目を選択します。

19 18:30に設定



手順 5、6 に沿って
「18:30」に
設定します。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

20 OFFを選択

シーズン		
月曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:30	OFF	
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	設定	



手順 **11** に沿って
「OFF」に設定します。

21 6段目の設定欄を選択

シーズン		
月曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:00	OFF	
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	選択	



手順 **9** に沿って
6段目を**選択**します。

22 22:00に設定

シーズン		
月曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:00	OFF	
22:00	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	設定	



手順 **5, 6** に沿って
「22:00」に
設定します。

23 OFFを選択

シーズン		
月曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:00	OFF	
22:00	OFF	
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	設定	



手順 **11** に沿って
「OFF」に設定します。

24 設定を確定

シーズン		
月曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:00	OFF	
22:00	OFF	
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	選択	



設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

スケジュールタイマー	
設定を確定しますか?	
はい	
いいえ	
<戻る	確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下ボタンを押して
「いいえ」を反転表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です

25 ほかの曜日の設定

シーズン		
毎日条件設定		
月曜日	--	
火曜日	--	
水曜日	--	
木曜日	--	
金曜日	--	
土曜日	--	
日曜日	--	
<戻る	選択	



上下ボタンを押し、
設定する曜日を
反転表示します。
手順 **4~24** に沿っ
て**設定**します。

前日の設定をコピーする場合

シーズン		
火曜日		
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	選択	

シーズン		
火曜日		
8:00	冷房	28°C
12:00	OFF	
13:00	冷房	26°C
16:00	冷房	28°C
18:00	OFF	
22:00	OFF	
--:--	--	--
--:--	--	--
<戻る	選択	



※前日の設定をコピーしたい場合は
曜日を選択後、右ボタンを3秒以上長押し
すると前日の内容がそのままコピーされま
す。

26 基本画面に戻る

シーズン		
毎日条件設定		
月曜日	--	
火曜日	--	
水曜日	--	
木曜日	--	
金曜日	--	
土曜日	--	
日曜日	--	
<戻る	選択	



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

27 有効/無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「**メニューの有効/無効設定**」(42 ページ)
を参照してください。

■スケジュール無効設定(曜日単位)

特定の曜日だけ無効にしたいときに使用します。

※スケジュールタイマー自体を無効にしたい場合

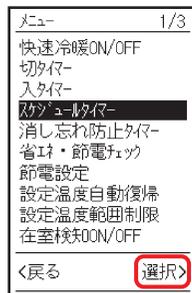
「[メニューの有効 / 無効設定](#)」(42 ページ)

例) 火曜日の設定を無効にする

1 スケジュールタイマーを選択

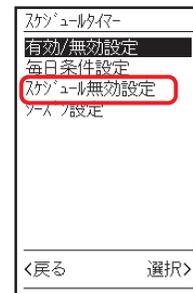


上下ボタンを押し、「スケジュールタイマー」を反転表示します。

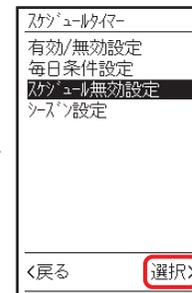


右ボタンを押し、選択します。

2 スケジュール無効設定に移行

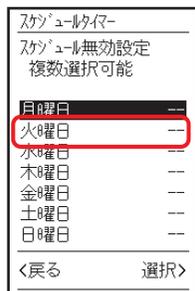


上下ボタンを押し、「スケジュール無効設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

3 火曜日を選択

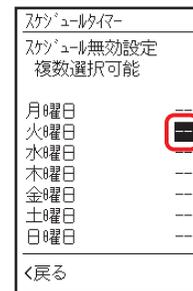


下ボタンを押し、「火曜日」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

4 無効を選択



上下ボタンを押し、「無効」を反転表示します。

無効を選択

スケジュールタイマー	
スケジュール無効設定 複数選択可能	
月曜日	--
火曜日	-- 無効
水曜日	--
木曜日	--
金曜日	--
土曜日	--
日曜日	--
戻る	



前の画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

5 設定を確認

スケジュールタイマー	
スケジュール無効設定 複数選択可能	
月曜日	--
火曜日	-- 無効
水曜日	--
木曜日	--
金曜日	--
土曜日	--
日曜日	--
戻る	選択>



前の画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

スケジュールタイマー	
設定を確認しますか?	
はい いいえ	
戻る	確定 >



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「**いいえ**」を反転
表示し、右ボタンで**確定**します。

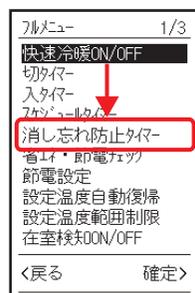
これで設定完了です

運転開始～停止までの時間を設定します。

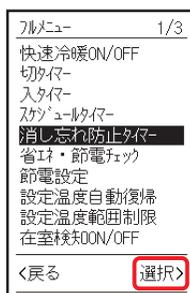
- 消し忘れ防止タイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕒」が表示されます。
- 運転開始から設定された時間後に毎回自動で運転を停止します。
- 解除されるまでは毎回有効になります。
- 手動で運転開始したときのみ運転を停止します。
スケジュールタイマーや集中制御機器で運転開始した場合は、停止しません。

例) 80 分後に運転を停止する

1 消し忘れ防止タイマーを選択

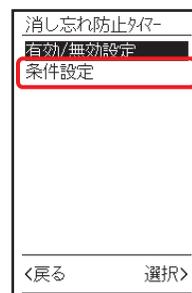


上下ボタンを押し、「消し忘れ防止タイマー」を反転表示します。

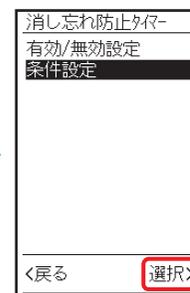


右ボタンを押し、**選択**します。

2 条件設定画面を選択



上下ボタンを押し、「条件設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

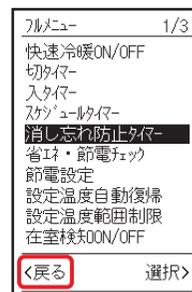
3 運転停止時間を選択



上下ボタンを押し、「80分」を選択します。運転開始から何分後に自動で停止させるかを設定します。
設定は10分単位で30～180分までです。



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

5 設定の確認



基本画面の右上に
「🕒」が表示されます。

6 有効/無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「[メニューの有効/無効設定](#)」(42 ページ)
を参照してください。

メニュー操作

省エネ・節電機能

省エネ・節電チェック(スカイエア ※対象機種のみ)	78
節電設定(スカイエア ※対象機種のみ)	81
エコモード設定	88
設定温度自動復帰	90
設定温度範囲制限	92
在室検知ON/OFF	94
不在時省エネ運転モード	97
待機電力低減(スカイエア ※対象機種のみ)	98
！待機電力設定確認(スカイエア ※対象機種のみ)	99
ディスプレイ自動OFF	100

消費電力量を確認する

過去の消費電力量を今日・昨日(2時間単位)、今週・先週(1日単位)、今年・昨年(1カ月単位)で確認することができます。

- 本機能はあくまでも比較のための参考値になりますので、電力料金の算出や契約電力の検討および法律に基づく温室効果ガス排出量の算出目的に、用いないください。
簡易的に消費電力量を算出しているため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

- 時計設定が必要です。

「**時計設定**」(123 ページ)を参照してください。

- 機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。

- グループ制御時は本機能をご使用になれません。

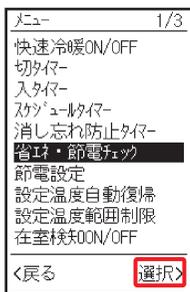
※停電等によりリモコンに電源が供給されなくなった場合、消費電力量の今日・昨日(2時間単位)、今週・先週(1日単位)のグラフデータはクリアされます。今年・昨年(1カ月単位)のグラフデータは保持されます。

例) 消費電力量を確認する

1 省エネ・節電チェックを選択

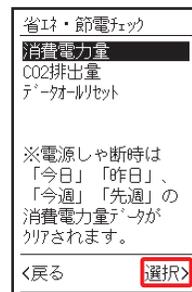


上下ボタンを押し、「**省エネ・節電チェック**」を反転表示します。



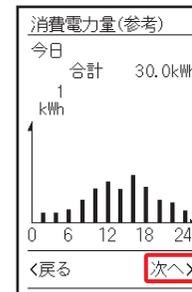
右ボタンを押し、**選択**します。

2 消費電力量を選択



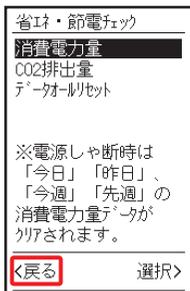
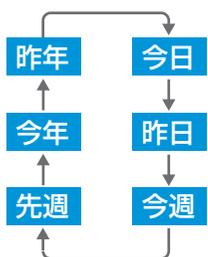
「**消費電力量**」が反転表示の状態では、右ボタンを押し、**選択**します。

3 消費電力量の確認



右ボタンを押すことに表示が切り換わります。今日、昨日のグラフでは、2時間単位の消費電力量を表示します。(例: 4~6時の消費電力量は6時の位置に表示します。)

消費電力量の確認



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

CO₂ 排出量を確認する

消費電力量をもとにCO₂排出量を表示します。

※省エネ・節電チェックの画面表示のしかたは、「**消費電力量を確認する**」(78 ページ)を参照してください。

●あくまでも比較のための参考値になりますので、電力料金の算出や契約電力の検討および法律に基づく温室効果ガス排出量の算出目的に、本機能は用いないでください。

簡易的に消費電力量を算出しているため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

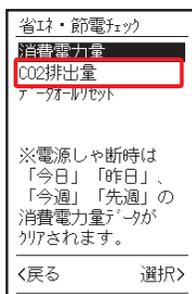
●時計設定が必要です。

「**時計設定**」(123 ページ)を参照してください。

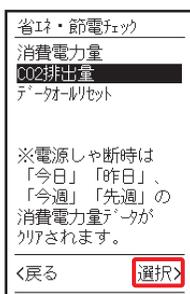
※停電等によりリモコンに電源が供給されなくなった場合、CO₂排出量データ(運転時間、CO₂排出量)はクリアされます。

例) CO₂排出量を確認する

1 CO₂排出量を選択



上下ボタンを押し、「CO₂排出量」を反転表示します。

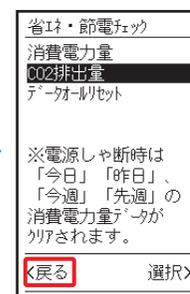


右ボタンを押し、**選択**します。

2 CO₂排出量を確認



CO₂排出量を**確認**します。



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押しします。

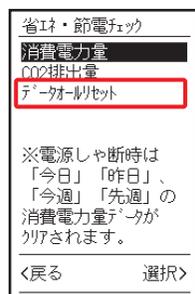
■データをリセットする

過去に記録していた消費電力量、CO₂排出量をすべてリセットします。

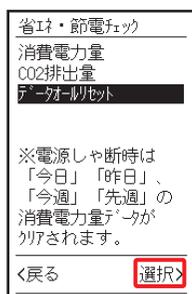
※省エネ・節電チェックの画面表示のしかたは、「[消費電力量を確認する](#)」(78 ページ) を参照してください。

例) 消費電力量・CO₂排出量を
リセットする

1 データオールリセットを選択

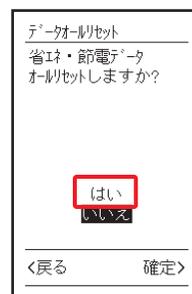


上下ボタンを押し、「データオールリセット」を反転表示します。

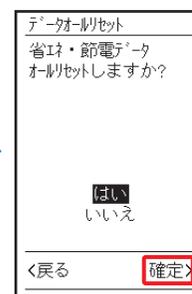


右ボタンを押し、**選択**します。

2 データをリセット



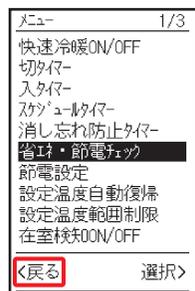
上下ボタンを押し、「はい」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。

これで設定完了です

データをリセット



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

■節電設定について

マニュアル節電(手動)・スケジュール節電(手動)・スマート学習節電(自動)のモードで消費電力を制限した運転を行うことができます。

マニュアル節電・スケジュール節電およびスマート学習節電について

【マニュアル節電・スケジュール節電】

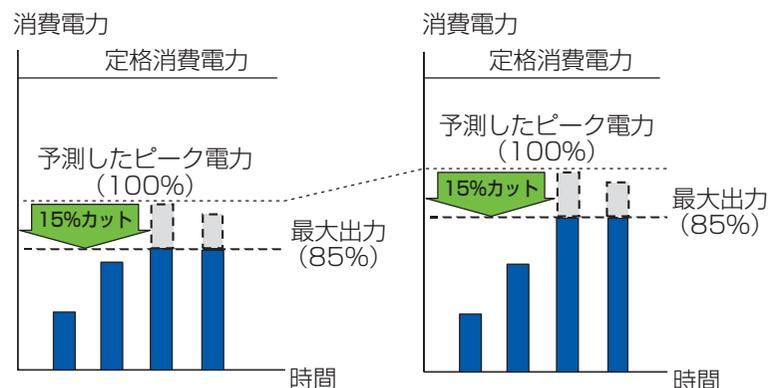
定格消費電力を100%とし、設定した最大出力を超えないように制御します。



マニュアル節電・スケジュール節電
(例：最大出力 85% 設定時)

【スマート学習節電】

予測したピーク電力を100%とし、設定した最大出力を超えないように制御します。



(前日) → (当日)

スマート学習節電
(例：最大出力85%設定時、前日の負荷が高いとき)

- スマート学習節電は、前日の負荷から予測したピーク電力を基準としているため、消費電力量が増減する場合があります。
- 極端に運転率の低い環境下においては学習データが更新されません。
- スマート学習節電中の風向制御は工場出荷時、冷房運転時「スイング」、暖房運転時「水平吹き」になります。
(お好みに応じて任意の風向設定が可能です。) ※風向制御に対応した機種のみ。

■節電モードを設定する

マニュアル節電(手動)・スケジュール節電(手動)・スマート学習節電(自動)のモードで消費電力を制限した運転を行うことができます。

- 節電中は消費電力のピークを制限するため、室温が設定温度に至らない場合があります。快適性を優先したい場合は節電モードを無効にするか最大出力を調整してください。(サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が解除されていることを確認してください。)
- 節電設定を有効にすると「**節電**」、動作中は「**節電中**」が表示されます。

マニュアル節電 定格電力を 100% として設定した最大出力 (%) 以下で節電します。

スケジュール節電 スケジュールにしたがってマニュアル節電と同じ動作を行います。時計設定が必要です。「**時計設定**」(123 ページ) を参照してください。

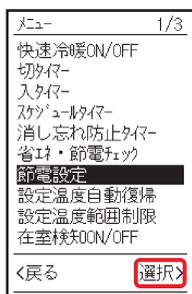
スマート学習節電 実際のピーク電力を予測し、そのピーク電力を 100% として設定した最大出力 (%) 以下で節電します。

例)「スケジュール節電」を選択する

1 節電設定を選択

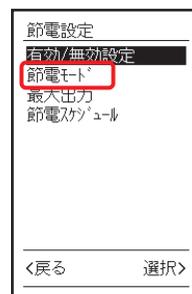


上下ボタンを押し、「**節電設定**」を反転表示します。



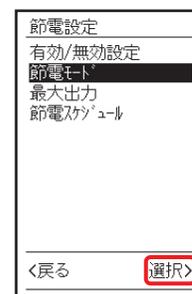
右ボタンを押し、「**選択**」します。

2 節電モードを選択



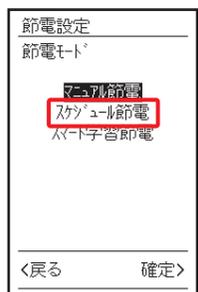
上下ボタンを押し、「**節電モード**」を反転表示します。

3 節電モード設定に移行



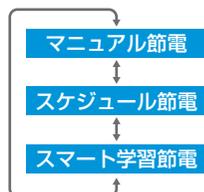
右ボタンを押し、「**選択**」します。

4 節電モードを選択



上下ボタンを押し、「**スケジュール節電**」を選択します。

- 上下ボタンを押すごとに「マニュアル節電」・「スケジュール節電」・「スマート学習節電」が切り換わります。



- 設定可能なモードのみ表示されます。
- 冷暖自動・ドライ運転時はスマート学習節電機能はご使用になれません。
- 各節電モードの詳細は次ページを参照してください。

5 設定を確定

右ボタンを押し、
設定を**確定**します。

これで設定完了です

6 有効 / 無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「**メニューの有効 / 無効設定**」(42 ページ)
を参照してください。

■最大出力を設定する

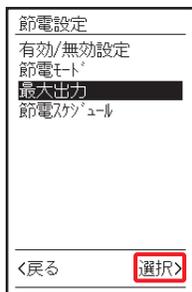
最大出力を40～100%の範囲(5%刻み)で設定できます。

※節電設定画面の表示のしかたは、「**■節電モードを設定する**」(82 ページ) 手順 **1** を参照してください。

- 最大出力 100%は定格時の出力となります。
実際には周囲環境の影響などにより定格値以上で運転する場合がありますため、100%で設定しても出力に制限がかかります。
制限をかけずに通常の運転を行いたい場合は、節電設定を無効にしてください。
- 機種によっては 40%、70%のみの対応となります。
- スマート学習節電時は、極端な能力低下をさけるため室内の温度がリモコン設定温度から大きく外れた場合、節電を一時的に解除します。最大出力 70 ~ 100% の範囲でのご使用をおすすめします。

例) 最大出力 70%に設定する

1 最大出力モードに移行



 右ボタンを押し、
選択します。

2 最大出力を変更

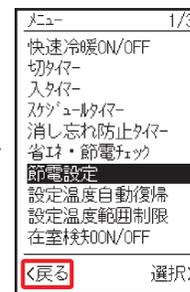


 
上下ボタンを押し、
「70%」 を選択します。

3 設定を確定



 右ボタンを押し、
確定します。
これで設定完了です



 基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押しします。

■節電スケジュールを設定する

曜日ごとに4件の節電スケジュールを登録できます。

※節電設定画面の表示のしかたは、
「**■節電モードを設定する**」
(82 ページ) 手順 **1** を参照して
ください。

●曜日ごとの時間スケジュールに
40 ~ 100%の範囲(5%刻み)で
最大出力 (%) を設定できます。
(スケジュール節電モード時)

例) 月曜日～金曜日

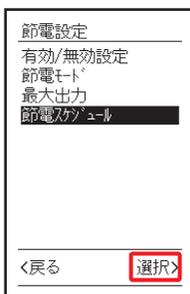
9:30 最大出力 90%
12:00 最大出力 OFF
13:00 最大出力 100%
17:30 最大出力 70%
に設定する

前日の設定をコピーする場合

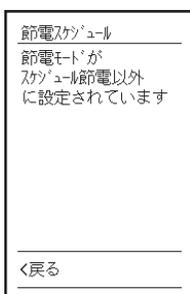


※前日の設定をコピーしたい場合は
曜日を選択後、右ボタンを3秒以上
長押しすると前日の内容がそのまま
コピーされます。

1 節電スケジュールに移行



右ボタンを押し、
選択します。



節電モードで、
スケジュール節電を
選択してください。
「**■節電モードを
設定する**」(82ページ)
を参照してください。

2 曜日を選択



右ボタンを押し、
選択します。

3 時間設定に移行



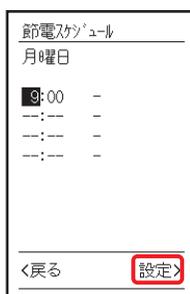
右ボタンを押し、
選択します。

4 時間を設定



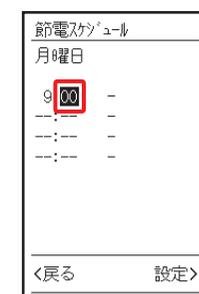
上下ボタンを押し、
「9」を選択します。

5 分設定に移行



右ボタンを押し、
設定します。

6 分を設定



上下ボタンを押し、
「30」を選択します。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

7 最大出力設定に移行



右ボタンを押し、
設定します。

8 最大出力を設定



上下ボタンを押し、
「90%」を選択します。

9 設定を確定



右ボタンを押し、
設定します。

10 次の設定に移行



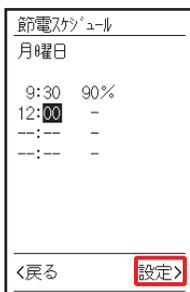
下ボタンを押し、
移動します。

11 時刻を設定



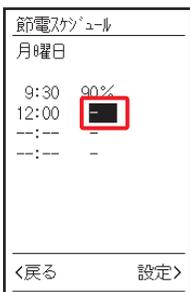
手順 3~7 に沿って、
時刻を「12:00」に
設定します。

12 最大出力設定に移行



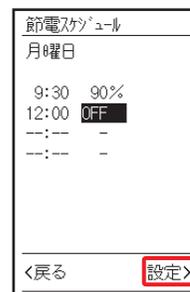
右ボタンを押し、
設定します。

13 最大出力を設定



下ボタンを押し、
「OFF」を選択します。

14 設定を確定



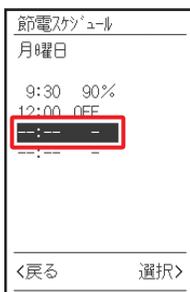
右ボタンを押し、
設定します。

15 次の設定に移行



下ボタンを押し、
移動します。

16 時刻を設定



手順 3~7 に沿って、
時刻を「13:00」に
設定します。

17 最大出力を設定



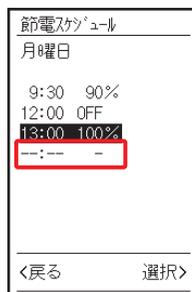
下ボタンを押し、
「100%」を
選択します。

18 設定を確定



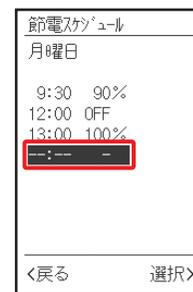
右ボタンを押し、
設定します。

19 次の設定に移行



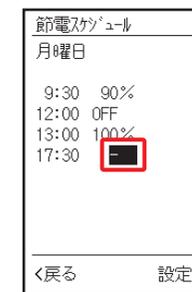
下ボタンを押し、
移動します。

20 時刻を設定



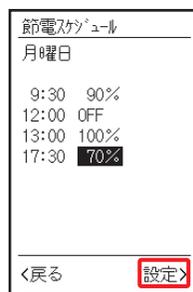
手順 **3~7** に沿って、
時刻を「17:30」に
設定します。

21 最大出力を設定



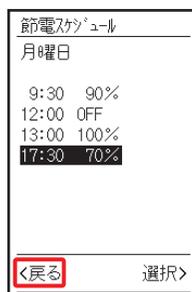
下ボタンを押し、
「70%」を
選択します。

22 設定を確定



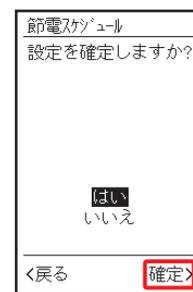
右ボタンを押し、
設定します。

23 設定の確定に移行



設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

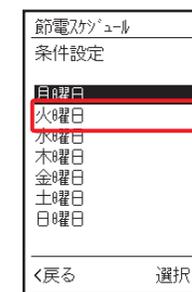
24 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です

25 曜日を設定



下ボタンを押し、
設定する曜日を
反転表示します。

26 ほかの曜日の設定



右ボタンを押し、
選択します。
手順 **3~24** に沿って
設定します。



その他の曜日も
同様の手順で設定して
ください。

27 基本画面に戻る



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

28 有効 / 無効の確認・変更

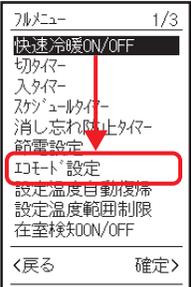
これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「**メニューの有効 / 無効設定**」(42 ページ)
を参照してください。

冷房、暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。
省エネ性の優先度合い(エコレベル)は、標準・弱から選択できます。

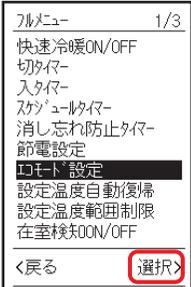
- 冷房時に湿度やニオイなどが気になる場合は、エコレベルを弱にするか、冷房のエコモード設定を無効にしてください。
暖房時に吹き出す風が寒く感じる場合は、エコレベルを弱にするか、暖房のエコモード設定を無効にしてください。
- エコモードを有効にするとECO、エコモードで運転中はECOが表示されます。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- (スカイエアのみ) 本機能を使用する際はニオイ抑制設定を無効にする必要があります。
設定方法は「[ニオイ抑制設定](#)」(104～105 ページ)を参照してください。

例) 冷房設定時
エコレベル設定を弱にする

1 エコモード設定を選択



上下ボタンを押し、「エコモード設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 設定項目を選択



右ボタンを押し、**選択**します。
暖房時設定の場合は、「暖房時設定」を選択してください。

3 エコレベル設定を選択



上下ボタンを押し、「有効/無効設定」を反転表示します。

エコレベル設定を選択



右ボタンを押し、**選択**します。

4 エコレベル設定を変更



上下ボタンを押し「弱」を選択します。

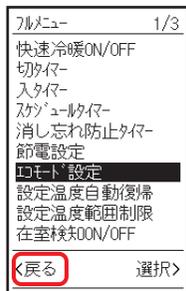
5 設定を確認



右ボタンを押し、**確認**します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

6 有効/無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「**メニューの有効/無効設定**」(42 ページ)
を参照してください。

エコレベル設定について

- エコレベル設定の切り換えにより、省エネ性の優先度合いを変更できます。

エコレベル設定

標準：室内ユニットの設定温度と室内温度から必要な能力を見張って省エネ性を優先した運転を行う設定です。

弱：標準設定での空調時に湿度が高く感じられる（冷房）、吹き出し温度が低い（暖房）など不快に感じられた場合は本設定としてください。
省エネ制御を弱めます。

リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。

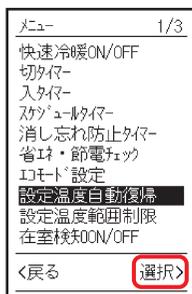
- 設定時間は 30 分単位で 30 ～ 120 分まで選択可能です。
(冷暖自動運転時は機能しません。)
- ※0.5℃設定時でも、設定温度は 1℃単位となります。

例) 冷房設定時
60 分後に 28℃に設定温度
自動復帰させる

1 設定温度自動復帰を選択



上下ボタンを押し、
「設定温度自動復帰」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 設定項目を選択



右ボタンを押し、
選択します。
暖房時設定の場合は、
「暖房時設定」を
選択してください。

3 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」を
反転表示します。

条件設定を選択



右ボタンを押し、
選択します。

4 復帰時間設定に移行



「復帰時間 30 分」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。

5 復帰時間を選択



上下ボタンを押し、
「60 分」を選択します。
復帰時間は、「30 分
60 分 90 分 120 分」
から選択できます。

6 選択画面に戻る

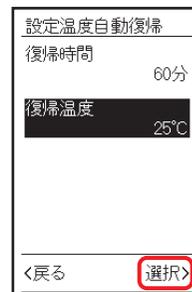


前の画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

7 復帰温度を選択



上下ボタンを押し、
「復帰温度 25°C」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

8 復帰温度を変更



上下ボタンを押し、
「28°C」を選択します。
復帰温度は、
冷房時：20°C～35°C
暖房時：15°C～30°C
から選択できます。

復帰温度を変更

- 室内ユニットの設定温度可能範囲と同じですが、機種によってはこれと異なる場合があります。
※親機の室内ユニットからの指定設定です。

9 選択画面に戻る



選択画面に**戻る**ため、
左ボタンを押します。

10 設定確定画面に移行



設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

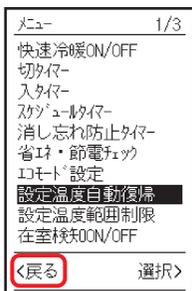
11 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

12 有効/無効の確認・変更

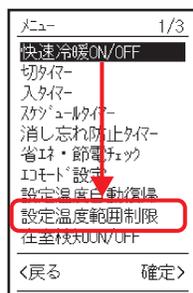
これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「[メニューの有効/無効設定](#)」(42 ページ)
を参照してください。

設定温度範囲を制限します。

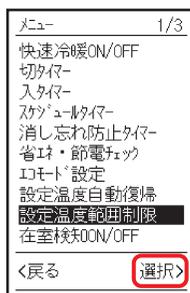
- 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
(冷暖自動運転時は機能しません。)
- ※ 0.5℃設定時でも、設定温度は 1℃単位となります。

例) 冷房温度範囲を
上限 30℃
下限 25℃
に設定する

1 設定温度範囲制限を選択



上下ボタンを押し、
「設定温度範囲制限」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

3 冷房上限設定に移行



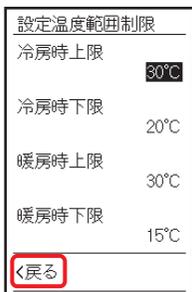
「冷房時上限 35℃」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。



上下ボタンを押し、
「30℃」を選択します。
上限温度は、
「20℃～35℃」の
間で選択できます。

- 設定できる温度範囲は、
以下のとおりです。
冷房時：下限 20℃ 上限 35℃
暖房時：下限 15℃ 上限 30℃
- 室内ユニットの設定温度可能範囲と
同じですが、機種によってはこれと
異なる場合があります。
※ 下限・上限とも親機の
室内ユニットからの指定設定です。

5 選択画面に戻る



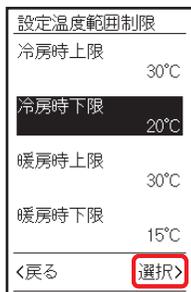
選択画面に**戻る**ため、
左ボタンを押します。

6 冷房時下限を選択



下ボタンを押し、
「冷房時下限 20°C」
を反転表示します。

7 冷房下限設定に移行



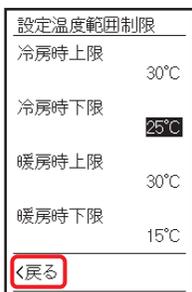
右ボタンを押し、
選択します。

8 冷房下限温度を変更



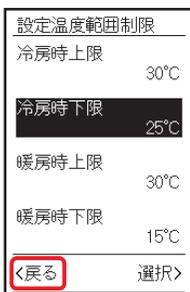
上下ボタンを押し、
「25°C」を選択します。
下限温度は、
「20°C～35°C」の
間で選択できます。

9 設定を完了



選択画面に**戻る**ため、
左ボタンを押します。
暖房時の温度範囲を
制限する場合は、
手順 **3～8** と同様に
設定します。

10 設定確定画面に移行



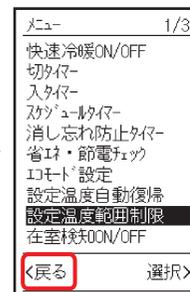
設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

11 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

12 有効/無効の確認・変更

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、
有効・無効の状態がわからなくなった場合は
「[メニューの有効 / 無効設定](#)」(42 ページ)
を参照してください。

■在室検知ON/OFF について

人のいる・いないを検知して、自動で運転の停止または復帰を行います。

「不在時 OFF のみ」・「不在時 OFF ・ 在室時 ON」 のどちらかの機能を選択できます。
どちらの機能も、不在を検知する時間は、30・60・90・120・150・180 分から選択できます。

※機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。

※本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログなどをご覧ください。

※サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。

不在時 OFF のみ …人の不在を検知して、自動で運転停止します。

- 不在を検知して運転停止すると、運転ランプは消灯し、システム全体が停止します。
- 運転を再開したい場合は、運転 / 停止ボタンを押してください。
- グループ制御時は設定できません。（※1）

不在時 OFF ・ 在室時 ON …人の不在を検知して運転停止し、その後、在室を検知すると自動で運転を開始します。

- 不在を検知して運転停止したあとも、運転ランプは点灯し、運転待機状態となります。
- 待機電力低減機能は働きません。
- タイマー設定や運転 / 停止ボタンを押してシステム全体を停止させた場合、本機能は働きません。
- 機械保護のため、運転待機状態の室内ユニットが運転することがあります。
- グループ接続時も設定が可能です。
グループ接続の場合、不在時 OFF ・ 在室時 ON の制御は個々の室内ユニットで行います。

※1 室内ユニットが 1 台、または同時運転マルチが 1 システムのみの場合は、全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットとのグループ接続が可能です。

■在室検知ON/OFF を設定する

人のいる・いないを検知して、自動で運転の停止または復帰を行います。

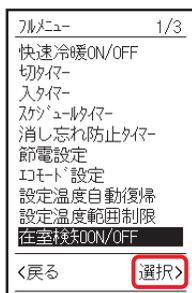
例) 下記の設定にする

- 不在時 60分後に運転 OFF
- 在室時 運転 ON

1 在室検知 ON/OFF を選択

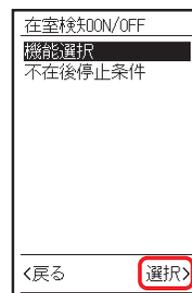


上下ボタンを押し、
「在室検知 ON/OFF」
を反転表示します。



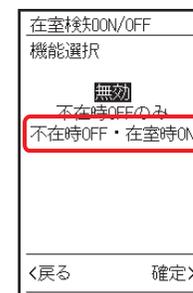
右ボタンを押し、
選択します。

2 機能選択を選択



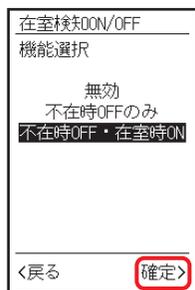
「機能選択」が
反転表示した状態で
右ボタンを押し、
選択します。

3 不在時 OFF・在室時 ON を選択



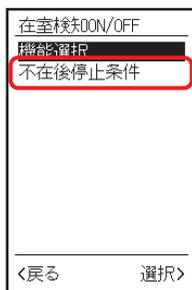
上下ボタンを押し、
「不在時 OFF・
在室時 ON」を
反転表示します。

4 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

5 不在後停止条件を選択



上下ボタンを押し、
「不在後停止条件」を
反転表示します。



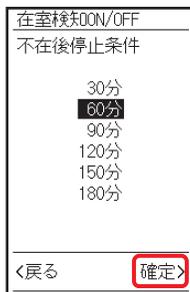
右ボタンを押し、
選択します。

6 不在後停止条件を設定



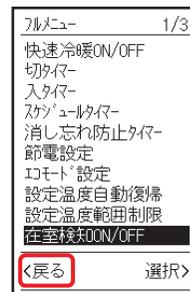
上下ボタンを押し、
「60分」を反転表示
します。

7 設定を確認



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

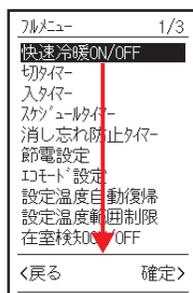
人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で空調目標温度を変化させて能力を制限した運転を行います。

人を検知すると通常の設定温度に戻します。

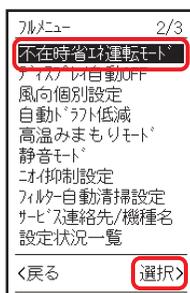
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- 本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログなどをご覧ください。
- サーバルームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。
- グループ制御時は本機能はご使用になれません。

例) 不在時省エネ運転モードを有効にする

1 不在時省エネ運転モードを選択



上下ボタンを押し、「不在時省エネ運転モード」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 有効/無効設定



上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

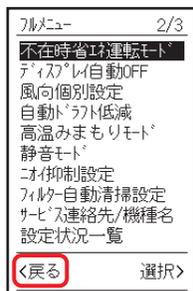
3 設定を確認



右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

設定を確認



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

運転停止中にシステムの待機電力を低減することができます。

- メニューリストから設定の有効 / 無効が選択できます。
本機能がないシステムについては表示されません。
- グループ制御時は本機能はご使用になれません。
- 待機電力低減機能は、対応可能な室内ユニットと室外ユニットの組合わせで動作します。
対応可能機種につきましては、お買い上げの販売店にお問合わせください。
- 機器保護のため電源投入後6時間および圧縮機予熱中は待機電力機能に入りません。
- 待機電力低減機能を有効にするためには、リモコンの設定と室外ユニットの設定が必要です。
「[！待機電力設定確認](#)」(99 ページ)

例) 待機電力低減を有効にする

1 待機電力低減を選択

上下ボタンを押し、「待機電力低減」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 有効/無効の選択

上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

右ボタンを押し、**確定**します。

これで設定完了です

設定を確認

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

リモコンの設定と室外ユニットの設定が必要です。

室外ユニットが設定されていない場合は、基本画面で「待機電力 未設定」を表示します。

基本画面のメッセージ



基本画面に「待機電力 未設定」の表示がある場合は、待機電力低減機能が使用できません。

例) 基本画面より「待機電力 未設定」の表示を消す

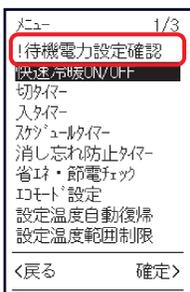
待機電力低減機能を使用する場合

- 販売店にご連絡のうえ、この表示が出ていることをお知らせください。

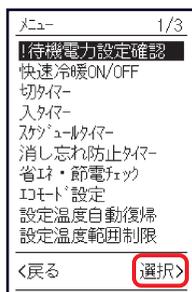
待機電力低減機能を使用しない場合

- 次の手順で表示を消すことができます。これにより基本画面の表示が消えます。
- メニュー画面から「！待機電力設定確認」「待機電力低減」が消えます。

1 ! 待機電力設定確認を選択

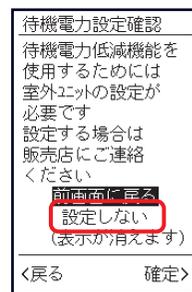


上下ボタンを押し、「！待機電力設定確認」を反転表示します。



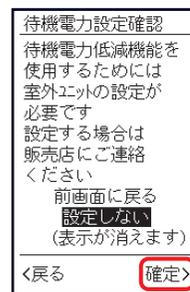
右ボタンを押し、選択します。

2 設定しないを選択



上下ボタンを押し、「設定しない」を反転表示します。

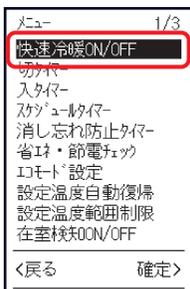
3 設定を確定



右ボタンを押し、設定を確定します。設定を確定すると次回より変更ができなくなります。

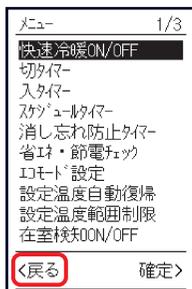
これで設定完了です

設定を確定

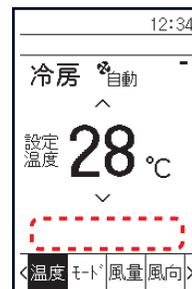


メニューから「！待機電力設定確認」の表示が消えます。

4 設定の確認



基本画面に戻るため、左ボタンを押します。



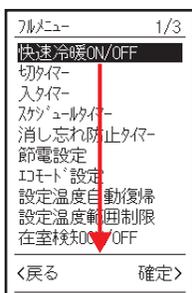
基本画面から「待機電力 未設定」の表示が消えます。

運転停止中にリモコンの液晶表示を消すことができます。

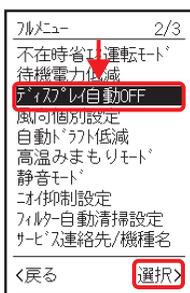
- いずれかのボタンを押すと再表示します。
 - ※「10分」・「30分」・「60分」・「OFF」を選択できます。
工場出荷時は OFF です。
 - ※運転停止中でも換気運転を行っているときはリモコンの液晶は消えません。

例) 60分後にリモコンの液晶を
自動でOFFさせる

1 ディスプレイ自動OFFを選択する

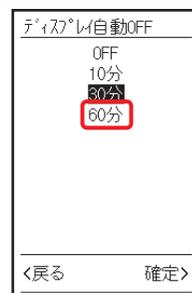


上下ボタンを押し、
「ディスプレイ
自動 OFF」を
反転表示します。



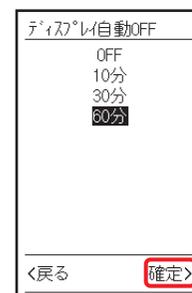
右ボタンを押し、
選択します。

2 時間を選択



上下ボタンを押し、
「60分」を
反転表示します。

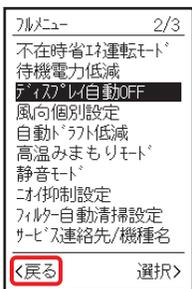
3 設定を確認



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

これで設定完了です

設定を確認



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

メニュー操作

制御機能

ローテーション運転	102
ニオイ抑制設定	104
内部クリーン運転	106
内部クリーンモード設定	107
夜間みまもり設定	108
キーロック	111
パスワード付きキーロック	112

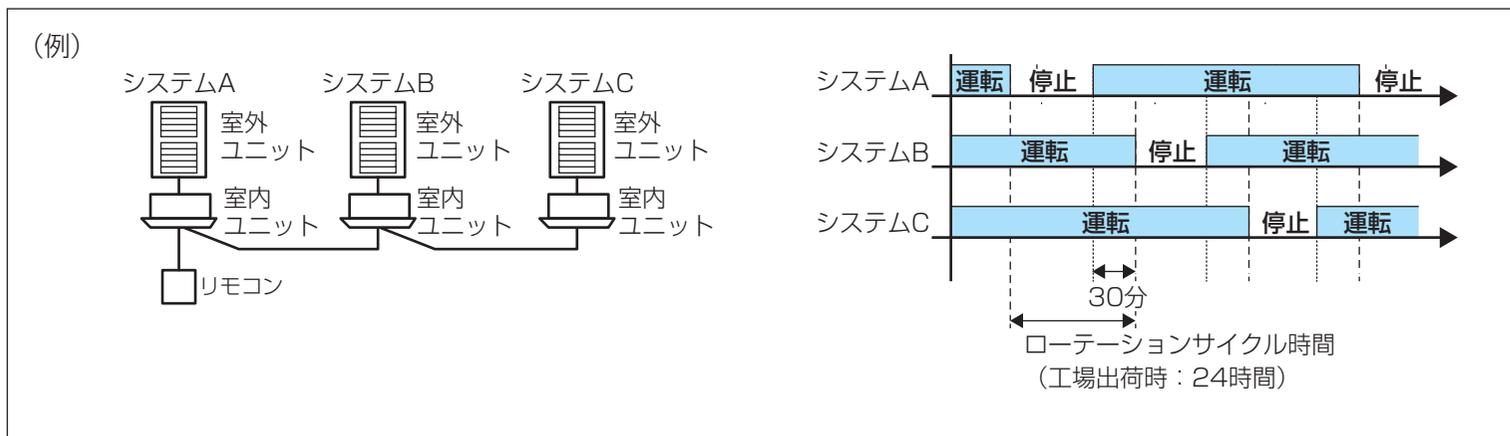
ローテーション運転について

エアコンの運転時間が偏らないように制御します。

グループ制御時に、リモコンで設定したローテーションサイクルの周期で、1システムのユニットを順に停止(*)させることで、運転時間の偏りを低減します。適切な負荷選定を行ったうえでご使用ください。

※システム上は運転状態で、ファンと圧縮機を停止します。

- ローテーションサイクル時間は、「12時間」・「24時間」・「48時間」・「72時間」・「96時間」から選択できます。
- グループ内のユニットが異常で停止した場合、ローテーション中のユニットの運転を開始して、異常停止したユニットの能力を補います。
- 機械保護のため、停止している室内ユニットが運転することがあります。
- 運転状態を安定させてローテーションの切り換えを行うため設定した停止時間より30分早く運転を始めます。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- 全熱交換器ユニットが接続されている場合は、本機能を設定できません。
- グループ内の室内ユニットがすべて本機能に対応している場合のみ設定可能です。

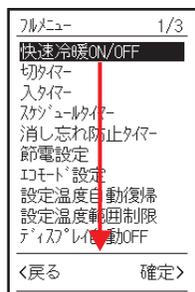


■ローテーション運転を設定する

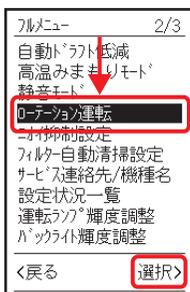
エアコンの運転時間が偏らないように制御します。

例) 12時間置きに
ローテーション運転を設定する

1 ローテーション運転を選択

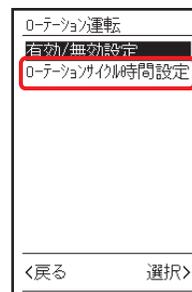


上下ボタンを押し、「ローテーション運転」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 ローテーションサイクル時間設定を選択

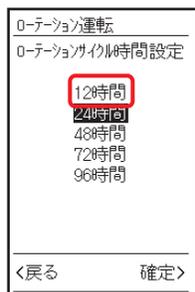


上下ボタンを押し、「ローテーションサイクル時間設定」を反転表示します。

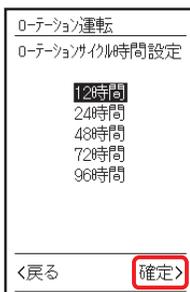


右ボタンを押し、**選択**します。

3 時間を選択



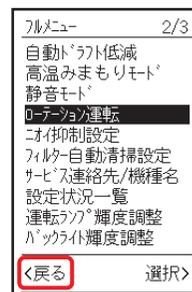
上下ボタンを押し、「12時間」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

これで設定完了です

5 有効/無効の確認・変更



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

これで設定は有効になります。
設定内容を残したまま無効にする場合や、有効・無効の状態がわからなくなった場合は「メニューの有効/無効設定」(42ページ)を参照してください。

冷房時、室温が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。

- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- サーバルームなど人のいない環境で使用される場合、設定温度に至らない可能性がありますので、ご注意ください。

例) ニオイ抑制設定を「設定2」にする

対象機種

- 本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

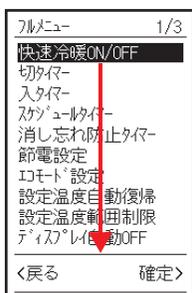
複数台接続

- スカイエア
・同時運転マルチで対象機種以外の室内ユニットが接続されている場合、本機能を設定しないでください。
- グループ接続時（スカイエア、ビル用マルチ共用）
・対象機種以外の室内ユニットが1台でも接続されている場合、本機能を設定しないでください。

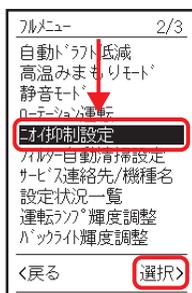


●本機能に対応していない室内ユニットには設定しない元の設定に戻らなくなります。

1 ニオイ抑制設定を選択

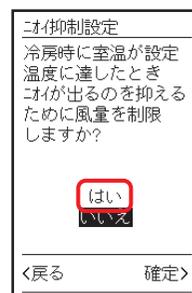


上下ボタンを押し、「ニオイ抑制設定」を反転表示します。

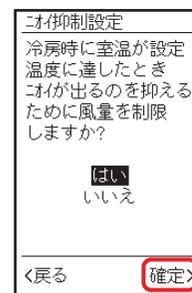


右ボタンを押し、選択します。

2 「はい」を選択

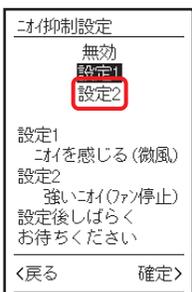


上下ボタンを押し、「はい」を反転表示します。



右ボタンを押し、確定します。

3 設定項目を選択



上下ボタンを押し、「設定2」を反転表示します。

無効

ニオイ抑制設定を解除します。（風量、風向をリモコン設定に戻します。）

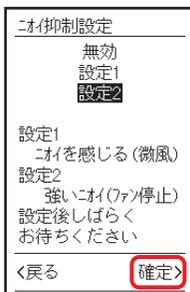
設定1

においを感じるときに設定します。（冷房時、室温が設定温度に達したとき、風量を微風、風向を水平吹出しにする場合があります。）

設定2

強いにおいを感じるときに設定します。（冷房時、室温が設定温度に達したとき、ファンを停止する場合があります。）
※冷房時：ファン停止中、気流の影響で冷えないと感じる場合があります。
暖房時：床温度センサーが効かなくなるため、暖まりにくくなる場合があります。

4 設定項目を確定



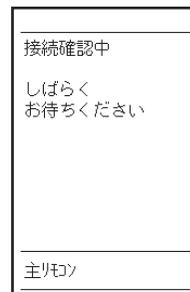
右ボタンを押し、
確定します。

5 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上
ボタンを押し「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です



画面表示が
**「しばらくお待ち
ください」**に
切り換わります。
しばらくすると、
基本画面に戻ります。

冷房・除湿冷房(またはドライ)運転停止後に自動で室内ユニット内部を清潔に保つ運転を行います。

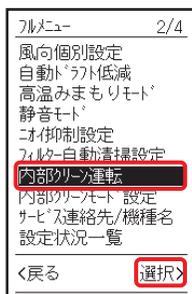
- 本機能の有無や有効にした時の働きは機種によって異なります。詳細についてはカタログをご覧ください。
- 冷房・除湿冷房(またはドライ)運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部(熱交換器)の乾燥、または洗浄と乾燥を行います。ストリーマユニットが接続されている場合は、あわせてストリーマ放電を行います。本機能動作中はリモコンの運転ランプは消えますが、基本画面に「内部クリーン中」が表示されます。運転ボタンを押すと運転ランプが緑色に点灯し内部クリーン運転は解除されます。
 - ・本機能動作中は風が当たる場合があります。
 - ・本機能動作中は室温が上昇または低下する場合があります。
 - ・本機能は、付着したホコリを完全に除去する機能ではありません。
 - ・室内ユニット内部のカビの成長を抑制させることが期待できますが、除去する機能ではありません。
 - ・数時間(最大10時間)後、自動で内部クリーン運転を停止します。(機種や運転状況によって時間は異なります。)
 - ・本機能動作後の冷房運転開始時に室内から大きな音が鳴る場合があります。

例) 内部クリーン運転を有効にする

1 内部クリーン運転を選択



上下ボタンを押し、「内部クリーン運転」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 有効を選択



上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

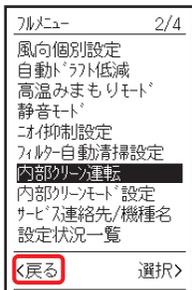
3 設定を確定



右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

4 設定の確認



運転停止後、しばらくすると基本画面に「内部クリーン中」が表示されます。

内部クリーン運転モードを「送風モード」・「冷暖モード」から選んで設定することができます。

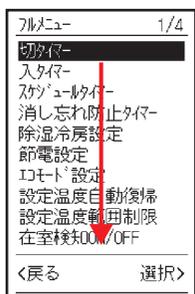
ストリーマユニット接続時のみモード設定の変更が可能です。

接続が可能な機種に関してはカタログをご覧ください。

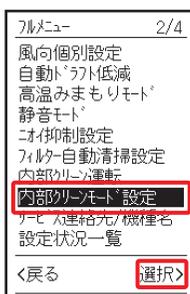
- 「送風モード」では冷房・除湿冷房（またはドライ）運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部（熱交換器）の乾燥を行います。
- 「冷暖モード」では冷房・除湿冷房（またはドライ）運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部（熱交換器）の洗浄と乾燥を行います。

例) 内部クリーンモード設定を
冷暖モードに切り換える

1 内部クリーンモード設定を選択

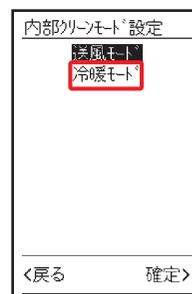


上下ボタンを押し、「内部クリーンモード設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 冷暖モードを選択



上下ボタンを押し、「冷暖モード」を反転表示します。

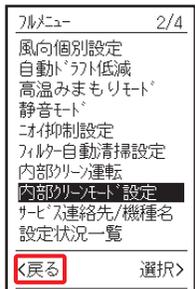
3 設定を確定



右ボタンを押し、設定を**確定**します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

夜間や消灯時にライトを点灯させたりブザーを鳴らすことができます。

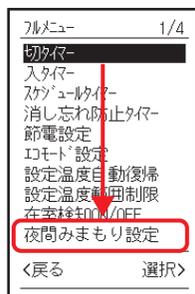
- 機種によっては本機能のないものがあります。
本機能は夜間みまもりキット（別売品）を接続した場合に有効にできます。
本機能の有無については、カタログをご覧ください。

人検知ライト 暗いときに人が通るとライトが点灯します。（約1分間）

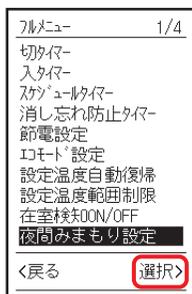
人検知ライト・ブザー 時間帯設定で設定した時間になると暗くて人がいた場合にライトが点灯しブザーが鳴ります。（約1分間）
暗くて人がいない状態が数分間継続するまでブザーは鳴りません。
時計設定が必要です。「**時計設定**」（123 ページ）を参照してください。
開始～終了時刻を30分単位で設定することができます。

例) 人検知ライト・ブザーを
23:00～6:30の間に
設定する

1 夜間みまもり設定を選択



上下ボタンを押し、
「夜間みまもり設定」
を反転表示します。



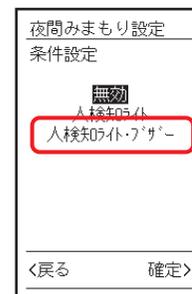
右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



「条件設定」が
反転表示した状態で
右ボタンを押し、
選択します。

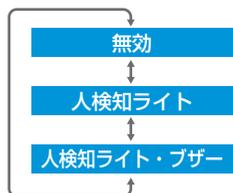
3 設定項目を選択



上下ボタンを押し、
「人検知ライト・ブザー」
を反転表示します。

設定項目を選択

- 上下ボタンを押すごとに
「無効」・「人検知ライト」・
「人検知ライト・ブザー」が切り換わります。



4 設定を確認

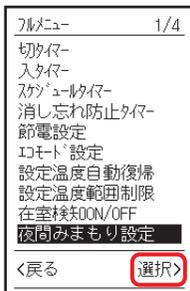


右ボタンを押し、
確認します。

これで設定完了です

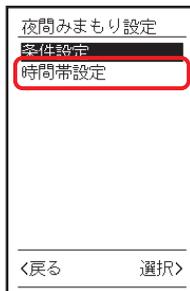
「人検知ライト・ブザー」を設定する場合は、
続いて時間帯設定が必要です。
「夜間みまもり設定」が反転した状態で、
右ボタンを押し、選択します。
※「人検知ライト」の場合は、
時間帯設定は必要ありません。
左ボタンを押して基本画面に戻ります。

設定を確定



右ボタンを押し、
選択します。

5 時間帯設定を選択



上下ボタンを押し、
「時間帯設定」を選択
します。



右ボタンを押し、
選択します。

ご注意

「人検知ライト・ブザー」が
設定されていない
場合は、右記の画面が
表示されます。
左ボタンを押し
て前画面に戻り、
手順 2～4 に沿って、
「人検知ライト・ブザー」を
設定してください。

夜間みまもり設定
条件設定が
人検知ライト・ブザー以外
に設定されています

戻る

6 開始時間を選択



「開始時間 22:00」が
反転表示した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。

7 開始時間を設定



上下ボタンを押し、
「23:00」を
選択します。

8 選択画面に戻る



選択画面に戻るため、
左ボタンを押します。

9 終了時間を選択



上下ボタンを押し、
「終了時間 6:00」
を反転表示します。

終了時間を選択



右ボタンを押し、
選択します。

10 終了時間を設定



上下ボタンを押し、
「6:30」を
選択します。

11 選択画面に戻る



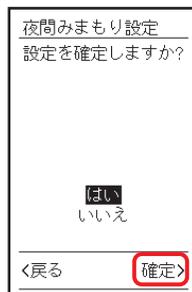
選択画面に戻るため、
左ボタンを押します。

12 設定確定画面に移行



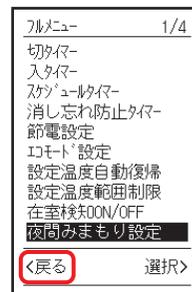
設定を確定する、
または、取り消すには、
左ボタンを押します。

13 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

14 設定を無効にする場合

これで設定は有効になります。
設定を無効にする場合は、手順 **2** の
「条件設定」で「無効」を選択してください。

誤操作を防止することができます。

例) キーロックを設定する

1 キーロックを設定



インフォメーション画面を表示し、左ボタンを3秒長押しします。



キーロックが設定され、基本画面に戻ります。



キー操作を行うと「ロック中:<長押し」と表示され、キー操作はすべて無効になります。

例) キーロックを解除する

1 キーロックを解除



基本画面で左ボタンを3秒長押しします。



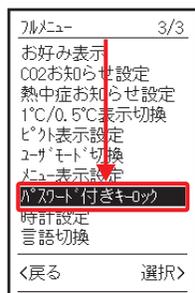
「ロック解除しました」と表示され、キーロックが解除されます。

キーロックにパスワードを設定して、いたずら操作を防止することができます。「全禁止」・「運転停止のみ」の2通りのキーロックを設定できます。
※ただし、ホテルモード、かんたんモードではパスワード付きキーロック設定はできません。

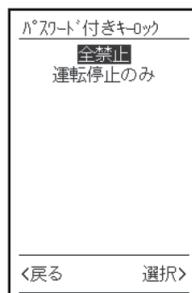
例) パスワード付きキーロックを設定する

- 全禁止：全てのボタン（運転ボタン・上ボタン・下ボタン・左ボタン・右ボタン）の操作が無効となります。
- 運転停止のみ：運転ボタンのみ操作が可能となります。

1 パスワード付きキーロックを選択

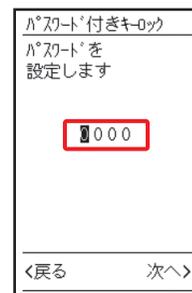


上下ボタンを押し、「パスワード付きキーロック」を反転表示します。



上下ボタンを押し、「全禁止」・「運転停止のみ」のうちご希望のキーロックを選択します。

2 パスワードを設定



パスワードを設定します。



選択したキーロックが設定され、基本画面に戻ります。

例) パスワード付きキーロックを解除する

- キーロックを解除後、再度パスワード付きキーロック設定を行う場合、「フルメニュー」から再設定をしてください。
- パスワードは忘れないように必ずメモなどに控えるようにしてください。万が一、パスワードを忘れてしまった場合は、「サービス連絡先」またはコンタクトセンターにご連絡ください。

1 パスワード付きキーロックを解除



基本画面で左右ボタンを3秒長押しします。



パスワードを入力します。



キーロックが解除されます。

メニュー操作

換気・調湿(エアコンと連動接続)

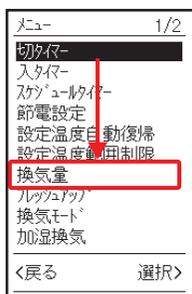
換気量	114
フレッシュアップ	115
換気モード	116
加湿換気	117
調湿モード	118
加湿/給気モード切換	119
加湿/給気設定	120

(エアコンと全熱交換器ユニット(外気処理タイプ含む)もしくは調湿外気処理ユニットを連動させている場合)

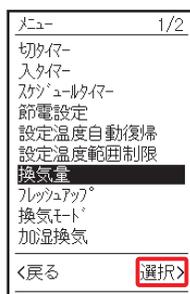
※画面表示は接続機種や組み合わせによって異なります。

例) 換気量を強にする

1 換気量を選択



上下ボタンを押し、
「換気量」を
反転表示します。



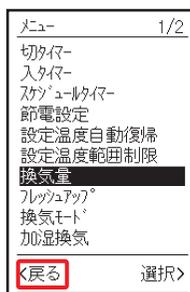
右ボタンを押し、
選択します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

2 換気量を変更



上下ボタンを押し、
換気量を「強」に
変更します。



●上下ボタンを
押しごとに換気量が
切り換わります。

風量について

- 自動は CO₂ センサー (別売品) を接続した場合のみ選択可能となります。
- 接続機種によって換気量の切り換え段数が異なります。

(エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合)

- 室内への給気量と室外への排気量は通常は同风量ですが、対応機種ではフレッシュアップを設定することにより給気量と排気量に差をつけることができます。
フレッシュアップを設定することにより、室内への臭気や湿気の流入を抑えたり、室内で発生した臭気や湿気が流出することを防ぐのに効果的な運転ができます。
対応機種の確認や設定は販売店へお問い合わせください。

例) フレッシュアップを有効にする

1 フレッシュアップを選択

メニュー 1/4
 快速冷暖ON/OFF
 切タイマー
 入タイマー
 スケジュールタイマー
 消し忘れ防止タイマー
 除湿冷房設定
 節電設定
 エコモード設定
 設定温度自動復帰
 設定温度制限

上下ボタンを押し、「フレッシュアップ」を反転表示します。

メニュー 2/4
 在宅検知ON/OFF
 夜間みまもり設定
 ディスプレイ自動OFF
 換気量
フレッシュアップ*
 風向範囲切換
 風向個別設定
 自動風あて・風よけ
 高暖房モード
 高温みまもりモード

右ボタンを押し、選択します。

2 有効を選択

フレッシュアップ*
 有効/無効設定

上下ボタンを押し、「有効」を反転表示します。

フレッシュアップ*
 有効/無効設定

右ボタンを押し、確認します。

これで設定完了です

有効を選択

メニュー 2/4
 在宅検知ON/OFF
 夜間みまもり設定
 ディスプレイ自動OFF
 換気量
フレッシュアップ*
 風向範囲切換
 風向個別設定
 自動風あて・風よけ
 高暖房モード
 高温みまもりモード

基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

戻る 選択

(エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合)

換気モードについて

自動換気：エアコンからの情報（冷房・暖房・送風および設定温度）と全熱交換器ユニットの情報（室内・室外温度）により「全熱換気」・「普通換気」の自動切換運転をします。

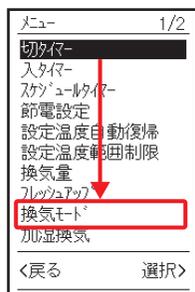
全熱換気：外気は熱交換されて室内に供給されます。

普通換気：外気は熱交換されずに室内に供給されます。

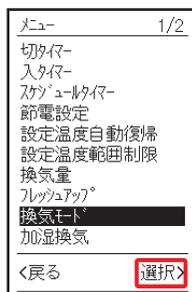
※設定できない換気モードは表示されません。

例) 全熱換気に設定する

1 換気モードを選択

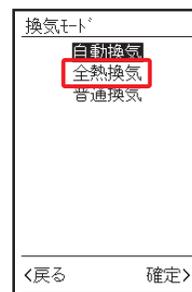


上下ボタンを押し、「換気モード」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 換気モードを変更



上下ボタンを押し、「全熱換気」を反転表示します。

● ボタンを押すごとに変わります。

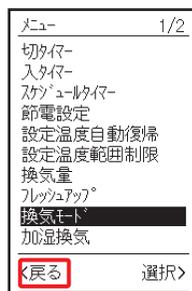


3 設定を確定



右ボタンを押し、設定を確定します。設定が有効になります。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

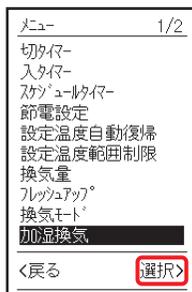
(エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合)

例) 加湿換気を有効にする

1 加湿換気を選択



上下ボタンを押し、
「加湿換気」を
反転表示します。



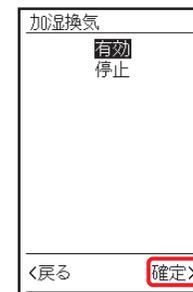
右ボタンを押し、
選択します。

2 有効を選択



上下ボタンを押し、
「有効」を反転表示
します。

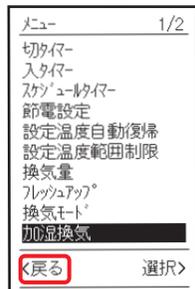
3 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

これで設定完了です

設定を確定



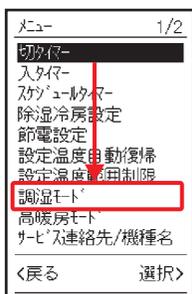
基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

(エアコンと調湿外気処理ユニットを連動させている場合)

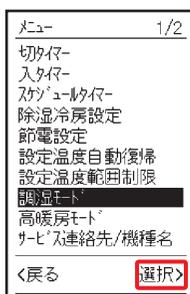
- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
- 機械保護のため、表示された調湿モード以外の運転をしたり停止したりする場合があります。

例) 調湿モードを除湿にする

1 調湿モードを選択



上下ボタンを押し、「調湿モード」を反転表示します。



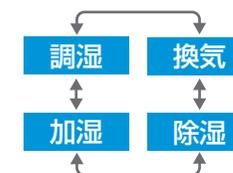
右ボタンを押し、**選択**します。

2 調湿モードを変更



上下ボタンを押し、「除湿」を反転表示します。

● ボタンを押すごとに変わります。

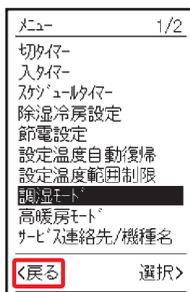


3 設定を確認



右ボタンを押し、**確定**します。設定が有効になります。

これで設定完了です



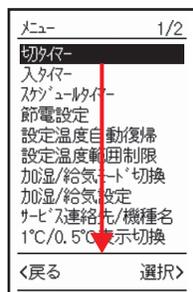
基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

(エアコンと無給水加湿ユニットを連動させている場合)

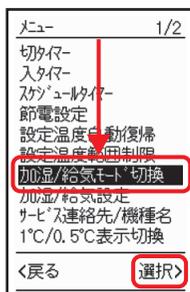
● 運転モードを「加湿」・「給気」から選んで設定します。

例) 給気を設定する

1 加湿/給気モード切替を選択

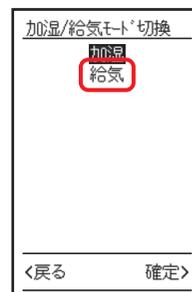


上下ボタンを押し、「加湿/給気モード切替」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 給気を選択



上下ボタンを押し、「給気」を反転表示します。

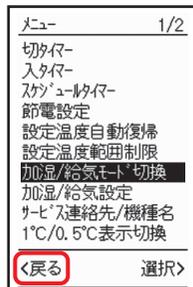
3 設定を確定



右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

(エアコンと無給水加湿ユニットを連動させている場合)

- 加湿の設定湿度を「高」・「標準」・「低」から選んで設定します。
- 湿度設定は、運転モード加湿時の湿度設定を行います。
(給気モード時にも設定のみは可能です。)

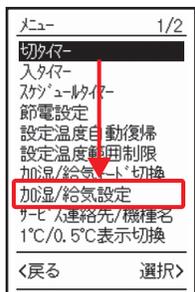
高 とにかく加湿をしたい場合にお使いください。(最大室内湿度60%)

標準 標準の設定です。

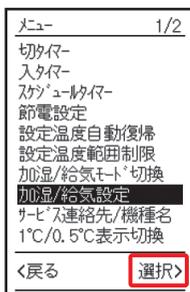
低 必要最低限の加湿を行います。

例) 加湿の湿度設定を低にする

1 加湿 / 給気設定を選択



上下ボタンを押し、「加湿 / 給気設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 湿度設定を選択

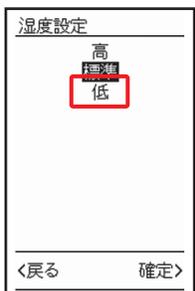


上下ボタンを押し、「湿度設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

3 低を選択



上下ボタンを押し、「低」を反転表示します。

●ボタンを押すごとに変わります。



4 設定を確定



右ボタンを押し、設定を確定します。

これで設定完了です



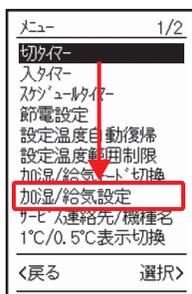
基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

(エアコンと無給水加湿ユニットを連動させている場合)

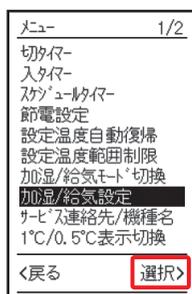
- 加湿および給気の設定風量を「強」・「弱」から選んで設定します。
- 風量設定は、運転モード加湿時、給気時の風量設定を行います。

例) 加湿の風量設定を弱にする

1 加湿 / 給気設定を選択

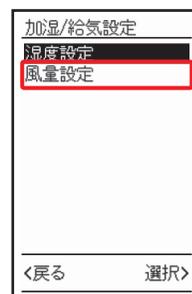


上下ボタンを押し、「加湿 / 給気設定」を反転表示します。

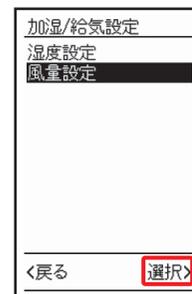


右ボタンを押し、**選択**します。

2 風量設定を選択

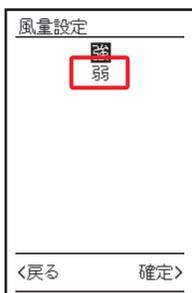


上下ボタンを押し、「風量設定」を反転表示します。



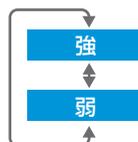
右ボタンを押し、**選択**します。

3 弱を選択

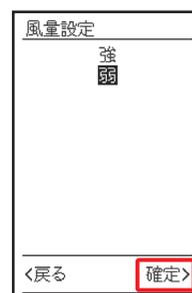


上下ボタンを押し、「弱」を反転表示します。

●ボタンを押すごとに変わります。

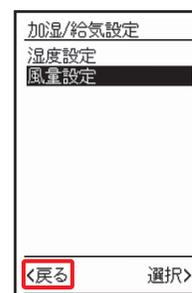


4 設定を確定



右ボタンを押し、設定を**確定**します。

これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

メニュー操作

初期設定

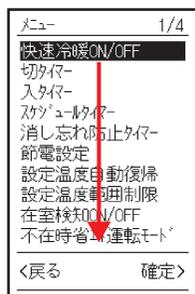
時計設定	123
サービス連絡先/機種名	126
設定状況一覧	127
言語切換	128
1℃/0.5℃表示切換	129
ピクト表示設定	130
メニュー表示設定	131
お好み表示	132
CO ₂ お知らせ設定	134
熱中症お知らせ設定	137
ユーザモード切換	139
コントラスト調整	143
運転ランプ輝度調整	144
バックライト輝度調整	145

日付・時刻の設定および修正を行います。

- 時刻は 24 時間表示です。
- 時計精度は ±30 秒 / 月以内です。
- 48 時間以内の停電の場合、内蔵のバックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。
48 時間を超える停電の場合、再設定が必要です。

例) 2022 年 4 月 15 日
15:30 に設定する

1 時計設定を選択



上下ボタンを押し、
「時計設定」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 西暦設定に移行



右ボタンを押し、
選択します。

3 西暦を変更



上下ボタンを押し、
「2022」を
選択します。

4 西暦を確定



選択画面に戻るため、
左ボタンを押します。

5 月を選択



上下ボタンを押し、
「月 1」を反転表示
します。

6 月の設定に移行



右ボタンを押し、
選択します。

7 月を変更

時計設定	
年	2022
月	1
日	1
時刻	土曜日 0:00
<戻る	



上下ボタンを押し、「4」を選択します。

8 月を確定

時計設定	
年	2022
月	4
日	1
時刻	金曜日 0:00
<戻る	



選択画面に戻るため、左ボタンを押します。

9 日を選択

時計設定	
年	2022
月	4
日	1
時刻	金曜日 0:00
<戻る	選択>



上下ボタンを押し、「日 1」を反転表示します。

10 日の設定に移行

時計設定	
年	2022
月	4
日	1
時刻	金曜日 0:00
<戻る	選択>



右ボタンを押し、選択します。

11 日を変更

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	金曜日 0:00
<戻る	



上下ボタンを押し、「15」を選択します。

12 日を確定

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	金曜日 0:00
<戻る	



選択画面に戻るため、左ボタンを押します。

13 時刻を選択

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	0:00
<戻る	選択>



上下ボタンを押し、「時刻 0:00」を反転表示します。

14 時刻の設定に移行

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	0:00
<戻る	選択>



右ボタンを押し、選択します。

15 時間を変更

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	0:00
<戻る	次へ>



上下ボタンを押し、「15」を選択します。

16 分の設定に移行

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	15:00
<戻る	次へ>



右ボタンを押し、分の設定に移動します。

17 分を変更

時計設定	
年	2022
月	4
日	15
時刻	15:00
<戻る	次へ>



上下ボタンを押し、「30」を選択します。

18 分を変更



右ボタンを押し、
次へ移行します。

19 設定確定画面に移行



設定を確定する、
または取り消すには、
左ボタンを押します。

20 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下
ボタンを押して「いいえ」を反転
表示し、右ボタンで確定します。

これで設定完了です



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

サービス連絡先と機種名を表示します。

- 画面右上に R32 アイコンが表示されることがあります。
(接続中のシステムがすべて R32 冷媒対応機種の場合に表示されます。それ以外は表示されません。)

1 サービス連絡先 / 機種名を選択

メニュー 1/3

- 急速冷暖ON/OFF
- 切タイマー
- 入タイマー
- スケジュールタイマー
- 消し忘れ防止タイマー
- 省エネ・節電チェック
- 節電設定
- 設定温度自動復帰
- 設定温度範囲制限
- 在室検知ON/OFF

上下ボタンを押し、「サービス連絡先 / 機種名」を反転表示します。

メニュー 2/3

- 不在時省エネ運転モード
- ディスプレイ自動OFF
- 風向個別設定
- 自動トランス低温減
- 高温みまもりモード
- 静音モード
- ニオイ抑制設定
- フィルタ自動清掃設定
- サービス連絡先/機種名
- 設定状況一覧

右ボタンを押し、選択します。

2 サービス連絡先と機種名を確認

サービス連絡先/機種名

- レナウサキメイト
- 0123-45-6789
- コンタクトセンター
- 0120-88-1081
- 室内ユニット FHCP140FC
- 室外ユニット RSRP140BY

上部にサービス連絡先の電話番号が表示されます。
(登録されていなければコンタクトセンターのみが表示されます。)

下部に親機の室内ユニットと室外ユニットの機種名が表示されます。
(機種によっては機種コードが表示される場合があります。)

※修理などでプリント基板を交換した場合は機種名が表示されません。

3 基本画面に戻る

サービス連絡先/機種名

- レナウサキメイト
- 0123-45-6789
- コンタクトセンター
- 0120-88-1081
- 室内ユニット FHCP140FC
- 室外ユニット RSRP140BY

基本画面に戻るため、左ボタンを押します。

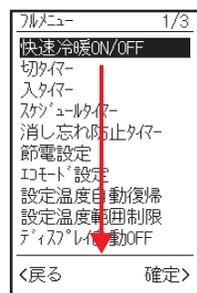
設定可能な項目の設定状況一覧を表示します。

■表示される設定項目

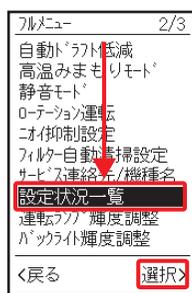
サーキュレーション気流	切タイマー	エコモード設定	不在時省エネ運転モード	静音モード
換気量	入タイマー	待機電力低減	自動ドラフト低減	フィルター自動清掃
換気モード	スケジュールタイマー	ディスプレイ自動OFF	自動風あて・風よけ	夜間みまもり設定
フレッシュアップ	消し忘れ防止タイマー	設定温度自動復帰	高温みまもりモード	高暖房モード
加湿換気	節電モード	設定温度範囲制限	ローテーション運転	内部クリーン運転
調湿モード	節電モード状態	在室検知ON/OFF	快速冷暖ON/OFF	

※機種によっては表示項目が異なります。設定可能項目のみ表示されます。

1 設定状況一覧を選択

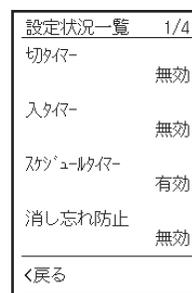


上下ボタンを押し、
「設定状況一覧」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 設定を確認

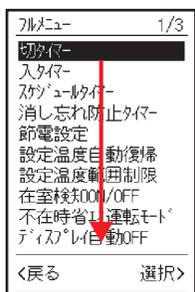


上下ボタンを押し、
各設定を表示します。

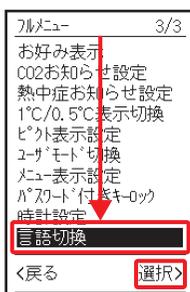
リモコンの表示言語(日本語・英語・中国語)を切り換えます。

例) 日本語表示を英語表示に
切り換える

1 言語切換を選択



上下ボタンを押し、
「言語切換」を
反転表示します。



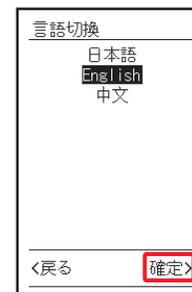
右ボタンを押し、
選択します。

2 表示言語を選択



上下ボタンを押し、
「English」を
反転表示します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、
設定を確定します。

これで設定完了です

設定を確定



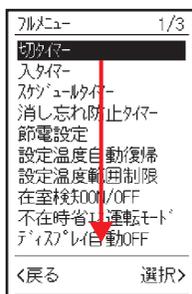
基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

設定温度の表示を「1°C」・「0.5°C」に切り換えることができます。

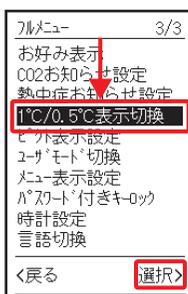
- かんたんモードは「0.5°C」に表示を切り換えることができません。
- スケジュールタイマー、設定温度範囲制限、設定温度自動復帰、高温みまもりモードの各機能で設定できる温度は1°C単位のみです。
- お好み表示の室温や外気温の温度表示は1°C単位だけになります。
- 0.5°C単位への切り換えにより、きめ細かい温度設定が可能となりますが、室温のコントロール精度は変わりません。設定した温度に対して一定の範囲内で室温をコントロールしているためです。

例) 1°C/0.5°C表示切換で
0.5°Cに切り換える

1 1°C/0.5°C表示切換を選択

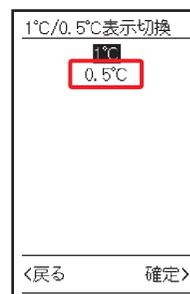


上下ボタンを押し、「1°C/0.5°C表示切換」を反転表示します。



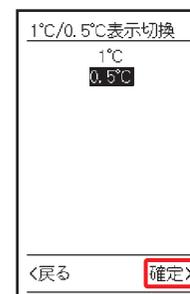
右ボタンを押し、**選択**します。

2 0.5°Cを選択



上下ボタンを押し、「0.5°C」を反転表示します。

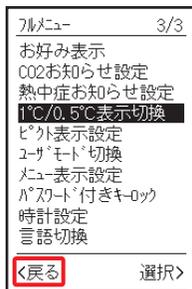
3 設定を確定



右ボタンを押し、設定を**確定**します。

これで設定完了です

設定を確定



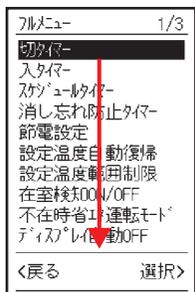
基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

基本操作画面をピクトグラムで表示します。

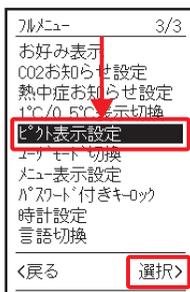
●ピクト表示の内容については「[■ピクト表示設定が ON 時](#)」（16 ページ）を参照ください。

例) 画面表示をピクト表示に
変更する

1 ピクト表示設定を選択

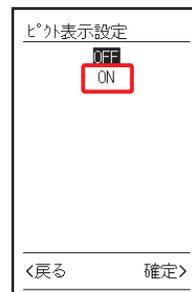


上下ボタンを押し、
「ピクト表示設定」
を反転表示します。



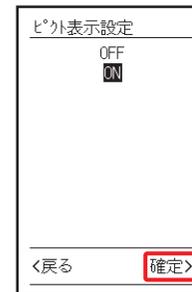
右ボタンを押し、
選択します。

2 ON を選択



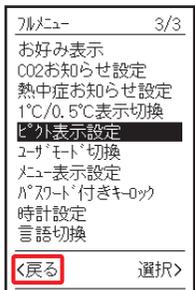
上下ボタンを押し、
「ON」を反転表示
します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

4 表示の確認



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。



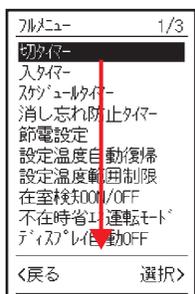
基本操作画面の
表示がピクト表示
に切り換わります。

メニューに表示する項目を「なし」・「標準」・「詳細」から選択します。

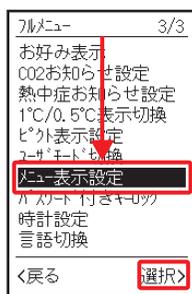
- なし** メニュー画面そのものを表示しません。
 - 標準** よく使うメニューのみを表示します。
 - 詳細** 設定可能なすべてのメニューを表示します。
- ※工場出荷時では、「標準」表示設定となっています。

例) メニュー表示を「詳細」にする

1 メニュー表示設定を選択



上下ボタンを押し、「メニュー表示設定」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 詳細を選択



上下ボタンを押し、「詳細」を反転表示します。

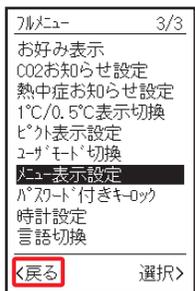
3 設定を確定



右ボタンを押し、設定を確定します。

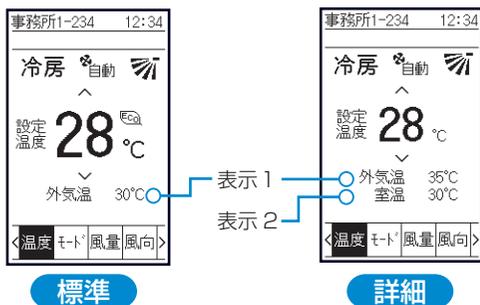
これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

基本画面に選択した項目を表示することができます。



例) 標準モード時に
外気温を表示させる

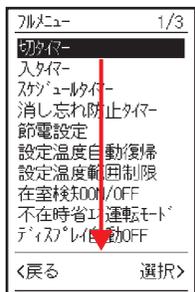
●表示できる項目

なし・外気温*・室温*・系統・室内湿度*・外気湿度*・CO₂濃度*・
冷暖選択権無・連絡先電話番号・コンタクトセンター電話番号

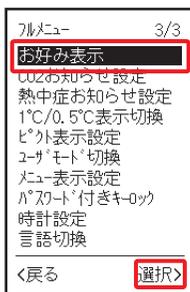
* 製品に搭載センサーの値です。製品の設置状況によっては計測器で測定した値と異なる場合があります。

- お好み表示で選択した機能がお使いのユニットにない場合は、値が表示されません。
- 選択した機能をもっているユニットであっても機種によっては表示できない場合があります。
- 全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニット、無給水加湿ユニットが接続されていると、換気モードと調湿モード、加湿/給気設定を優先して表示します。(標準表示では表示1、詳細表示では表示2が表示されなくなります。)

1 お好み表示を選択



上下ボタンを押し、
「お好み表示」を
反転表示します。



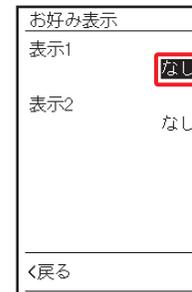
右ボタンを押し、
選択します。

2 表示1を選択



右ボタンを押し、
選択します。

3 外気温を選択



上下ボタンを押し、
「外気温」を
反転表示します。

4 表示選択画面に戻る



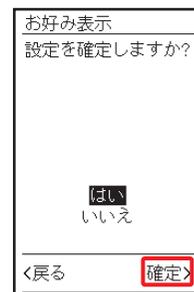
前の画面に戻るため、
左ボタンを押します。

5 設定確定画面に移行



設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

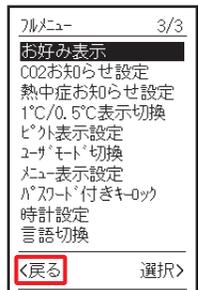
6 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

7 設定の確認



基本画面に
「外気温」が
表示されます。

■CO₂お知らせ設定について

CO₂濃度を表示し、CO₂濃度の上昇時にメッセージとバックライトの点灯でお知らせします。

- お知らせの際には換気機器の運転、換気量アップまたは窓開けなどでの換気を推奨します。
- バックライトの点灯とメッセージ表示どちらも選択できます。
- 1回あたりの点灯は5分間です。点灯開始後、バックライト寿命の観点から1時間後にバックライト点灯の再判定を行います。
- グループ制御時は、全熱交換器ユニット（CO₂センサー（別売品））と室内ユニットとの組み合わせのみお使いいただけます。
- CO₂センサー（別売品）を接続した場合のみ有効にできます。
機種によっては本機能がないものがあります。詳細はエアコンのカタログをご覧ください。
- お好み表示に「CO₂濃度」が表示されている場合のみお使いいただけます。（設定方法：132ページ）
- お好み表示1、2どちらにCO₂濃度を表示させても使用できます。
（お好み表示2の表示には「詳細モード」設定が必要です。設定方法：140ページ）
- ディスプレイ自動OFF機能との併用はお控えください。メッセージ表示が出なくなります。
- CO₂センサー（別売品）異常時は、本機能をご使用になれません。
- リモコンと室内ユニット（または全熱交換器ユニット）を同じ部屋に設置してください。
- 寝室にリモコンを設置する場合など、バックライト点灯がまぶしいと感じる際は、「CO₂お知らせ設定」よりバックライト点灯設定を無効に変更できます。
- 2リモコン制御時には、バックライトの点灯機能が制限されます。主リモコンはバックライトが点灯しない場合があります。従リモコンはバックライトが点灯しません。
なお、メッセージ表示は主従リモコンともに行います。
- CO₂センサー（別売品）は計測器としてはお使いいただけません。製品の設置状況によっては、実際のCO₂濃度とは異なる場合があります。
- 同時運転マルチで使用する際は、CO₂センサー（別売品）を親機に設置してください。

(室内ユニットまたは全熱交換器ユニットにCO₂センサー(別売品)を設置している場合)
CO₂濃度を表示し、CO₂濃度の上昇時にメッセージとバックライトの点灯でお知らせします。

例) CO₂お知らせ設定の
メッセージ表示と点灯を
有効にする

1 CO₂お知らせ設定を選択

上下ボタンを押し、「CO₂お知らせ設定」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 有効 / 無効設定を選択

「有効 / 無効設定」が反転表示した状態で右ボタンを押し、**選択**します。

3 メッセージ表示と点灯を選択

上下ボタンを押し、「メッセージ表示と点灯」を反転表示します。

4 設定を確定

右ボタンを押し、**確認**します。

5 表示場所設定を選択

上下ボタンを押し、「お好み表示1」を反転表示します。
※詳細モードの場合限定

右ボタンを押し、**確認**します。

これで設定完了です

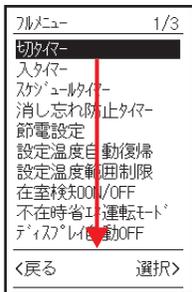
CO₂お知らせ設定のCO₂濃度しきい値を設定します。

※「600ppm」・「800ppm」・「1000ppm」・「1250ppm」・「1500ppm」を選択できます。

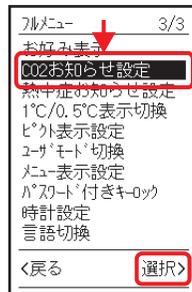
工場出荷時は1000ppmです。

例) CO₂お知らせ設定のCO₂濃度を
800ppmに設定する

1 CO₂お知らせ設定を選択

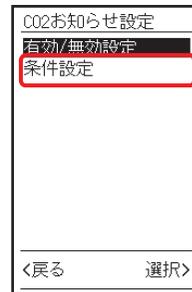


上下ボタンを押し、
「CO₂お知らせ設定」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「条件設定」
を反転表示します。

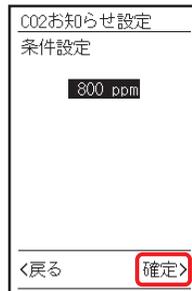


右ボタンを押し、
選択します。

3 CO₂濃度を選択

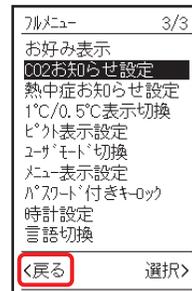


上下ボタンを押し、
「800 ppm」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

これで設定完了です



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

■ 熱中症お知らせ設定について

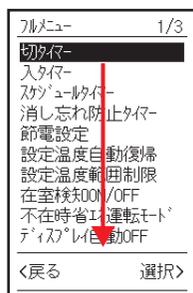
室内ユニットの温湿度センサー値に基づいて、機器停止時にもメッセージとバックライト点灯で熱中症リスクをお知らせします。

- お知らせの際には空調機を運転、設定温度を下げるなどして、室内の温湿度を下げることを推奨します。
- バックライトの点灯とメッセージ表示どちらも選択できます。
- 1回あたりの点灯は5分間です。点灯開始後、バックライト寿命の観点から、1時間後にバックライト点灯の再判定を行います。
- グループ制御時は本機能をご使用になれません。
- 湿度センサーまたは温度センサー、リモコンサーモ異常時は、本機能をご使用になれません。
- お好み表示に「室温」が表示されている場合のみお使いいただけます。(設定方法：132 ページ)
- お好み表示1、2どちらに室温を表示させても使用できます。
(お好み表示2の表示には「詳細モード」設定が必要です。設定方法：140 ページ)
- ディスプレイ自動 OFF 機能との併用はお控えください。メッセージ表示が出なくなります。
- リモコンと室内ユニットを同じ部屋に設置してください。
- 寝室にリモコンを設置する場合など、バックライト点灯がまぶしいと感じる際は、「熱中症お知らせ設定」よりバックライト点灯設定を無効に変更できます。
- 機種によっては本機能がないものがあります。詳細はエアコンのカタログをご覧ください。
- 2リモコン制御時には、バックライトの点灯機能が制限されます。主リモコンはバックライトが点灯しない場合があります。従リモコンはバックライトが点灯しません。
なお、メッセージ表示は主従リモコンともに行います。
- 機器停止時は、室内ユニット内の温湿度センサー位置と人の在室位置が異なるため、設置状況などによっては、室内の温湿度に対してお知らせタイミングがずれる可能性があります。詳細はエアコンのカタログをご覧ください。
- 本機能はお知らせ機能のため、熱中症の予防を保証するものではありません。

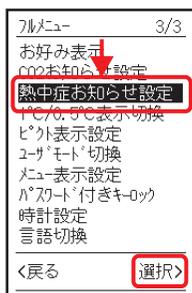
室内ユニットの温湿度センサー値に基づいて、機器停止時にもメッセージとバックライト点灯で熱中症リスクをお知らせします。

例) 熱中症お知らせ設定の
メッセージ表示と点灯を
有効にする

1 熱中症お知らせ設定を選択

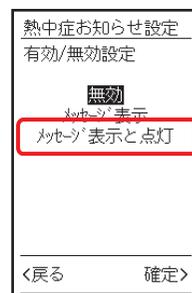


上下ボタンを押し、
「熱中症お知らせ設定」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 メッセージ表示と点灯を選択



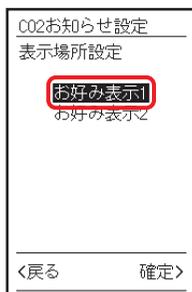
上下ボタンを押し、
「メッセージ表示と
点灯」を
反転表示します。

3 設定を確認

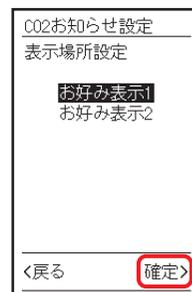


右ボタンを押し、
確定します。

4 表示場所設定を選択



上下ボタンを押し、
「お好み表示1」を
反転表示します。
※詳細モードの場合限定



右ボタンを押し、
確定します。

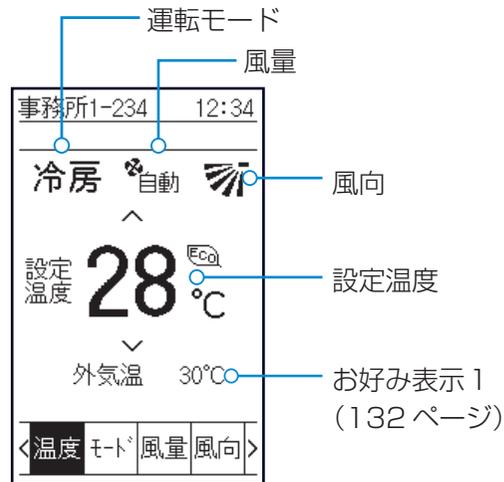
これで設定完了です

■ユーザモードの種類について

基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

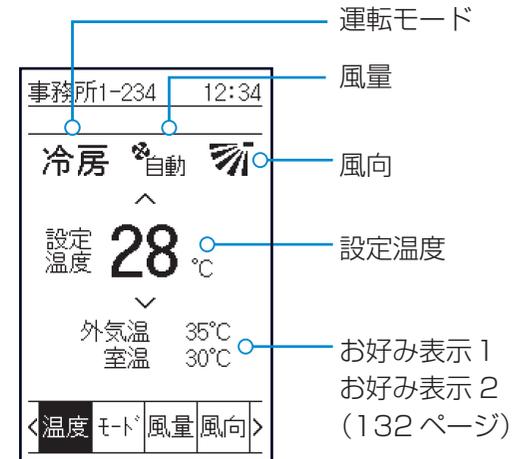
※機種により、設定できない機能や項目は表示されません。

標準モード



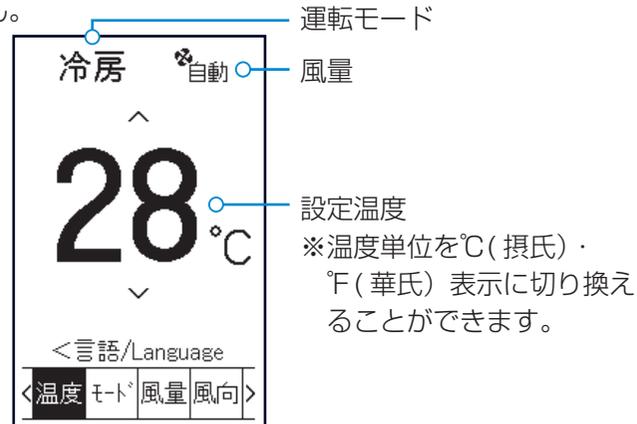
詳細モード

●お好み表示をもう1種類追加できます。



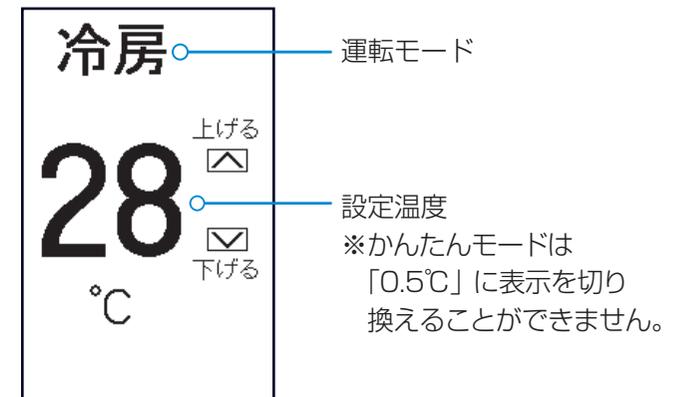
ホテル向けモード

- 標準モードよりもシンプルな表示です。
- 設定温度・運転モード・風量・風向の設定と言語を切り換えることができます。
- メニュー操作はできません。



かんたんモード

●設定温度と運転モードのみを表示します。

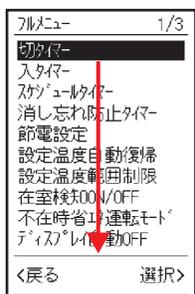


■ユーザモードを切り換える

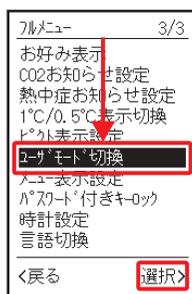
基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

例) 詳細モードに切り換える

1 ユーザモード切換を選択

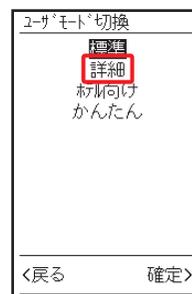


上下ボタンを押し、「ユーザモード切換」を反転表示します。



右ボタンを押し、選択します。

2 詳細を選択



上下ボタンを押し、「詳細」を反転表示します。

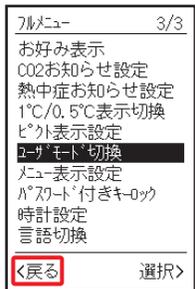
3 設定を確定



右ボタンを押し、確定します。

これで設定完了です

設定を確定

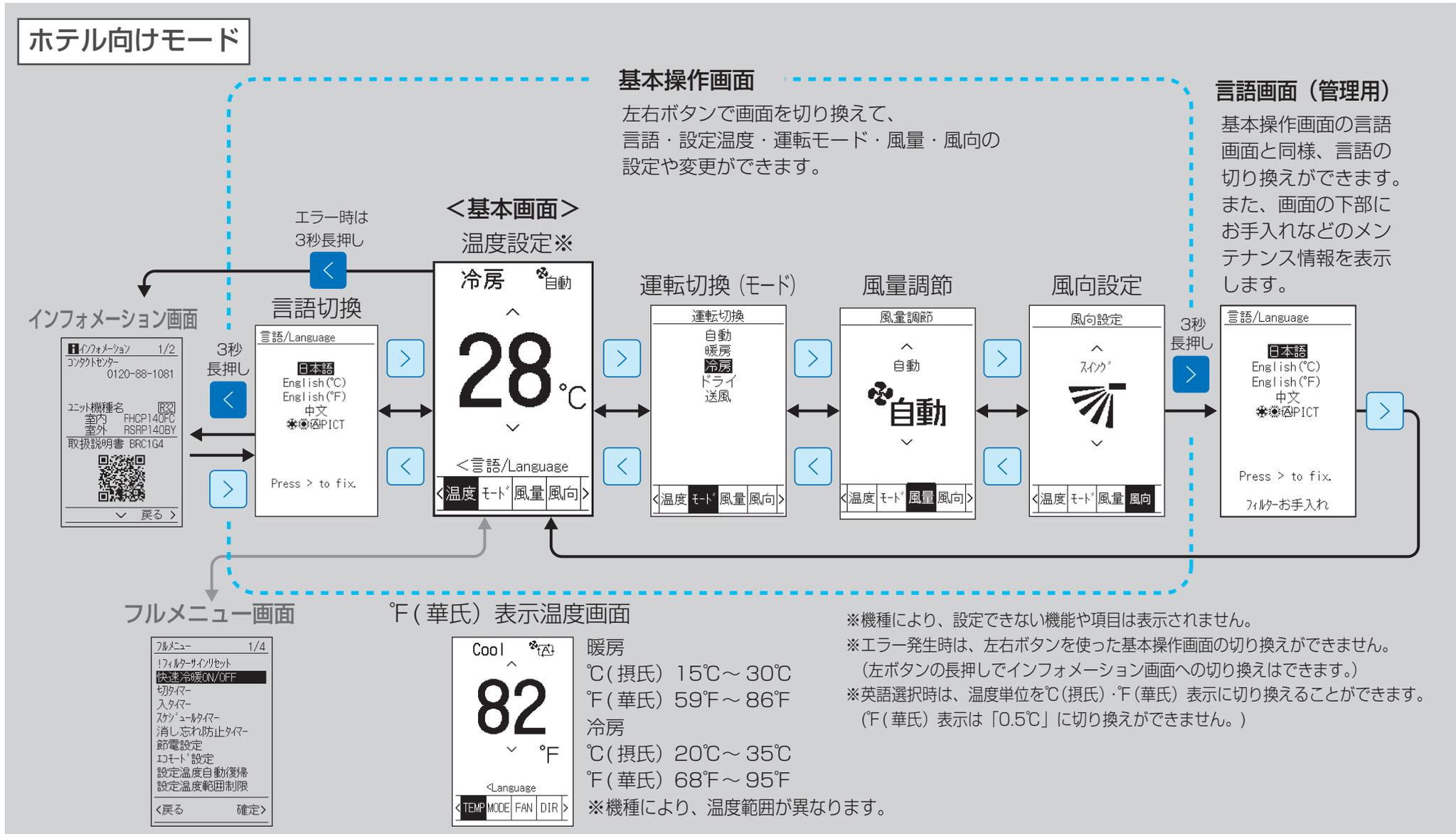


基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

ホテル向けモードは、ホテルの客室で使用することを想定した画面表示です。

清掃係や客室係などの従業員の方は、長押し操作で②言語画面（管理用）を表示し、言語の切り換えりやメンテナンス情報の確認ができます。

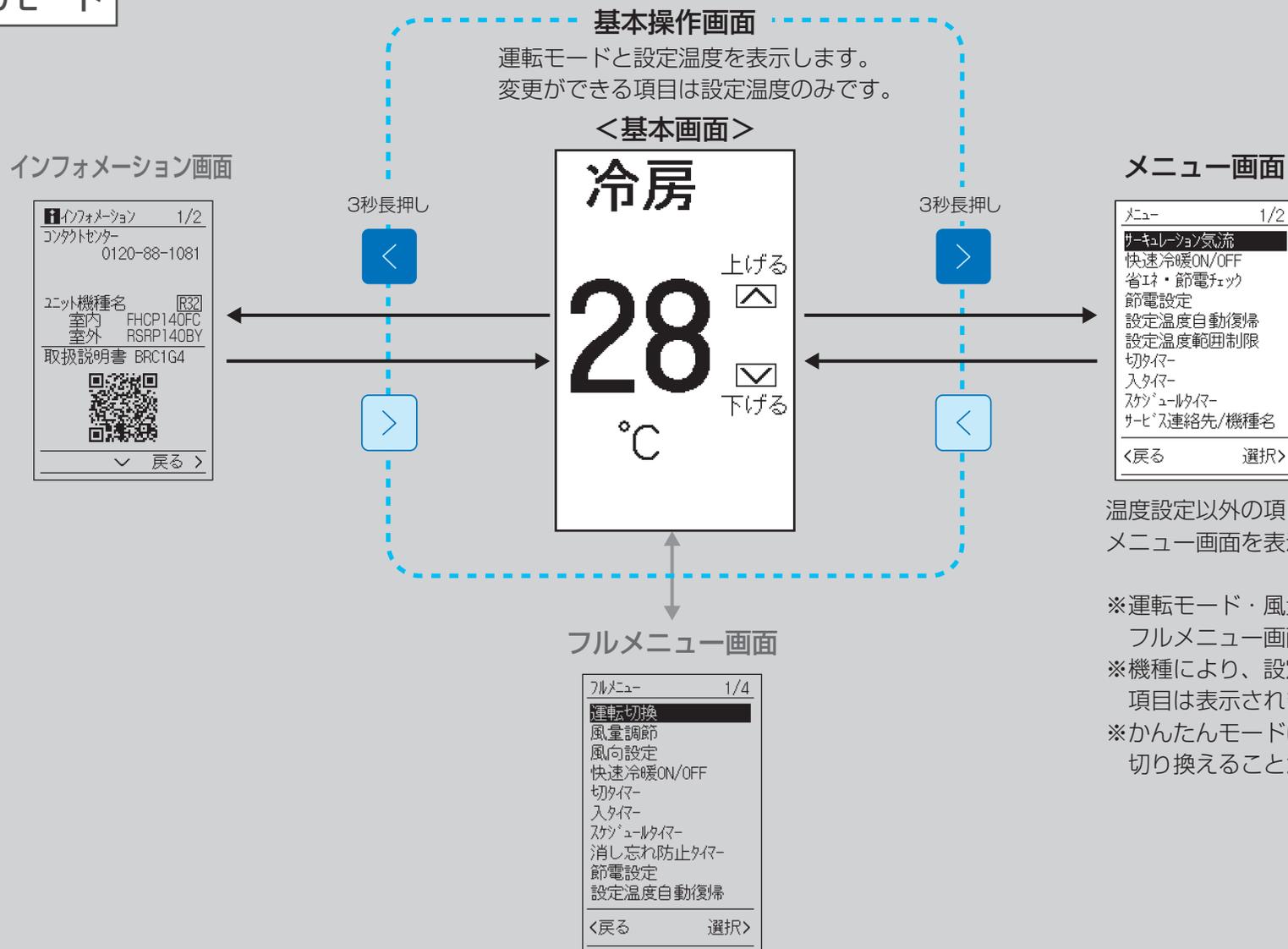
※温度設定画面が基本画面です。約 10 秒以上操作がない場合、基本画面に戻ります。



かんたんモードは、設定温度と運転モードのみを表示したもっともシンプルな画面です。

基本画面では設定温度のみ設定できます。温度設定以外の項目は、メニュー画面で設定してください。

かんたんモード



温度設定以外の項目は、メニュー画面を表示して設定します。※

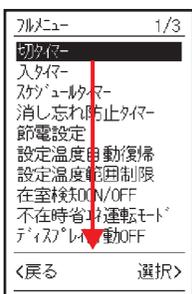
※運転モード・風量・風向はフルメニュー画面から設定します。
 ※機種により、設定できない機能や項目は表示されません。

※かんたんモードは「0.5℃」に表示を切り換えることができません。

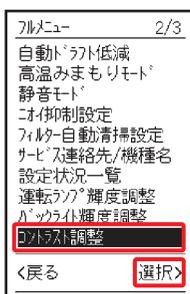
液晶の濃度調整を行います。

例) 液晶表示が淡いので
コントラストを調整する

1 コントラスト調整を選択



上下ボタンを押し、
「コントラスト調整」
を反転表示します。



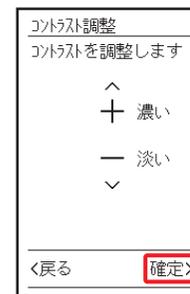
右ボタンを押し、
選択します。

2 コントラストを調整



上下ボタンを押し、
コントラストを調整し
ます。

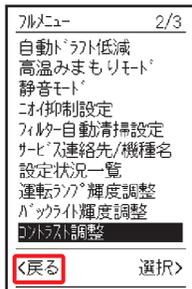
3 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

運転ランプの明るさを調整します。

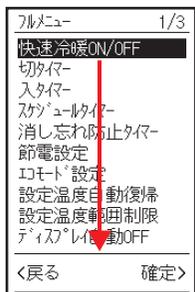


運転ランプ

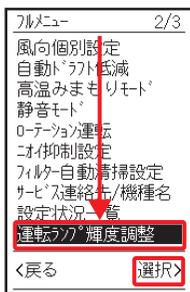
※暗くしすぎると運転ランプの点灯が見えにくくなるのでご注意ください。

例) 運転ランプが明るすぎるので
運転ランプの明るさを調整する

1 運転ランプ輝度調整を選択



上下ボタンを押し、**「運転ランプ輝度調整」**を反転表示します。



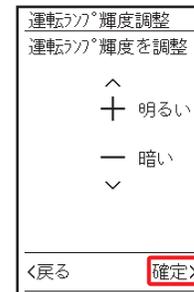
右ボタンを押し、**選択**します。

2 輝度を調整



上下ボタンを押し、**運転ランプの輝度を調整**します。

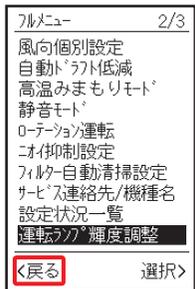
3 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。

これで設定完了です

設定を確定

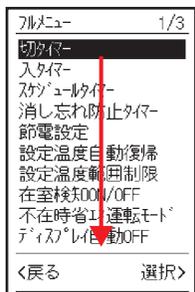


基本画面に**戻る**には、**左ボタン**を押します。

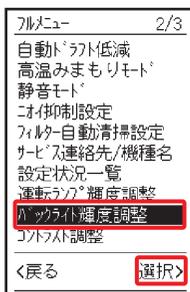
バックライトの明るさを調整します。

例) 文字が見えにくいので
バックライトの明るさを
調整する

1 バックライト輝度調整を選択

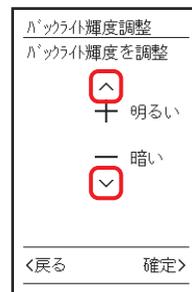


上下ボタンを押し、
「バックライト
輝度調整」を
反転表示します。



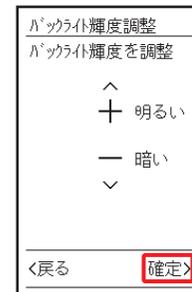
右ボタンを押し、
選択します。

2 輝度を調整



上下ボタンを押し、
バックライトの
輝度を調整します。

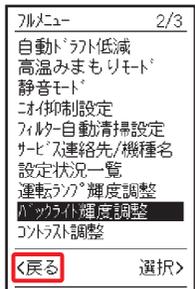
3 設定を確定



右ボタンを押し、
確定します。

これで設定完了です

設定を確定



基本画面に戻るには、
左ボタンを押します。

換気単独接続の場合

全熱交換器ユニット単独接続

基本画面	147
画面を切り換える	148
換気量	149
換気モード	150
加湿換気	151
ユーザモード切換	152

調湿外気処理ユニット単独接続

基本画面	153
画面を切り換える	154
換気量	155
調湿モード	156
ユーザモード切換	157

無給水加湿ユニット単独接続

基本画面	158
画面を切り換える	159
運転モード	160
加湿/給気設定	161
ユーザモード切換	163

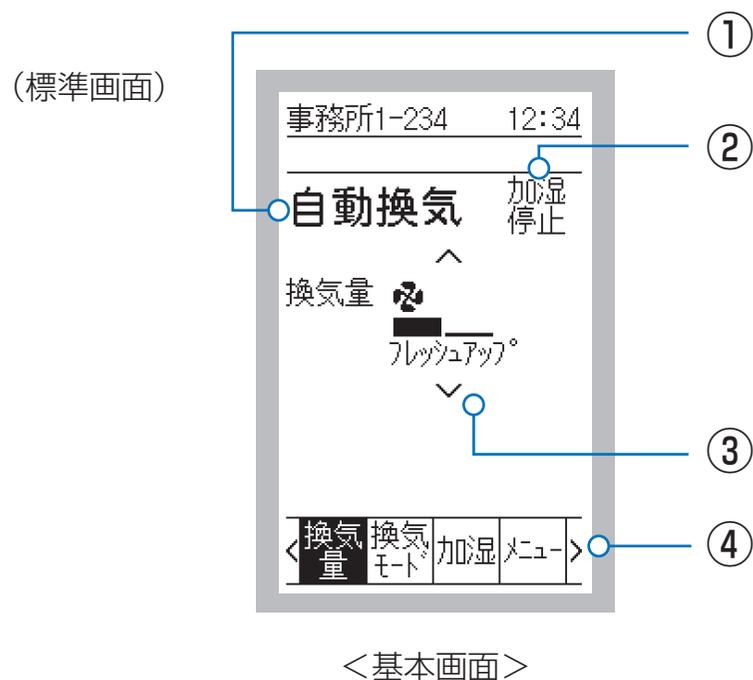
外気処理タイプ全熱交換器ユニット単独接続

基本画面	164
画面を切り換える	165
ユーザモード切換	166

全熱交換器ユニットと単独で接続されている場合の基本画面です。

基本操作画面は、「換気量」・「換気モード」・「加湿」を設定する3種類の画面があります。

このうち「換気量」画面は、下記のとおり「基本画面」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。



基本画面の表示説明

① 換気モード

- 設定した換気モードの状態
 (「自動換気」・「普通換気」・「全熱換気」) を表示します。

② 加湿換気 (※1)

- 全熱交換器ユニットに搭載されている加湿器の状態を表示します。
 「有効」-加湿条件に合致すれば加湿を行います。
 「停止」-加湿を停止します。
- (※1) 加湿ユニット接続時のみ本表示と加湿タブが表示されます。

③ 換気量

- 設定した換気量の状態を表示します。
- フレッシュアップの設定が有効の場合「フレッシュアップ」が表示されます。

④ 操作タブ

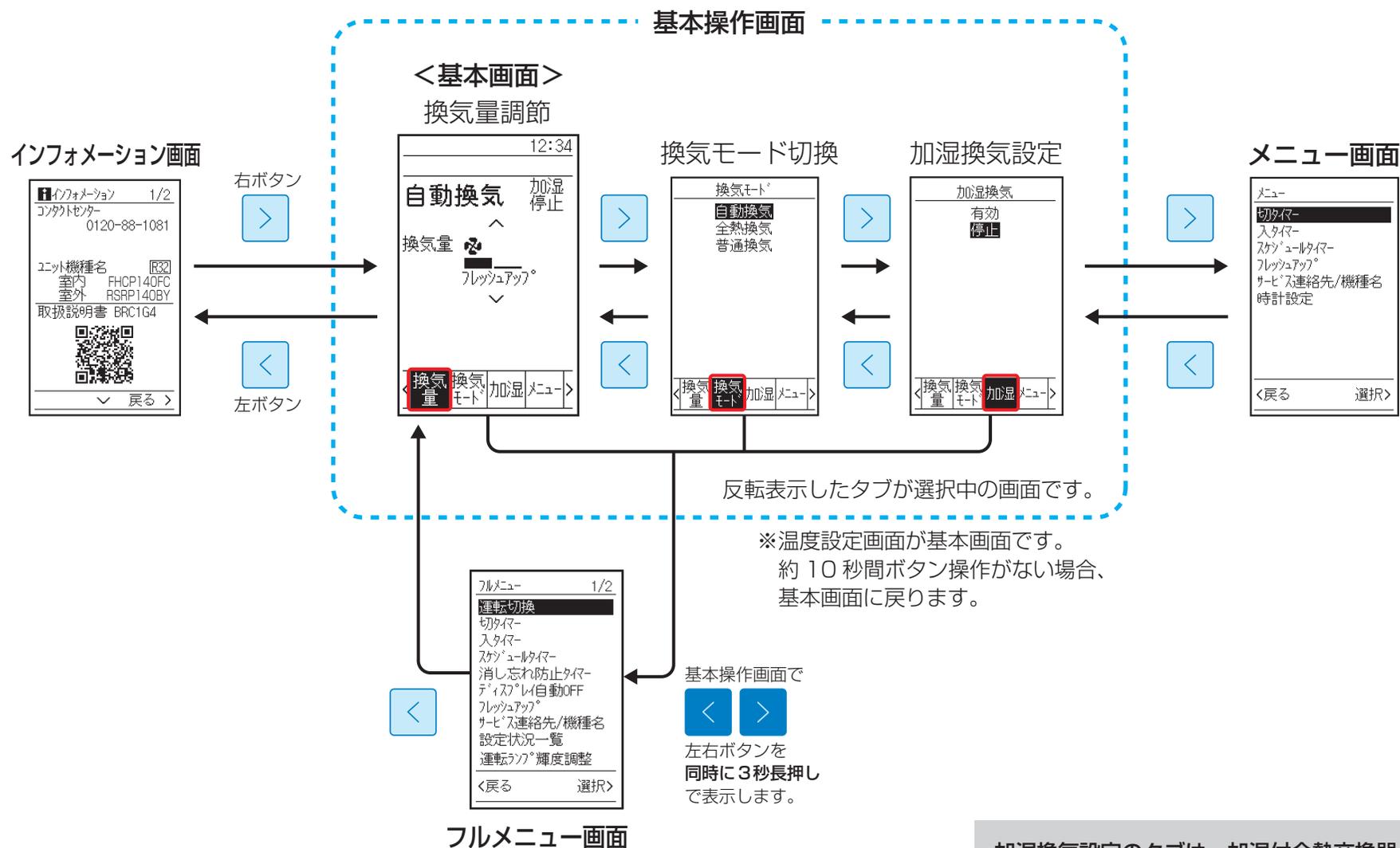
- 左右ボタンを押して各タブに移動します。
 反転表示したタブが選択中の画面です。

- 基本画面のユーザ別表示設定には、「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」の4種類があります。工場出荷時は標準表示になっています。
- 表示設定の切り換えはフルメニューの「ユーザモード切替」で変更します。

画面の切り換えは、左右ボタンを使います。



左右ボタンを押して画面を切り換えます。



加湿換気設定のタブは、加湿付全熱交換器ユニットのみ表示されます。

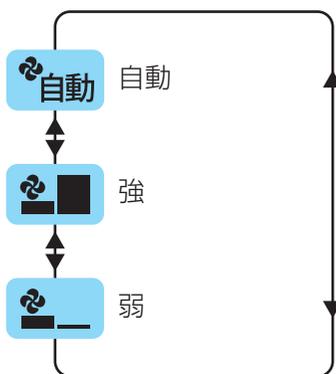
(全熱交換器ユニット単独接続の場合)

1 換気量を変更

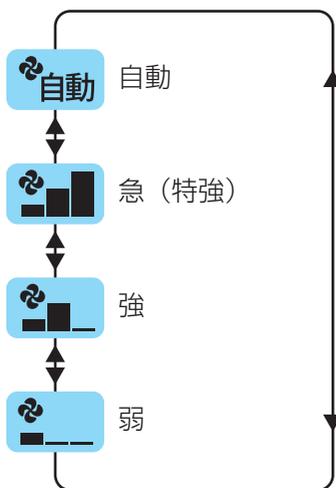


上下ボタンを
押すごとに換気量が
右記の順で
切り換わります。

2段階時



3段階時



準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

フレッシュアップ

- 室内への給気量と室外への排気量は通常は同風量ですが、対応機種ではフレッシュアップを設定することにより給気量と排気量に差をつけることができます。フレッシュアップを設定することにより、室内への臭気や湿気の流入を抑えたり、室内で発生した臭気や湿気が流出することを防ぐのに効果的な運転ができます。対応機種の確認や設定は販売店へお問合わせください。
- フレッシュアップの設定は、「[フレッシュアップ](#)」(115ページ)を参照してください。

風量について

- 自動はCO₂センサー(別売品)を接続した場合のみ選択可能となります。
- 全熱交換器ユニットの種類により、2段階調節と3段階調節の場合があります。

(全熱交換器ユニット単独接続の場合)

1 換気モードを変更

右ボタンを押し、換気モード画面を表示します。

上下ボタンを押し、「自動換気」・「全熱換気」・「普通換気」のうちご希望の運転に切り換えます。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

換気モードについて

自動換気：全熱交換器ユニットの情報（室内・室外温度）により「全熱換気」・「普通換気」の自動切換運転をします。

全熱換気：外気は熱交換されて室内に供給されます。

普通換気：外気は熱交換されずに室内に供給されます。

※設定できない換気モードは表示されません。

(全熱交換器ユニット単独接続の場合)

1 加湿換気を選択



右ボタンを押し、
加湿換気画面を
表示します。



2 有効を選択



上下ボタンを押し、
「有効」を選択しま
す。

これで設定完了です



3 設定の確認

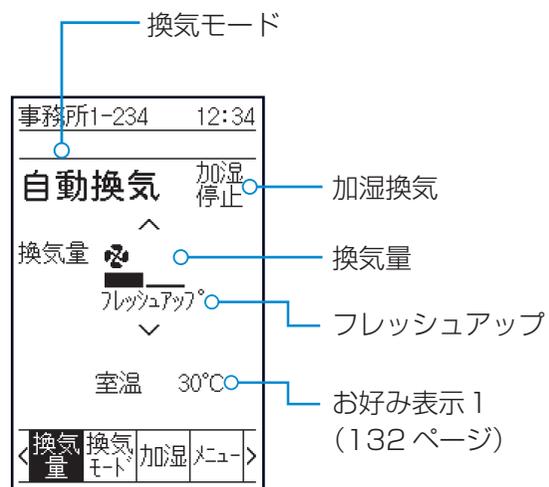


しばらくすると
基本画面に戻ります。
「加湿有効」が表示
されます。

ユーザモードの種類について

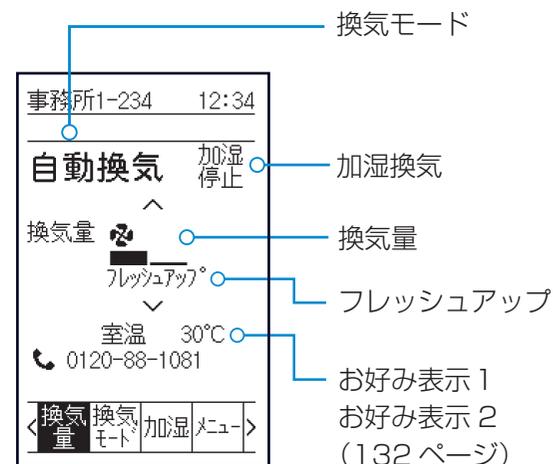
基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

標準モード



詳細モード

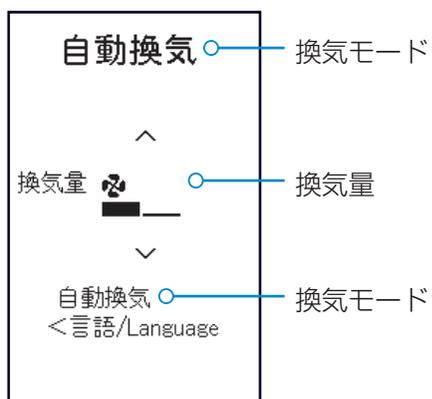
- お好み表示をもう1種類追加できます。



ホテル向けモード

詳細は「[ホテル向けモード](#)」(141 ページ)を参照してください。

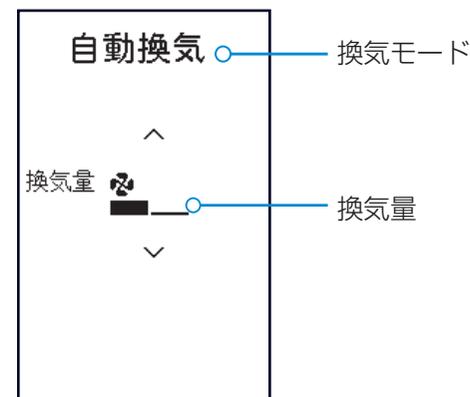
- 標準モードよりもシンプルな表示です。
- 換気モード・換気量の設定と言語を切り換えることができます。
- メニュー操作はできません。



かんたんモード

詳細は「[かんたんモード](#)」(142 ページ)を参照してください。

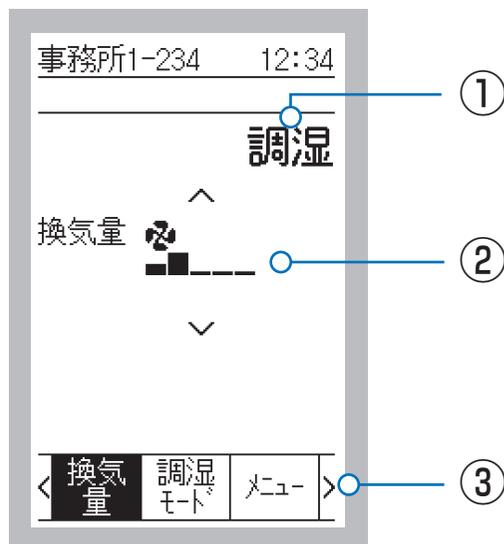
- 換気量と換気モードのみを表示します。



調湿外気処理ユニットが単独で接続されている場合の基本画面です。

基本操作画面は、「換気量」・「調湿モード」を設定する2種類の画面があります。このうち「換気量」画面は、下記のとおり「基本画面」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。

(標準画面)



<基本画面>

基本画面の表示説明

① 調湿モード

- 設定した調湿モードの状態（「調湿」・「換気」・「除湿」・「加湿」）を表示します。

② 換気量

- 設定した換気量の状態を表示します。
- 調湿外気処理ユニットの機種によっては、換気量のタブが反転していても換気量の操作は出来ません。

③ 操作タブ

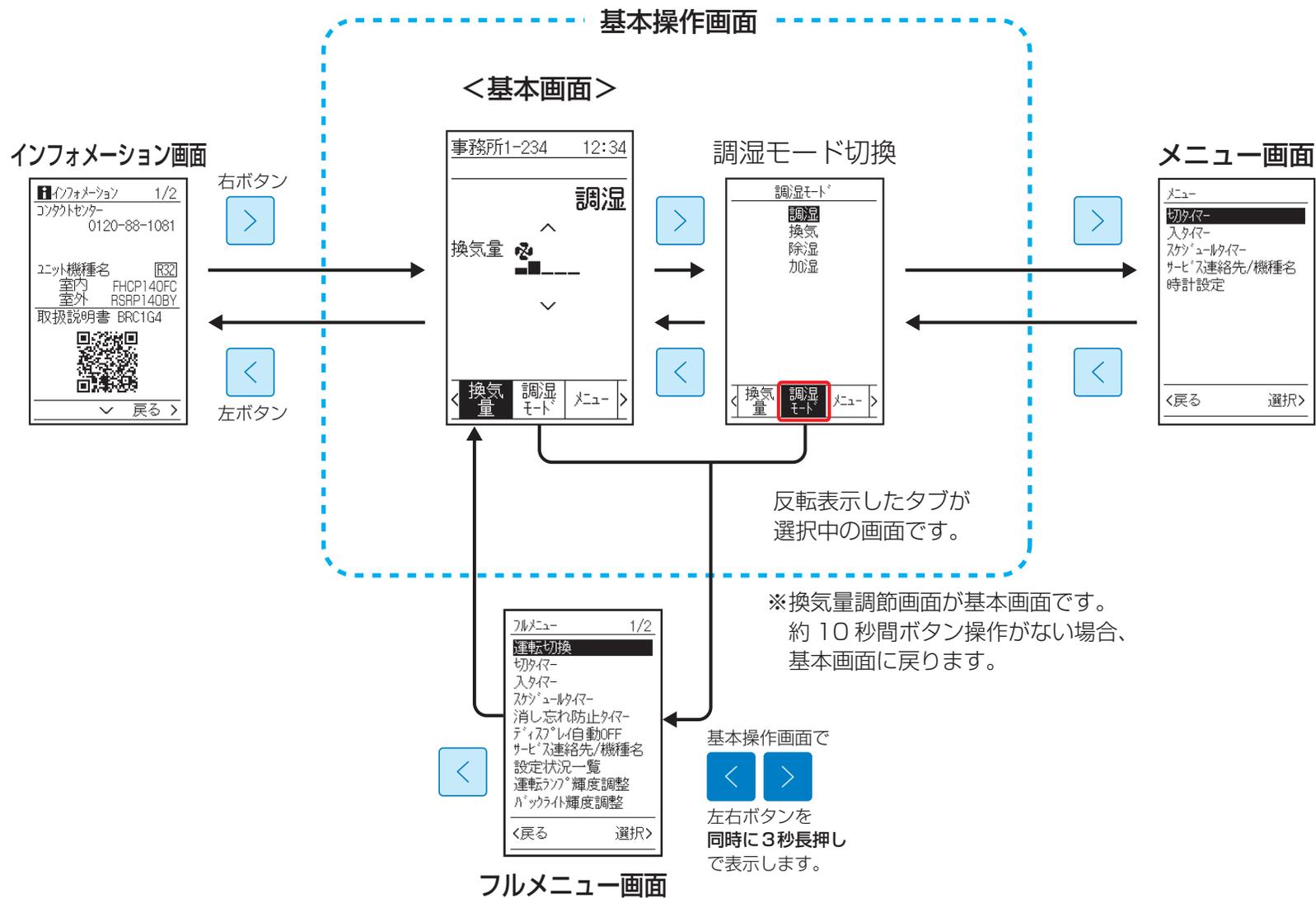
- 左右ボタンを押して各タブに移動します。反転表示したタブが選択中の画面です。

- 基本画面のユーザ別表示設定には、「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」の4種類があります。工場出荷時は標準表示になっています。
- 表示設定の切り換えはフルメニューの「ユーザモード切替」で変更します。

(調湿外気処理ユニット単独接続の場合)



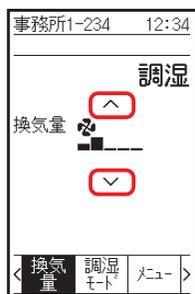
左右ボタンを押して画面を切り換えます。



(調湿外気処理ユニット単独接続の場合*)

※調湿外気処理ユニットの機種によっては、換気量の操作は出来ません。
詳しくは対象の調湿外気処理ユニットの技術資料をご確認ください。

1 換気量を変更



上下ボタンを
押すごとに換気量が
切り換わります。

準備

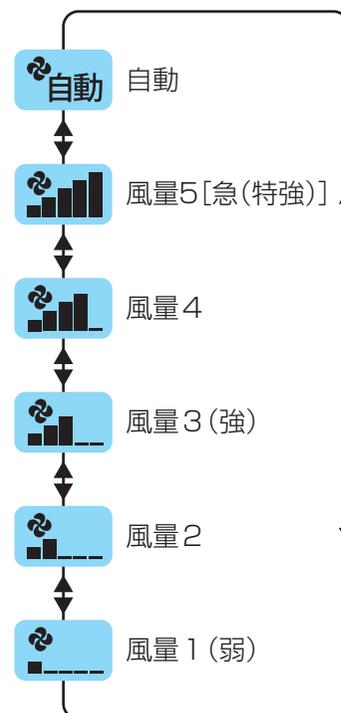
- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

風量について

- 換気量の設定は、調湿外気処理ユニットの設定風量の現地設定が「リモコン設定」となっている場合のみ選択できます。
詳しくは調湿外気処理ユニットの技術資料をご覧ください。
- 自動はCO₂センサー（別売品）を調湿外気処理ユニットに接続し、CO₂単独制御設定が現地設定にて設定されている場合のみ選択可能となります。

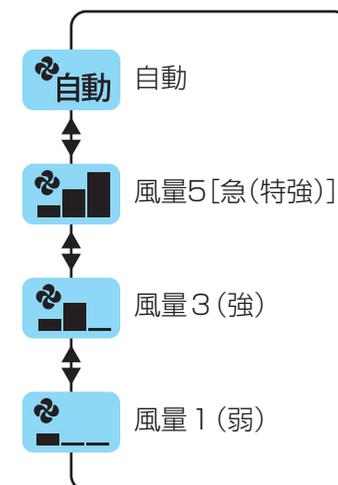
5段階時

ボタンを押すごとに
以下の順に変わります。



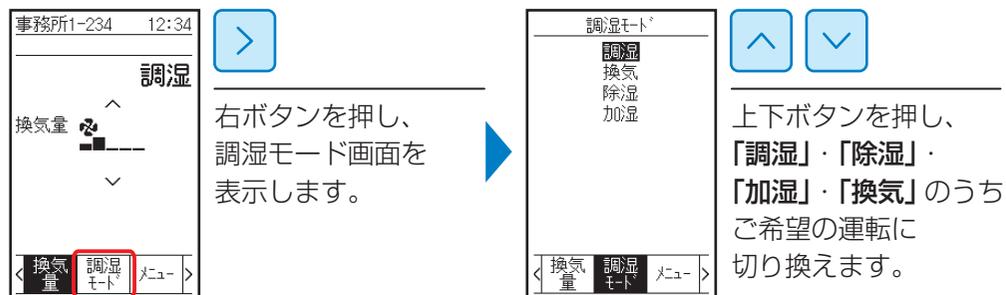
3段階時

ボタンを押すごとに
以下の順に変わります。



(調湿外気処理ユニット単独接続の場合)

1 調湿モードを変更



準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

調湿モードについて

調湿：自動で「除湿」・「加湿」・「換気」を判断して外気を調湿し、室内に取り入れる運転モードです。

換気：外気をそのまま室内に取り入れる運転モードです。

次のようなときに、お選びください。

除湿期間：室内の湿度が室外より高い場合

加湿期間：室内の湿度が室外より低い場合

除湿：自動で「除湿」・「換気」を判断して外気を調湿し、室内の湿度を下げる運転モードです。屋外の温度・湿度が高い場合、または換気量が多い場合、エアコンの室内設定温度が低い場合には、室内の湿度が下がらないことがあります。

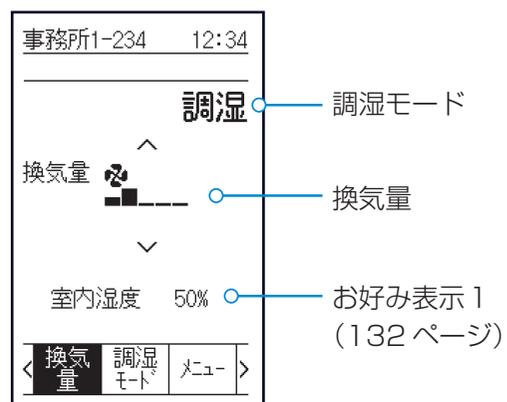
加湿：自動で「加湿」・「換気」を判断して外気を調湿し、室内の湿度を上げる運転モードです。屋外の温度・湿度が低い場合、または換気量が多い場合、エアコンの室内設定温度が高い場合には、室内の湿度が上がらないことがあります。

- 外気温度が低い場合、始動直後に吹出温度が低くなる場合があります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。
- 「除湿」および「加湿」共に、湿度は「高め」・「標準」・「低め」の3段階に設定可能です。設定を変更する場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。(工場出荷時は「標準」に設定しています。)
- 設定された調湿モードが使用温湿度範囲外の場合には、機器保護のため、設定以外の運転をしたり停止したりする場合があります。

■ユーザモードの種類について

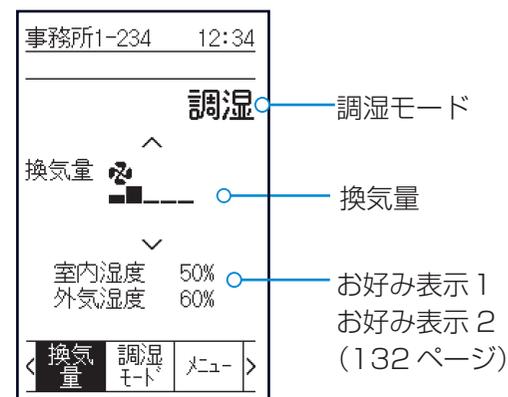
基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

標準モード



詳細モード

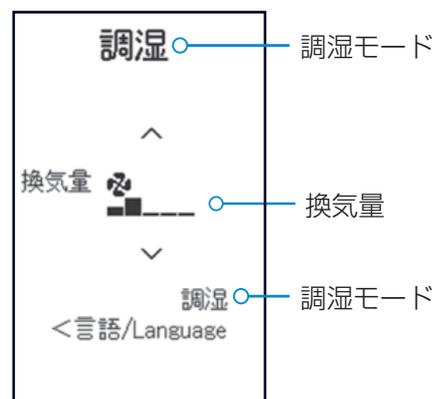
●お好み表示をもう1種類追加できます。



ホテル向けモード

詳細は「[ホテル向けモード](#)」(141 ページ)を参照してください。

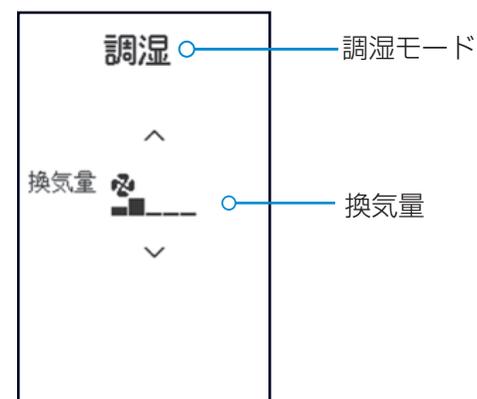
- 標準モードよりもシンプルな表示です。
- 調湿モードと言語を切り換えることができます。
- メニュー操作はできません。



かんたんモード

詳細は「[かんたんモード](#)」(142 ページ)を参照してください。

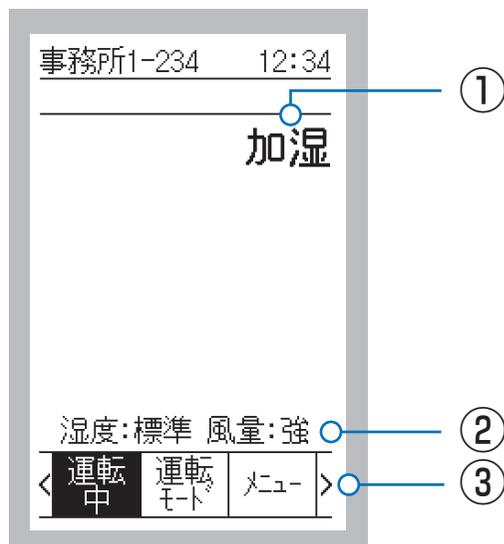
- 調湿モードのみを表示します。



無給水加湿ユニットが単独で接続されている場合の基本画面です。

基本操作画面は、「**運転中**」・「**運転モード**」を設定する2種類の画面があります。このうち「**運転中**」画面は、下記のとおり「**基本画面**」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。

(標準画面)



<基本画面>

基本画面の表示説明

① 運転モード

- 設定した運転モードの状態
（「加湿」・「給気」）を表示します。

② 湿度設定・風量設定

- 湿度設定の状態
（「高」・「標準」・「低」）を表示します。
- 風量設定の状態
（「強」・「弱」）を表示します。

③ 操作タブ

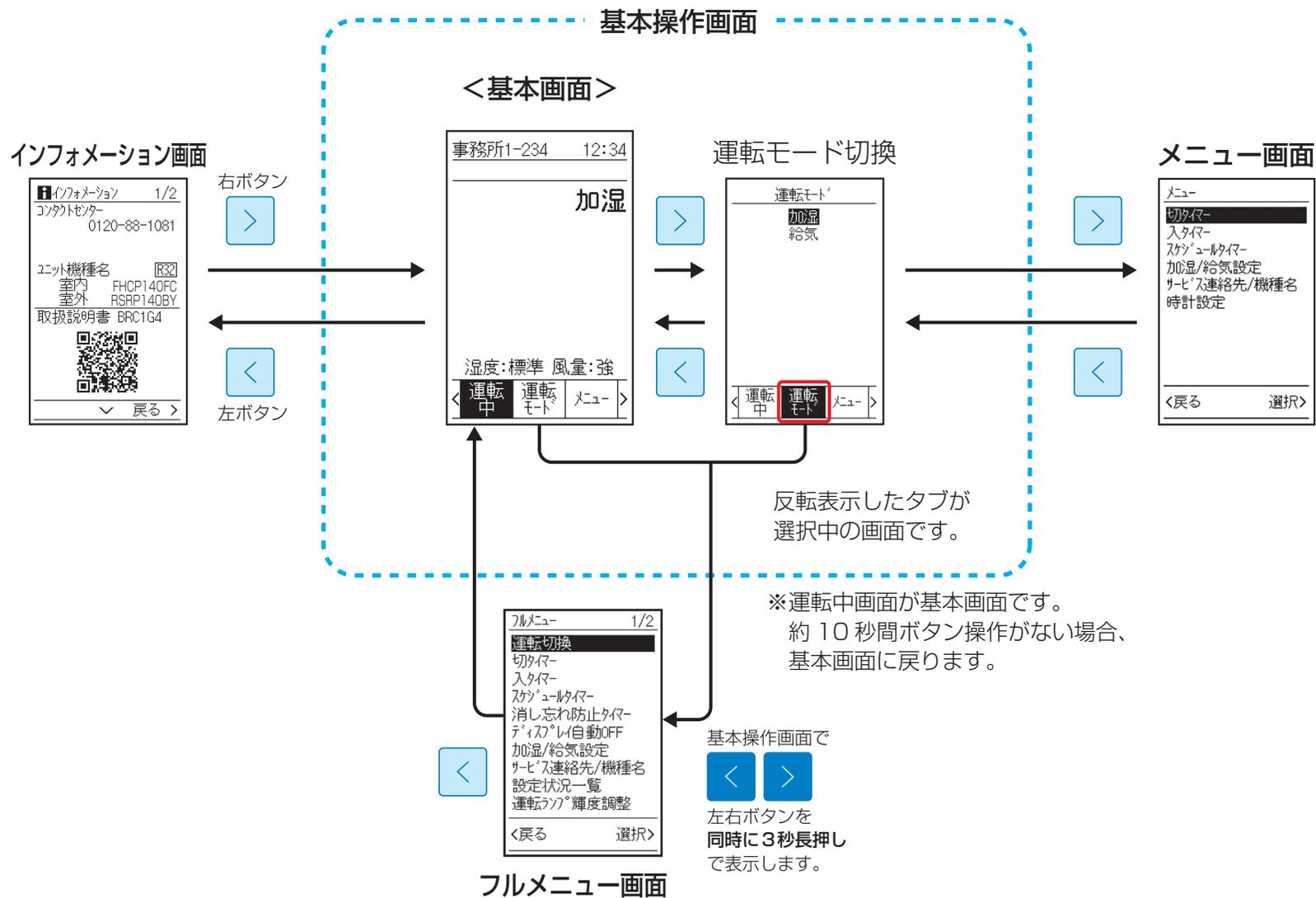
- 左右ボタンを押して各タブに移動します。
反転表示したタブが選択中の画面です。
- 無給水加湿ユニットでは、運転中のタブが反転していても操作は出来ません

- 基本画面のユーザ別表示設定には、「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」の4種類があります。工場出荷時は標準表示になっています。
- 表示設定の切り換えはフルメニューの「ユーザモード切換」で変更します。

(無給水加湿ユニット单独接続の場合)

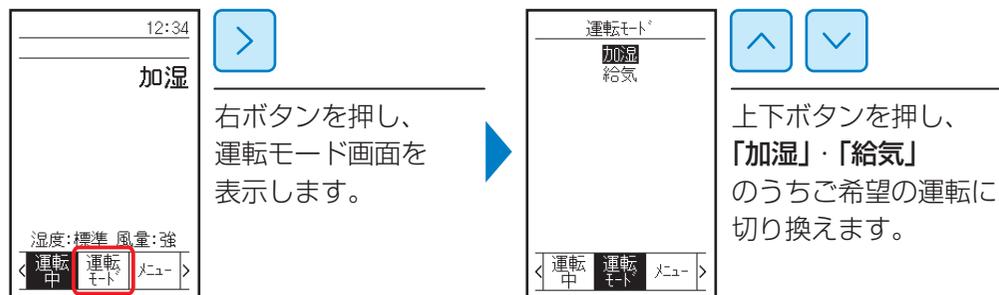


左右ボタンを押して画面を切り換えます。



(無給水加湿ユニット単独接続の場合)

1 運転モードを変更



準備

- シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

運転モードについて

- 加湿**：室内の湿度を上げる運転モードです。
屋外の温度・湿度が低い場合、室内の湿度が上がらないことがあります。
- 給気**：室内に外気を取り入れ供給する運転モードです。
室内と室外に温度差がある場合、暑く感じたり、寒く感じたりすることがあります。
- 湿度は「高」・「標準」・「低」の3段階に設定可能です。
(工場出荷時は「標準」に設定しています。)
 - 風量は「強」・「弱」の2段階に設定可能です。
(工場出荷時は「強」に設定しています。)
 - 設定された運転モードが使用温湿度範囲外の場合には、機器保護のため、設定以外の運転をしたり停止したりする場合があります。

(無給水加湿ユニット単独接続の場合)
湿度設定

1 加湿 / 給気設定を選択

メニュー
切タイマー
入タイマー
スケジュールタイマー
加湿/給気設定
サービス連絡先/機種名
時計設定

上下ボタンを押し、「加湿 / 給気設定」を反転表示します。

メニュー
切タイマー
入タイマー
スケジュールタイマー
加湿/給気設定
サービス連絡先/機種名
時計設定

右ボタンを押し、**選択**します。

<戻る 選択>

2 湿度設定を選択

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

上下ボタンを押し、「湿度設定」を反転表示します。

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

右ボタンを押し、**選択**します。

<戻る 選択>

3 高・標準・低を選択

湿度設定
高
標準
低

上下ボタンを押し、「高」・「標準」・「低」のうちご希望の運転に切り換えます。

●ボタンを押すごとに変わります。

<戻る 確定>

4 設定を確定

湿度設定
高
標準
低

右ボタンを押し、設定を**確定**します。

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

<戻る 確定> **これで設定完了です** <戻る 選択>

準備

●シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

湿度設定

- 湿度設定は、運転モード加湿時の湿度設定を行います。(給気モード時にも設定のみは可能です。)
- 設定湿度を「高」・「標準」・「低」から選んで設定します。
- ・加湿湿度設定
 - 高** とにかく加湿をしたい場合にお使いください。(最大室内湿度60%)
 - 標準** 標準の設定です。
 - 低** 必要最低限の加湿を行います。

(無給水加湿ユニット単独接続の場合)
風量設定

1 加湿 / 給気設定を選択

メニュー
切タイマー
入タイマー
スケジュールタイマー
加湿/給気設定
サービス連絡先/機種名
時計設定

上下ボタンを押し、「加湿 / 給気設定」を反転表示します。

メニュー
切タイマー
入タイマー
スケジュールタイマー
加湿/給気設定
サービス連絡先/機種名
時計設定

右ボタンを押し、**選択**します。

2 風量設定を選択

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

上下ボタンを押し、「風量設定」を反転表示します。

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

右ボタンを押し、**選択**します。

3 強・弱を選択

風量設定
強
弱

上下ボタンを押し、「強」・「弱」のうちご希望の運転に切り換えます。

●ボタンを押すごとに変わります。

強
弱

4 設定を確定

風量設定
強
弱

右ボタンを押し、設定を**確定**します。

これで設定完了です

加湿/給気設定
湿度設定
風量設定

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

準備

●シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

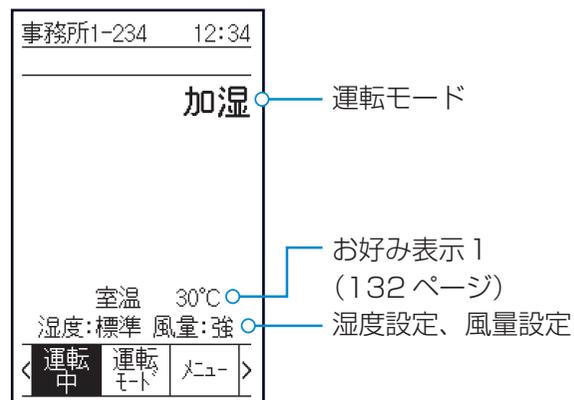
風量設定

- 設定風量を「強」・「弱」から選んで設定します。
- 風量設定は、運転モード加湿時、給気時の風量設定を行います。

■ ユーザモードの種類について

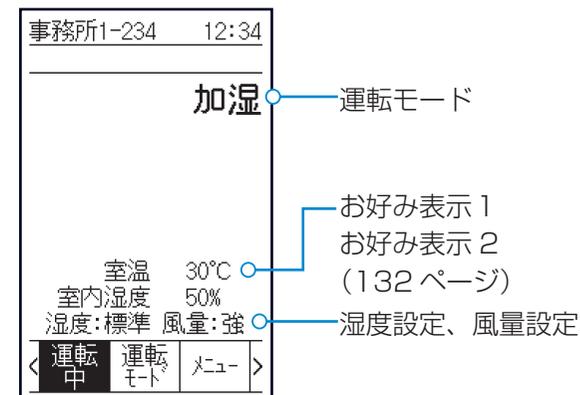
基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

標準モード



詳細モード

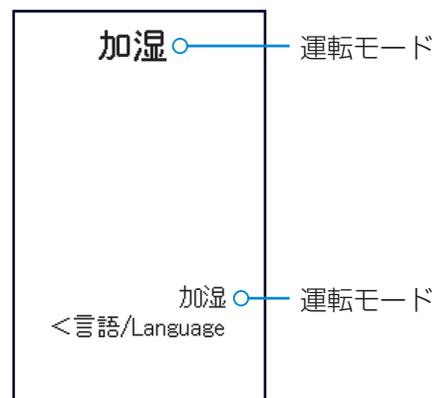
● お好み表示をもう1種類追加できます。



ホテル向けモード

詳細は「[ホテル向けモード](#)」(141 ページ)を参照してください。

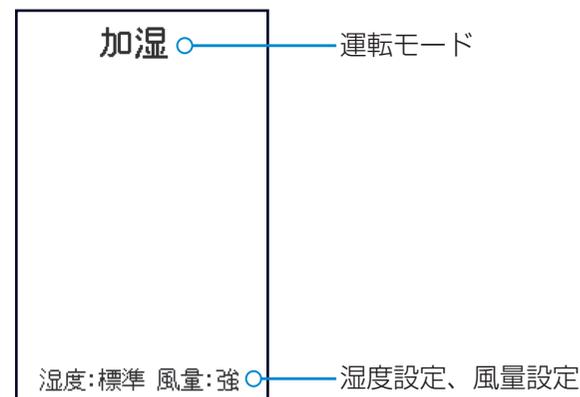
- 標準モードよりもシンプルな表示です。
- 言語を切り換えることができます。
- メニュー操作はできません。



かんたんモード

詳細は「[かんたんモード](#)」(142 ページ)を参照してください。

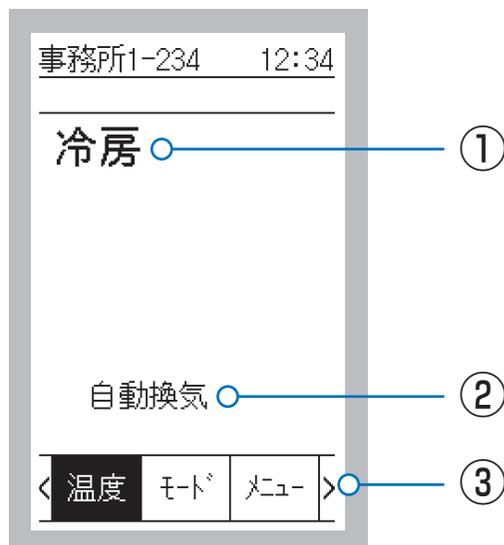
● 運転モードのみを表示します。



外気処理タイプ全熱交換器ユニットと単独で接続されている場合の基本画面です。

基本操作画面は、「温度」・「モード」を設定する2種類の画面があります。このうち「温度」画面は、下記のとおり「基本画面」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。

(標準画面)



<基本画面>

基本画面の表示説明

① 運転モード

- 運転状態（「冷房」・「暖房」・「換気」・「送風」・「自動」）を表示します。

② 換気モード

- 設定した換気モードの状態（「自動換気」・「普通換気」・「全熱換気」）を表示します。

③ 操作タブ

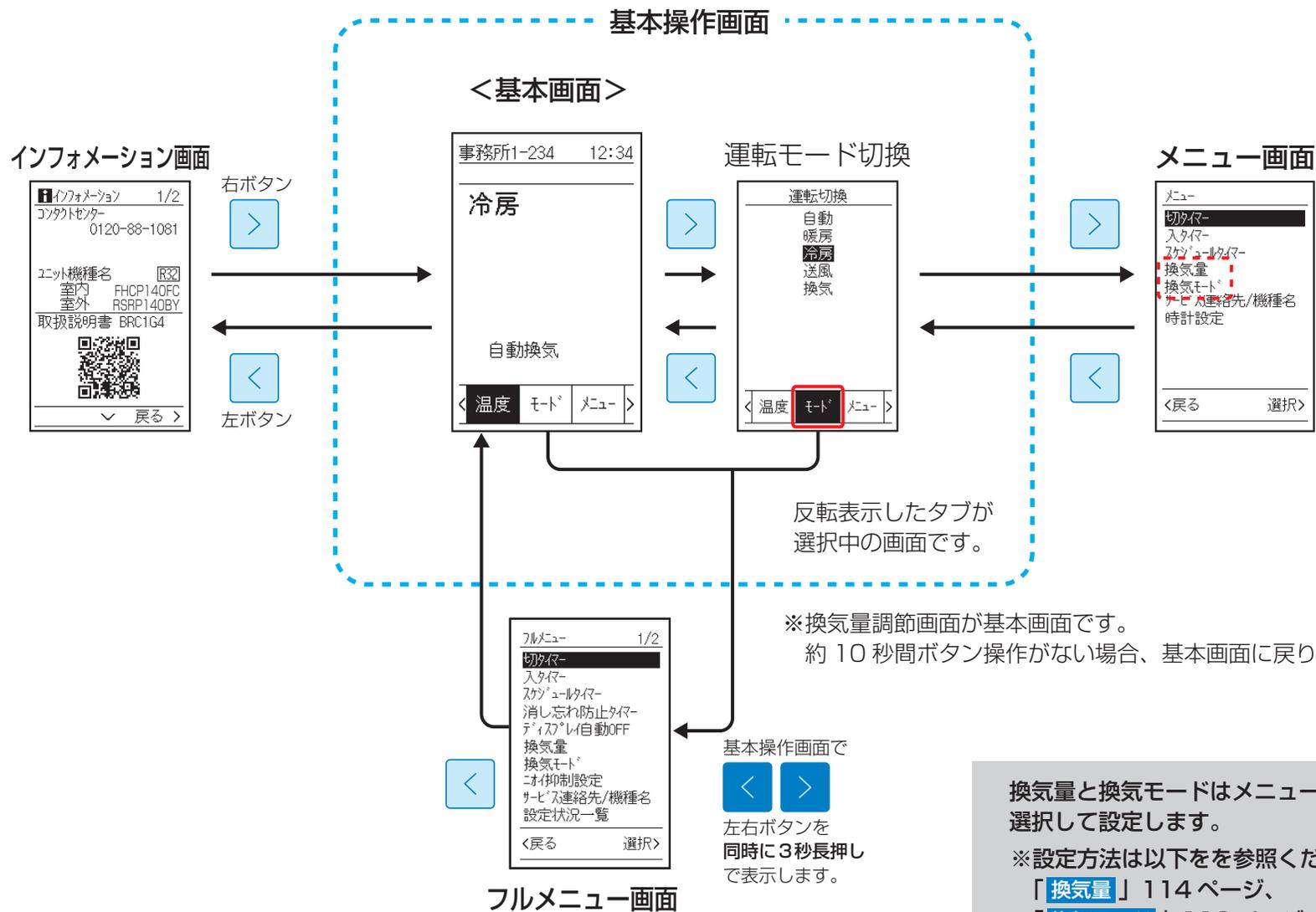
- 左右ボタンを押して各タブに移動します。反転表示したタブが選択中の画面です。
- 外気処理タイプ全熱交換器ユニットでは、温度設定タブが反転表示していても温度設定はできません。設定温度も表示されません。

- 基本画面のユーザ別表示設定には、「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」の4種類があります。工場出荷時は標準表示になっています。
- 表示設定の切り換えはフルメニューの「ユーザモード切替」で変更します。

(外気処理タイプ全熱交換器ユニット単独接続の場合)



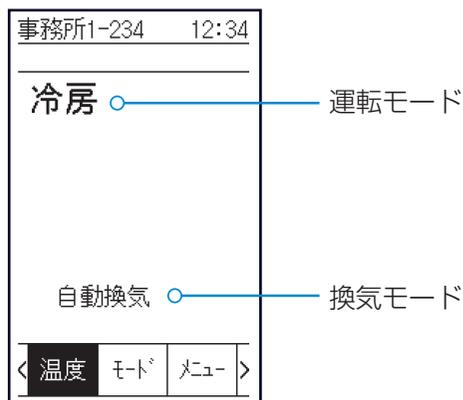
左右ボタンを押して画面を切り換えます。



■ ユーザモードの種類について

基本画面を4つの表示モードに切り換えることができます。

標準モード

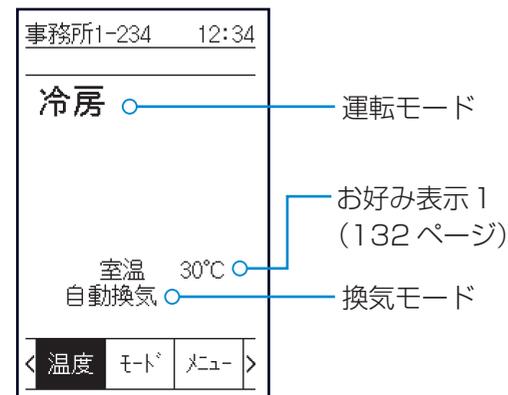


運転モード

換気モード

詳細モード

- お好み表示が追加されます。



運転モード

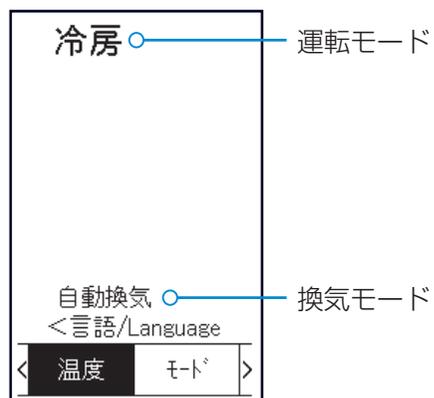
お好み表示 1
(132 ページ)

換気モード

ホテル向けモード

詳細は「[ホテル向けモード](#)」(141 ページ)を参照してください。

- 標準モードよりもシンプルな表示です。
- 運転モード・換気モードの設定と言語を切り換えることができます。
- メニュー操作はできません。



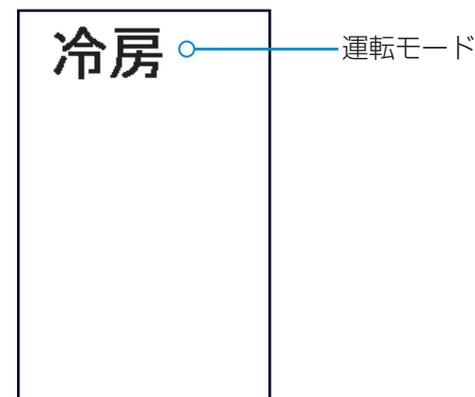
運転モード

換気モード

かんたんモード

詳細は「[かんたんモード](#)」(142 ページ)を参照してください。

- 運転モードのみを表示します。



運転モード

こんな表示がでたときは

! 脱臭フィルターサインリセット	168
! フィルター交換サインリセット	169
! フィルターサインリセット	170
! ダストボックスサインリセット	171

基本画面に「脱臭フィルター交換」が表示されたら、脱臭フィルターを交換してください。
交換後はこの表示を消す（リセットする）ために、次の操作をしてください。

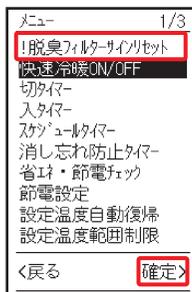
お手入れ方法については、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 基本画面の確認

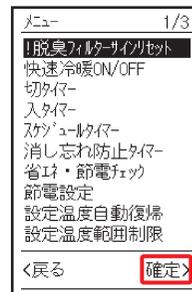


基本画面に「脱臭フィルター交換」が表示されたら、脱臭フィルターを交換し、サインのリセットを行ってください。交換方法は空気清浄ユニットの取扱説明書をご覧ください。

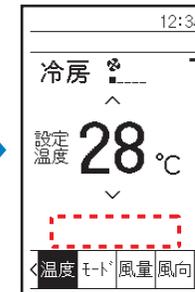
2 ! 脱臭フィルターサインリセットを選択



上下ボタンを押し、「！脱臭フィルターサインリセット」を反転表示します。



右ボタンを押し、確定します。



基本画面から「脱臭フィルター交換」の表示が消えます。

基本画面に「フィルター交換」が表示されたら、フィルターを交換してください。
交換後はこの表示を消す（リセットする）ために、次の操作をしてください。

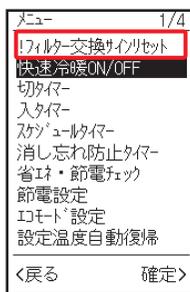
お手入れ方法については、フィルター自動清掃機能付き化粧パネル（別売品）に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 基本画面の確認

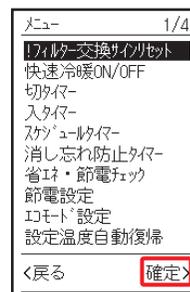


基本画面に「フィルター交換」が表示されたら、フィルターを交換し、サインのリセットを行ってください。交換方法は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

2 !フィルター交換サインリセットを選択



上下ボタンを押し、「!フィルター交換サインリセット」を反転表示します。



右ボタンを押し、確定します。



基本画面から「フィルター交換」の表示が消えます。

基本画面に「フィルターお手入れ」または「エレメントお手入れ」が表示されたら、お手入れをしてください。
お手入れ後はこの表示を消す（リセットする）ために、次の操作をしてください。

お手入れ方法については、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 基本画面の確認

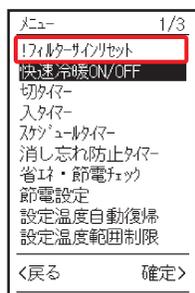


基本画面に「フィルターお手入れ」または、「エレメントお手入れ」が表示されたら、フィルターまたはエレメント*を洗浄・清掃し、サインのリセットを行ってください。

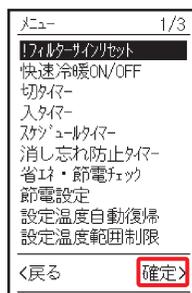
フィルターのお手入れについては室内ユニット、エレメント*のお手入れについては空気清浄機ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※調湿外気処理ユニット（F形（HDMP-F、HDXP-F）以降）の場合、「エレメントお手入れ」が表示されたら対象の調湿外気処理ユニットの技術資料をご確認ください。

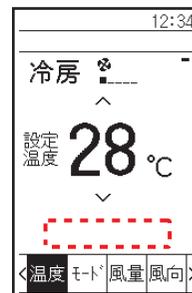
2 !フィルターサインリセットを選択



上下ボタンを押し、「!フィルターサインリセット」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。



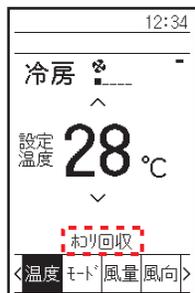
基本画面から「フィルターお手入れ」または、「エレメントお手入れ」の表示が消えます。

基本画面に「ホコリ回収」が表示されたら、ダストボックスのホコリを回収してください。

回収後はこの表示を消す（リセットする）ために、次の操作をしてください。

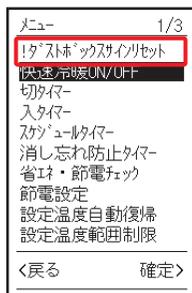
お手入れ方法については、フィルター自動清掃機能付き化粧パネル（別売品）に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 基本画面の確認

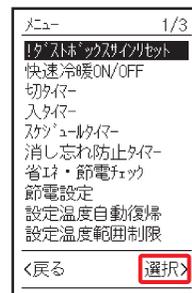


基本画面に「ホコリ回収」が表示されたら、ダストボックスのホコリを回収し、サインのリセットを行ってください。

2 「！ダストボックスサインリセット」を選択

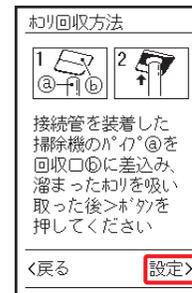


上下ボタンを押し、「！ダストボックスサインリセット」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

3 リセット設定に移行



右ボタンを押し、**設定**します。

ホコリ回収が完了の場合は、手順**5**に進みます。

4 ホコリの回収が未完

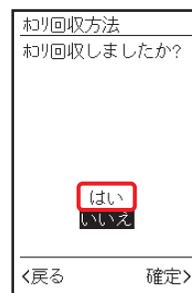


「いいえ」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**確定**します。

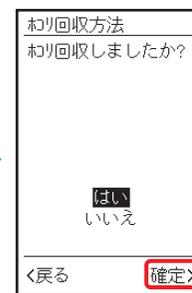


ホコリの回収後に、右ボタンを押し、**設定**します。

5 ホコリの回収が完了

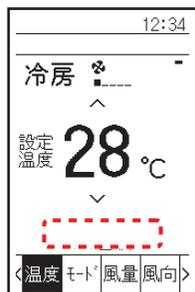


上下ボタンを押し、「はい」を選択します。



右ボタンを押し、**確定**します。

ホコリの回収が完了



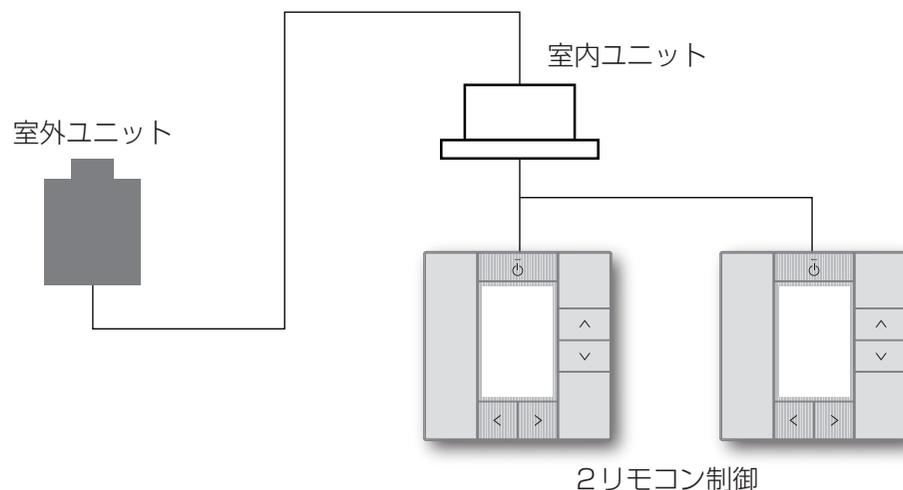
基本画面から「ホコリ回収」の表示が消えます。

知っておいてください

2リモコン制御について	173
お手入れについて	174
エラーコードの表示	175
故障かな?と思ったら	176
アフターサービス	179
お客様ご相談窓口	180

1 台の室内ユニットに対して2つのリモコンで自在に制御することができます。
この時2リモコンはそれぞれ「主リモコン」、「従リモコン」と呼ばれます。

- 室内ユニットの運転制御は後押し優先です。
- 2リモコン時には主側リモコンサーモのみ認識します。



ご注意

従リモコンでは下記のメニュー項目の設定ができません。
主リモコンで設定してください。

※接続機種により表示されるメニューは異なります。

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|-------------------------|
| ●サーキュレーション気流 | ●在室検知 ON/OFF | ●フィルター自動清掃設定 | ●高温みまもりモード |
| ●ローテーション運転 | ●不在時省エネ運転モード | ●内部クリーン運転 | ●静音モード |
| ●二オイ抑制設定 | ●待機電力低減 | ●内部クリーンモード設定 | ●CO ₂ お知らせ設定 |
| ●省エネ・節電チェック | ●ディスプレイ自動 OFF | ●オートグリル昇降操作 | ●熱中症設定 |
| ●節電設定 | ●スケジュールタイマー | ●自動風あて・風よけ | ●！待機電力設定確認 |
| ●エコモード設定 | ●消し忘れ防止タイマー | ●自動ドラフト低減 | |
| ●設定温度自動復帰 | ●風向範囲切替 | ●高暖房モード | |
| ●設定温度範囲制限 | ●風向個別設定 | ●夜間みまもりモード | |

■ 液晶表示部・本体のお手入れのしかた

- リモコンの液晶表示部および本体が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

- 中性以外の洗剤・有機溶剤（アルコール消毒液、ベンジン、シンナーなど）などは使用しないでください。

警告



禁止

可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）はリモコンの近くで使用しない
有機溶剤（アルコール消毒液、ベンジン、シンナーなど）でリモコンをふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

次の場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

エラーが発生すると、次のメッセージが点滅します。



- 標準・詳細の場合
『エラー: < を押す』 ※運転ランプの点滅あり
『警報: < を押す』 ※運転ランプの点滅なし
- ホテル向けの場合
『エラー発生中』 ※運転ランプの点滅あり
- かんたんの場合
『エラー発生中』 ※運転ランプの点滅あり
『警報発生中』 ※運転ランプの点滅なし

警告



異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

1 インフォメーション画面を表示



左ボタンを押し、
インフォメーション
画面を表示します。
※ホテル向け・かんたんの
場合は左ボタンを
3秒長押しします。

2 お買い上げの販売店へ連絡

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターに、「エラーコード」・「機種名」
をお知らせください。

- インフォメーション画面の内容
上段：連絡先と接続しているユニット機種名
下段：エラーコード（点滅）とその他の設定情報・お手入れ情報など
※「ユニット機種名」が表示されない場合もあります。（プリント基板を交換した場合など）
「ユニット機種名」が表示されない場合は、保証書に記載の「機種名」をお知らせください。

次の場合は、故障ではありません。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

症状		原因と処置
運転しない	停止後、すぐに再運転したいとき	運転ランプ点灯であれば正常です。 機械に無理がかからないよう制御しているためです。 約3～5分後に自動で運転を開始します。
	上下ボタンで温度調節して、すぐ元に戻したとき	
	電源を入れた直後	運転準備のためです。 複数台で運転するシステムの場合、約10分間お待ちください。
	室外ユニットが停止	室温が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転となります。
	<全熱交換器ユニットの場合> エラー内容に「61」と表示される	電源電圧が正しくありません。 お買い上げの販売店にご相談ください。
ときどき止まる	エラー内容に「U4」・「U5」と表示される	エアコン以外の機器からのノイズによりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。 ノイズがなくなると自動で運転を再開します。
	<全熱交換器ユニットの場合> 自動換気モードで運転中にとどき停止するが 運転を再開する	「全熱換気」↔「普通換気」が切り換わる時、送風機が一時的に運転を停止するためです。
	<全熱交換器ユニットの場合> 冬期にとどき停止するが運転を再開する	機械保護のため、外気温が低い場合に間欠運転を行います。 外気温が高くなると自動で連続運転に戻ります。
風量が設定どおりに ならない	風量調節を行っても風量がかわらない	暖房時、室温が設定温度に達したときは、室内ユニットは微風運転となります。
風向が設定どおりに ならない	冷房時、リモコンの風向表示と風向羽根の向きが異なる	下吹出しに設定されていると羽根がぬれないように一定の間、水平方向となります。
	暖房時、リモコンの風向表示と風向羽根の 向きが異なる	運転開始直後や設定温度により室温が高いときに不快な風が当たらないように 風向を制御しているためです。
設定温度が 変わってしまう	「自動冷房」・「自動暖房」運転表示中	冷房と暖房が切り換わると自動で設定温度も変更されるように制御しているためです。
	一定時間後、同じ設定温度に変わる	設定温度自動復帰が設定されているためです。管理者にご相談ください。
設定温度が 変わらない	設定温度を下げられない、上げられない	設定温度範囲制限が設定されているためです。管理者にご相談ください。
操作ボタンが 効かない	運転しない、停止しない	キーロック設定、またはパスワード付きキーロック設定されているためです。
	設定温度を下げられない、上げられない	管理者にご相談ください。
	標準モードと詳細モード画面で操作タブの切り換えができない	

次の場合は、故障ではありません。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

症状		原因と処置
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。 内部の洗浄が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
	除霜運転中および除霜終了後 暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が作動している音です。約1分で音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「チュル・チュル」・「シュー」という かすかな連続音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の 「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。
	運転中や停止後の「シャー」・「ジュルジュル」 というかすかな連続音	ドレン排水装置が作動している音です。
	運転中と運転停止後の「ピシピン」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。
	(室内ユニット)電源を入れた直後の「ジーン」 という音	複数台で運転するシステムの場合、室内ユニットに流れるガス(冷媒)の流量を調整する弁が 作動する音です。 約1分で音が小さくなります。
	(室内ユニット)停止中に出る「サー」・「チョロチョロ」と いうかすかな音	複数台で運転するシステムの場合、ほかの室内ユニットが運転しているときに発生します。 油や冷媒が滞留するのを防ぐための音です。
(室内ユニット)運転音の音程が変わる	圧縮機が回転数を変更するためです。	
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。
においが出る	運転中	部屋のにおい、たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。
冷暖の運転切り換えが できない	リモコンの基本画面下部に冷暖選択権無の アイコンが表示されているとき	このリモコンでは冷暖切り換えができません。 冷暖選択権無のアイコン表示がないリモコンから操作してください。
ドレン水が出る	暖房運転中	空気中に含まれる水分が室外ユニット熱交換器に結露するためです。
	除霜運転中	暖房運転中に室外ユニット熱交換器に付いた霜が溶けて流れでてくるためです。
室外ユニット内部が熱い	停止中	機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。
室外ユニット圧縮機が 止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。

次の場合は、故障ではありません。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

症状		原因と処置
室外ファンが止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。
室外ファンが回らない	運転中	製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているからです。
停止しているのに暖気が出る	停止中に暖かい空気を感じる	複数台で運転するシステムの場合、ほかの室内ユニットを運転しているとき、停止機にわずかな冷媒を流しているからです。
運転するとすぐに止まる	室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターの清掃をしてください。
よく冷えない、よく暖まらない	室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターの清掃をしてください。
	「ドライ」運転表示中	マイコンドライ運転は、室温をできるだけ下げないような運転をするためです。
	節電中 または  マークが点灯している	節電・静音モードで運転中、または外部から運転制御中で、能力を制限した運転をしています。
運転ランプが点灯していないのにファンが動く	<全熱交換器ユニットの場合> 運転/停止ボタンを押して、停止しているにもかかわらず、運転するとき	加湿ユニットの自動排水機能が働いているためです。 約30分間で停止します。
調湿されない	<調湿外気処理ユニットの場合> 加湿運転(除湿運転)しているにもかかわらず、室内の相対湿度(%)が上がらない(下がらない)	空気の温度が上昇(下降)すると、空気中に含むことができる水分量が増加(減少)するため、相対湿度(%)が上がらない(下がらない)場合もあります。
加湿されない	<無給水加湿ユニットの場合> 加湿運転しているにもかかわらず、室内の相対湿度(%)が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> 室内空気の温度が上昇すると、空気中に含むことができる水分量が増加するため、相対湿度(%)が上がらない場合もあります。 外気温湿度が低い場合や、建物の換気量が多い場合も、相対湿度(%)が上がらない場合があります。

 警告

禁止

分解や改造・修理をしない

故障や感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店にご依頼ください。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- 機種名
- 据付年月日
- 故障状況 —— できるだけ詳しく
- ご住所、お名前、お電話番号

■移設について

専門の技術が必要ですので必ずお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

(保証期間…据付日から 1 年)

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

